

令和5年度
秋田県産業廃棄物実態調査
フォローアップ等調査報告書
(令和4年度実績)

令和6年3月

秋田県

目 次

第 1 章 調査の概要	1
第 1 節 調査の目的	1
第 2 節 調査に関する基本的事項	1
第 3 節 調査の方法	6
第 4 節 調査結果の利用上の留意事項	9
第 5 節 標本抽出・回収結果	11
第 2 章 調査結果	13
第 1 節 結果の概要	13
第 2 節 排出状況	14
第 3 節 処理状況	18
第 3 章 業種別の調査結果	26
第 1 節 建設業	26
第 2 節 製造業	29
第 3 節 電気・水道業	33
第 4 節 その他の業種	36
第 4 章 農業・鉱業を含めた産業廃棄物	40
第 1 節 農業からの産業廃棄物	40
第 2 節 鉱業からの産業廃棄物	41
第 3 節 農業・鉱業を含めた排出量	43
第 5 章 産業廃棄物の移動状況	44
第 1 節 産業廃棄物の移動状況の概要	44
第 2 節 県外への搬出状況	45
第 3 節 県内への搬入状況	46
第 6 章 産業廃棄物の推移	48
第 1 節 令和 3 年度実績との比較	48
第 2 節 目標の達成状況	50
第 7 章 意識調査結果	51
第 1 節 電子マニフェストの利用状況について	51
第 2 節 県への要望等について	53
参考資料<統計表>	57
参考資料<調査票等一式>	117

第 1 章 調査の概要

第 1 節 調査の目的

調査は、秋田県内で排出される産業廃棄物の発生及び処理の状況を調査し、産業廃棄物の発生量、処理量及び処理方法等を把握することを目的に実施した。

第 2 節 調査に関する基本的事項

1 調査対象期間

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの 1 年間

2 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 2 条第 4 項及び第 2 条第 5 項、同法施行令第 2 条及び第 2 条の 4 に定める表 1-2-1 及び表 1-2-2 の産業廃棄物とした。

なお、これらの産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて種類をさらに区分した。

表 1-2-1 産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例等
1	燃え殻	
2	汚泥	有機性汚泥、無機性汚泥
3	廃油	一般廃油、廃溶剤、その他
4	廃酸	
5	廃アルカリ	
6	廃プラスチック類	廃プラスチック、廃タイヤ
7	紙くず	
8	木くず	
9	繊維くず	
10	動植物性残さ	
11	動物系固形不要物	
12	ゴムくず	
13	金属くず	
14	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	※本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した
15	鉱さい	
16	がれき類	コンクリート片、廃アスファルト、その他
17	動物のふん尿	
18	ばいじん	
19	上記の産業廃棄物を処分するために処理したもの	コンクリート固形化物等

表 1-2-2 特別管理産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例
1	廃油	揮発油類、灯油類、軽油類
2	廃酸	pH が 2.0 以下の廃酸
3	廃アルカリ	pH が 12.5 以上の廃アルカリ
4	感染性産業廃棄物	
5	特定有害産業廃棄物	

また、次の有償物、廃棄物等については、それぞれ記載のとおり取り扱うこととした。

- (1) 法令上廃棄物とならない有償物も今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、今回の調査対象に含めた。
- (2) 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、原則として事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。ただし、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずは、産業廃棄物として取り扱われるため、パレットに係る木くずはすべての業種で産業廃棄物として集計した。
- (3) 酸性又はアルカリ性の排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を調査対象廃棄物とし、脱水前の量を発生量とした。
- (4) 自社で廃棄物を焼却処理した場合は、焼却処理前の廃棄物を発生量とし、焼却処理後は自己中間処理後量として計上した。

3 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（[平成 25 年 10 月改訂]総務省）に記載された分類を基本に、産業廃棄物の排出量等を勘案し、表 1-2-3 の業種とした。

なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-2-3 調査対象業種

日本標準産業分類	略 称
建設業	建設業
製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く） 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他
電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 上水道業 下水道業	電気・水道業 電気業 ガス業 上水道業 下水道業

4 調査対象地域

本調査では、秋田県内全域を調査対象とし、次の構成市町村により4地域とした。

表 1-2-4 地域区分

地 域 名	構 成 市 町 村
秋田市	秋田市
県北地域	能代市、大館市、鹿角市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村、藤里町、三種町、八峰町
県央地域	男鹿市、由利本荘市、潟上市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南地域	横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

5 排出量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図 1-2-1 の排出量及び処理状況の流れ図に示した項目により、取りまとめた。

なお、図 1-2-1 における各項目の用語の定義は、表 1-2-5 のとおりである。

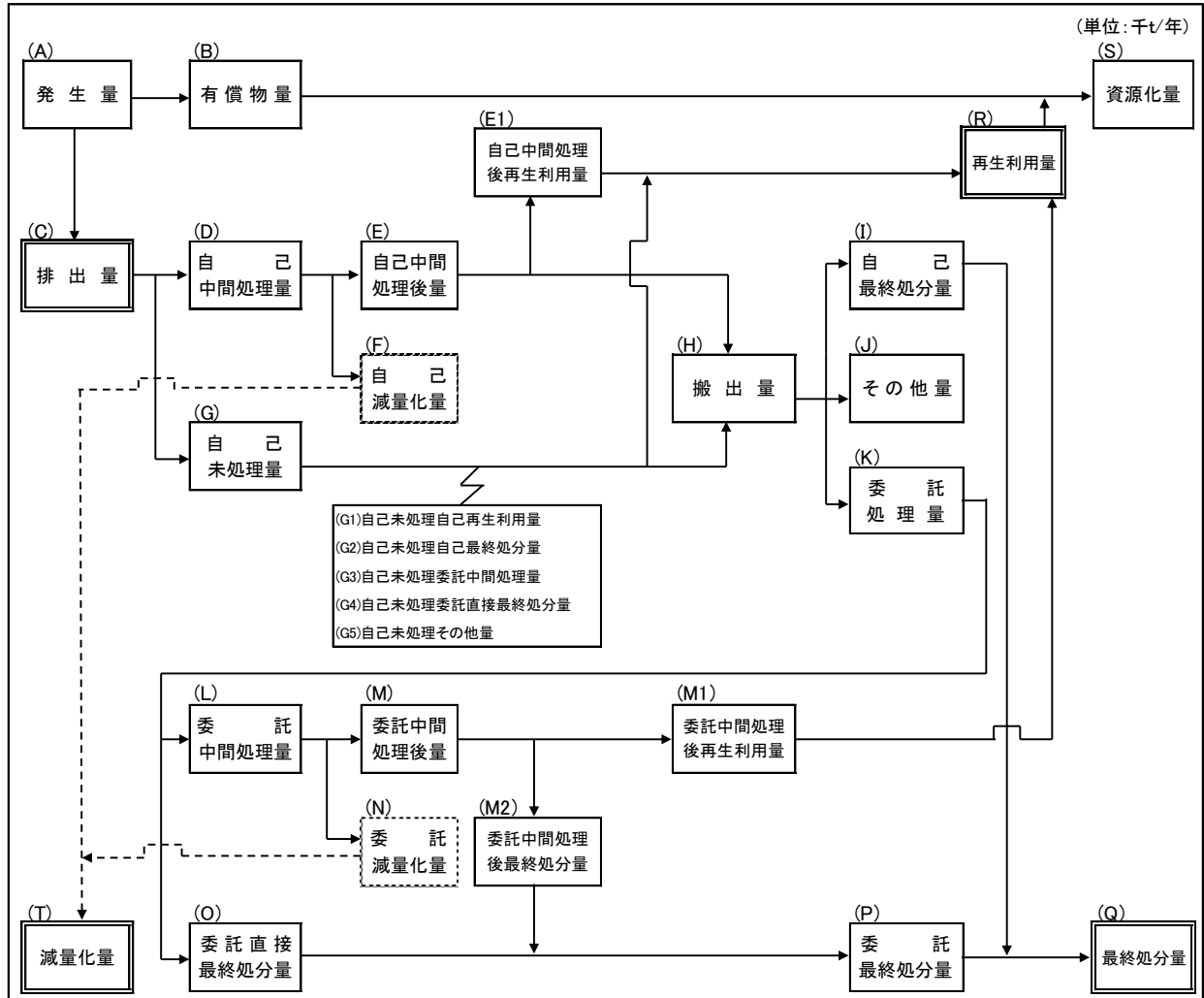


図 1-2-1 排出量及び処理状況の流れ図

表 1-2-5 排出量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B) 有償物量	(A)の発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量(他者に有償売却できるものを自己利用した場合を含む)
(C) 排出量	(A)の発生量のうち、(B)の有償物量を除いた量
(D) 自己中間処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G) 自己未処理量	(C)の排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1) 自己未処理自己再生利用量	(G)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2) 自己未処理自己最終処分量	(I)の自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分された量
(G3) 自己未処理委託中間処理量	(L)の委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理された量
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	(O)の委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5) 自己未処理その他量	(J)のその他量のうち、自己未処理でその他となった量
(E) 自己中間処理後量	(D)で中間処理された後の廃棄物量
(E1) 自己中間処理後再生利用量	(E)の自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(F) 自己減量化量	(D)の自己中間処理量から(E)の自己中間処理後量を差し引いた量
(H) 搬出量	(I)の自己最終処分量、(J)のその他、(K)の委託処理量の合計
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J) その他量	保管されている量、又は、それ以外の量
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量
(L) 委託中間処理量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(O) 委託直接最終処分量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(M) 委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(M1) 委託中間処理後再生利用量	(M)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(M2) 委託中間処理後最終処分量	(M)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	(L)の委託中間処理量から(M)の委託中間処理後量を差し引いた量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者又は処理業者等で再生利用された量
(S) 資源化量	(B)の有償物量と(R)の再生利用量の合計
(T) 減量化量	排出事業者又は処理業者等の中間処理により減量された量

第3節 調査の方法

1 調査方法の概要

調査は、「産業廃棄物排出・処理実態調査指針 改訂版（平成22年4月 環境省）」に基づき、排出事業者へのアンケート調査（全数調査、標本調査）と既存資料（処分業者による処分実績報告等）を用いた調査を組み合わせ、産業廃棄物の排出量及び処理量を把握する方法で行った。

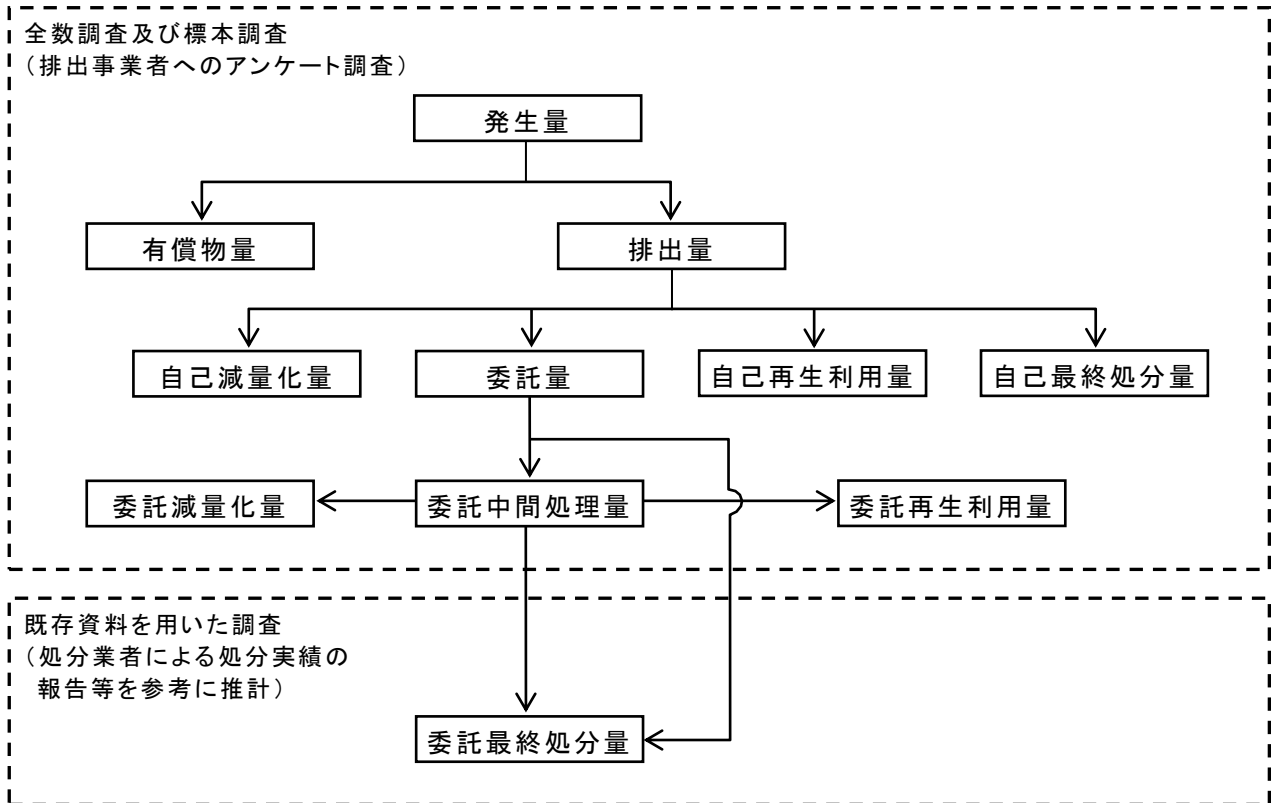


図 1-3-1 排出事業者へのアンケート調査等による方法

- 水道業は、浄水場及び下水処理場の全施設に対してアンケート調査を実施した。
- 水道業以外の業種は、抽出した事業者に対してアンケート調査を実施した。なお、建設業と製造業においては、業種毎の活動量指標を用いて調査対象全体の産業廃棄物の発生量を推計した。

2 標本調査について

標本調査は、郵便配布及び郵便回収によるアンケート調査により実施した。

回答を得た産業廃棄物の排出量及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の排出量を説明する活動量指標(製造品出荷額等)を基に、県内の産業廃棄物の排出量等を推定した。

(1) 標本抽出方法

標本調査の抽出は、事業所母集団データベース(令和3年次フレーム)を基に、業種別、従業者規模別、地域別に事業所を層別し、これらの各層ごとに実施した。

表 1-3-1 標本抽出方法

業 種	抽出方法等
建設業	○資本金1億円以上：全数抽出 ○資本金1億円未満：令和4年度産業廃棄物排出量が1,000t以上の事業所を全数抽出
製造業	○従業者50人以上：全数抽出 ○従業者50人未満：令和4年度産業廃棄物排出量が1,000t以上の事業所を全数抽出 ※ 上記に該当が無い業種等は、令和2年度秋田県産業廃棄物実態調査・令和4年度秋田県産業廃棄物実態調査フォローアップ等調査により発生量のあった事業所から抽出
電気・水道業	○電気業は令和2年度秋田県産業廃棄物実態調査の対象事業所(風力及び地熱の廃棄物が発生しない事業は除く) ○ガス業は令和2年度秋田県産業廃棄物実態調査の対象事業所 ○水道業は施設名簿より全数抽出

(2) アンケート調査項目

アンケート調査の項目は、活動量指標(製造品出荷額等)と廃棄物の排出量及び処理状況に関するものとし、調査票の形式は、各業種で排出される廃棄物や処理状況の特性を考慮して、次の2種類の調査票を作成した。

- 建設業
- 製造業及び電気・水道業

各調査票における調査項目の詳細は、本報告書の巻末のとおりである。

(3) 排出原単位の算出と調査対象全体の排出量の推定方法

1) 排出原単位の算出

排出原単位は、アンケート調査等によって得られた標本の業種別、種類別に集計した産業廃棄物量と、業種別の集計活動量指標から、図 1-3-2 の A 式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物排出量（排出原単位）を算出した。

2) 調査対象全体の排出量の推定方法

1) で算出された排出原単位と、業種別の調査対象全体（母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図 1-3-2 の B 式によって調査対象全体の産業廃棄物の排出量を推定した。

① 排出原単位の算出	
A 式 $\alpha = W / O$	α : 産業廃棄物の排出原単位 W : 標本に基づく集計産業廃棄物排出量 O : 標本に基づく集計活動量指標
② 調査対象全体の発生量の推定方法	
B 式 $W' = \alpha \times O'$	W' : 調査当該年度の推定産業廃棄物排出量 O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図 1-3-2 排出原単位の算出と排出量の推定計算の概念図

3) 活動量指標

本調査で推計に用いた活動量指標は、次のとおりである。

表 1-3-2 業種別の活動量指標

業 種	活動量指標	出 典
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告 令和 3 年度実績 (国土交通省)
製造業	製造品出荷額等	2022 年経済構造実態調査(経済産業省)
電気・水道業	従業者数	令和 3 年経済センサス活動調査(総務省)

※水道業は全数調査のため推定していない。

第4節 調査結果の利用上の留意事項

1 産業廃棄物の種類の区分

本報告書では、産業廃棄物の種類を3段階で設定した。

1段階	発生時点の種類
2段階	排出事業者の中間処理により変化した処理後の種類 例；木くず→（焼却）→[燃え殻] 注）1段階時点の種類と排出事業者の中間処理方法を用いて推定した。
3段階	委託中間処理により変化した処理後の種類 注）2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

中間処理により廃棄物の種類が変化する場合がある。この場合において、中間処理後の変化した廃棄物の種類で記載した場合には「種類別：変換」と記載し、変化する前（発生時）の廃棄物の種類で記載した場合には「種類別：無変換」と表現した。

2 建設業の地域別排出量等の推計方法

建設業は他の業種と違い、事業所のある場所が廃棄物の排出場所ではなく、工事現場が廃棄物の排出場所となっている。本調査では、建設業の各地域別の量を算出するため、建設業における産業廃棄物の排出量全体を地域別の人口数の割合で按分して算出した。

3 その他の業種の排出量等の推計方法

建設業、製造業、電気・水道業以外の業種（その他の業種）は、令和2年度の秋田県産業廃棄物実態調査報告書でとりまとめた結果をもとに、令和3年度経済センサス活動調査（総務省）を用いて推計した値を令和4年度実績とした。

その他の業種	情報通信業、運輸業、卸・小売業、物品賃貸業、 学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、 教育・学習支援業、医療・福祉、サービス業
--------	---

4 単位と数値に関する処理

(1) 単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを示すため、図表の単位は「千t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述している。

(2) 数値の処理

本報告書に記載されている千トン表示の数値は、四捨五入しているために、総数と個々の合計とは一致しないものがある。なお、表中の空欄は、1トン/年以上の該当値がなかったもの、「0」表示は、500トン/年未満であることを示している。

また、構成比(%)はトン単位で算出しているため、四捨五入した千トン表示の数値で計算した場合と一致しないものがある。

5 特別管理産業廃棄物について

本報告書は、特別管理産業廃棄物を含めた結果を産業廃棄物として記載している（例：引火性廃油→廃油に含む、特定有害廃酸→廃酸に含む）。ただし、感染性産業廃棄物については、該当する産業廃棄物の種類がないため、「その他の産業廃棄物」に含めて集計した。

6 農業と鉱業から発生する産業廃棄物の取り扱い

農業と鉱業から発生する産業廃棄物は、前回調査との整合性や秋田県循環型社会形成推進基本計画の数値目標に含まれていないことなどから、第4章でのみ記載している。第4章以外の推計結果には、県内の農業と鉱業から発生する産業廃棄物は含まれていない。

第5節 標本抽出・回収結果

秋田県内に所在する総事業所数 46,849 件（令和3年経済センサス活動調査）のうち、アンケート調査の対象となったのは 8,067 事業所である。

このうち、業種特性、規模別特性等を考慮し、設定された業種別、従業者規模別の抽出率を基に、567 事業所（抽出率 7.0%）を抽出し、アンケート調査を実施した。

回収された調査票は 467 件（回収率 82.4%）であり、このうち、廃業及び休業等の理由により無効となった調査票を除いた有効調査票は、457 事業所であった。

標本抽出・回収結果	
総事業所数	: 46,849 事業所
調査対象事業所数	: 8,067 事業所
アンケート送付事業所数	: 567 事業所
回答数	: 467 事業所
回収率	: 82.4 %
有効回答数	: 457 事業所

標本抽出及び回収結果は、表 1-5-1 のとおりであり、表中の項目の説明は次のとおりである。

- A 調査対象事業所数 : アンケート調査の対象とした業種の県内全体の事業所数
- B 抽出事業所数 : 調査対象事業所よりアンケート調査の対象として抽出した事業所数
- C 抽出率 : $B \div A \times 100$
- D 回収事業所数 : アンケート調査票を送付し調査票が回収(返送)された事業所数
- E 回収率 : $D \div B \times 100$
- F 有効調査票数 : 事業所の廃業及び休業等の理由により無効となった調査票を除いた数
- G 集計活動量指標値 : 有効調査票より入力した各業種の活動量指標値（従業者数、元請完成工事高、製造品出荷額等）の集計値
- H 母集団の活動量指標値 : 各業種の活動量指標値の県全体値（母集団値）
- I 指標カバー率 : 県全体（母集団）の活動量指標値に対する有効調査票による集計活動量指標値の割合 $G \div H \times 100$
- J 集計廃棄物発生量 : 有効調査票より入力した各業種の廃棄物の発生量の集計値
- K 推定廃棄物発生量 : 各業種の廃棄物の発生量の推定値
- L 捕捉率 : 推定した廃棄物量に対する集計廃棄物量の割合 $J \div K \times 100$
 （捕捉率は10単位で算出しているため、表 1-5-1 の $J \div K$ と一致しない場合がある。）

表 1-5-1 標本抽出・回収結果

	(A) 調査対象 事業所数	(B) 抽出事業 所数	(C) 抽出率 (B)÷(A)	(D) 回収事業 所数	(E) 回収率 (D)÷(B)	(F) 有効調査 票数	(G) 集計活動 量指標値	(H) 母集団の 活動量指 標値	(I) 指標カ パー率 (G)÷(H)	(J) 集計廃棄 物発生量 <千t>	(K) 推定廃棄 物発生量 <千t>	(L) 捕捉率 (J)÷(K)
合計	8,067	567	7.0%	467	82.4%	457	--	--	--	2,250.8	2,787.6	80.7%
建設業	4,857	178	3.7%	142	79.8%	135	173,741	638,738	27.2%	278.9	722.6	38.6%
製造業	3,131	310	9.9%	246	79.4%	244	773,521	1,410,870	54.8%	881	974	90.4%
食料品	584	28	4.8%	18	64.3%	18	46,655	98,424	47.4%	21.8	32.6	67.0%
飲料・飼料	84	5	6.0%	4	80.0%	4	9,607	19,268	49.9%	3.5	4.0	87.9%
繊維	376	26	6.9%	22	84.6%	22	18,077	35,033	51.6%	2.2	2.4	90.9%
木材	249	11	4.4%	9	81.8%	9	33,751	80,912	41.7%	119.7	126.9	94.3%
家具	172	5	2.9%	4	80.0%	4	2,355	8,408	28.0%	0.4	1.4	28.0%
パルプ・紙	25	5	20.0%	2	40.0%	2	31,586	31,586	100.0%	480.4	480.4	100.0%
印刷	147	5	3.4%	5	100.0%	5	2,411	9,769	24.7%	0.3	1.0	24.6%
化学	25	6	24.0%	6	100.0%	6	44,650	67,555	66.1%	8.7	10.7	81.9%
石油・石炭	30	5	16.7%	4	80.0%	4	2,424	6,176	39.3%	0.2	0.6	39.2%
プラスチック	73	9	12.3%	8	88.9%	8	14,096	27,934	50.5%	5.2	7.6	68.8%
ゴム	17	5	29.4%	4	80.0%	4	2,384	4,439	53.7%	0.2	0.4	53.6%
皮革	60	5	8.3%	3	60.0%	3	184	1,029	17.9%	0.0	0.0	17.9%
窯業・土石	128	18	14.1%	18	100.0%	18	11,823	42,521	27.8%	32.0	68.5	46.7%
鉄鋼	41	7	17.1%	6	85.7%	6	16,826	23,372	72.0%	11.7	14.1	82.9%
非鉄金属	26	11	42.3%	10	90.9%	9	74,882	77,556	96.6%	150.1	150.4	99.8%
金属	253	27	10.7%	22	81.5%	21	37,709	77,636	48.6%	5.7	11.4	49.6%
はん用機器	63	6	9.5%	4	66.7%	4	3,937	13,796	28.5%	0.2	0.7	28.5%
生産用機器	213	31	14.6%	25	80.6%	25	63,134	134,308	47.0%	6.5	11.9	55.0%
業務用機器	47	18	38.3%	16	88.9%	16	76,955	100,862	76.3%	9.5	12.3	77.4%
電子部品	130	44	33.8%	33	75.0%	33	213,380	436,896	48.8%	17.1	27.7	61.8%
電気機器	75	12	16.0%	8	66.7%	8	14,661	29,287	50.1%	0.7	1.3	50.0%
情報通信機器	15	5	33.3%	4	80.0%	4	7,553	7,553	100.0%	0.2	0.2	100.0%
輸送機器	44	11	25.0%	9	81.8%	9	42,574	64,360	66.1%	4.9	7.8	63.8%
その他	254	5	2.0%	2	40.0%	2	1,907	12,190	15.6%	0.0	0.1	15.8%
電気・水道業	79	79	100.0%	79	100.0%	78	--	--	--	1,090.7	1,090.7	100.0%
電気業	13	13	100.0%	13	100.0%	12	--	--	--	598.9	598.9	100.0%
ガス業	3	3	100.0%	3	100.0%	3	--	--	--	0.0	0.0	100.0%
上水道業	27	27	100.0%	27	100.0%	27	--	--	--	57.6	57.6	100.0%
下水道業	36	36	100.0%	36	100.0%	36	--	--	--	434.2	434.2	100.0%

(活動量指標の内容) 建設業：元請完成工事高（百万円） 製造業：製造品出荷額等（百万円）

第2章 調査結果

令和4年度に秋田県で発生した産業廃棄物の推計結果は以下のとおりである。

なお、情報通信業等のその他の業種については、今年度は標本調査の対象ではないため、令和2年度の秋田県産業廃棄物実態調査報告書でとりまとめた結果をもとに、令和3年度経済センサス活動調査（総務省）を用いて推計した。

第1節 結果の概要

発生量は2,812千ト、有償物量は262千ト、有償物量を除いた排出量は2,550千ト、搬出量は1,508千トとなっている。

表 2-1-1 発生・排出、処理状況

(単位:千t/年)

発生量	有償物量	排出量	搬出量
2,812 (100.0%)	262 (9.3%)	2,550 (90.7%)	1,508 (53.6%)

※搬出量とは、排出事業所内で減量（再生利用又は中間処理による減量化量）された量を除いたもの。

（ ）内のパーセントは発生量に対する割合である。

令和4年度の排出量に対する再生利用量の割合(以下、再生利用率という)は41.9%、減量化量の割合(以下、減量化率という)は42.6%、最終処分量の割合(以下、最終処分率という)は15.5%となっている。

表 2-1-2 処理・処分状況

(単位:千t/年)

排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量
2,550 (100.0%)	1,069 (41.9%)	1,087 (42.6%)	395 (15.5%)	0 (0.0%)

※（ ）内のパーセントは排出量に対する割合である。

第2節 排出状況

1 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥が 1,117 千トン（43.8%）で最も多く、次いで、がれき類が 569 千トン（22.3%）、以下、その他の産業廃棄物が 398 千トン（15.6%）、鉱さいが 147 千トン（5.8%）、木くずが 80 千トン（3.1%）等となっている。

その他の産業廃棄物の割合が高い要因としては、令和2年3月から営業運転を開始した電気業の石炭火力発電所が、ばいじんと燃え殻と一緒に合わせた状態で排出する構造であり、混合物（ばいじん、燃え殻）として排出されているためである。

なお、汚泥は排出時においては多量であるが、排出事業者自らによる脱水、乾燥、焼却等の処理により大幅に減量されるため、搬出量ベースで見ると 145 千トン（9.6%）となる。

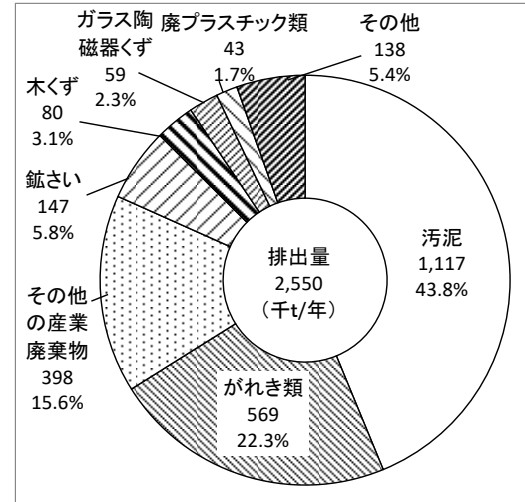


図 2-2-1 種類別排出量

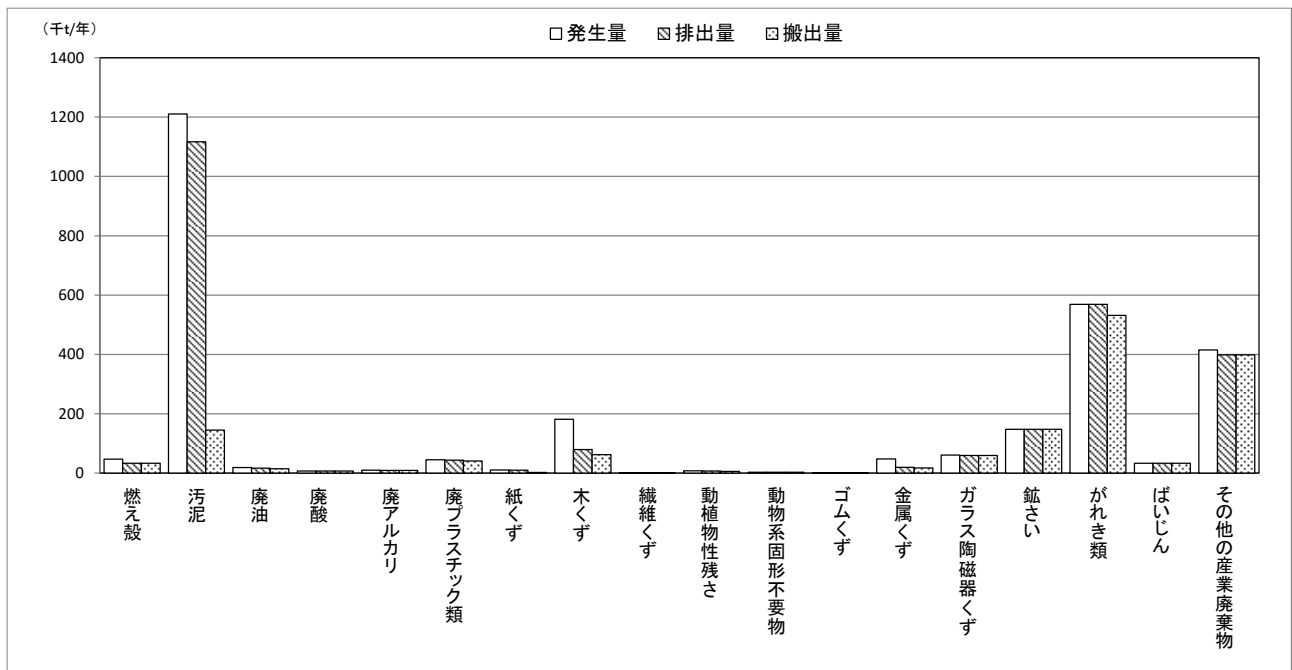


図 2-2-2 種類別の発生量、排出量、搬出量

2 業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、電気・水道業が 966 千ト (37.9%) で最も多く、以下、製造業が 846 千ト (33.2%)、建設業が 715 千ト (28.0%) となっており、この 3 業種で排出量全体の 99.1% を占めている。

なお、電気・水道業と製造業から排出される汚泥は、脱水等の自己中間処理により大幅に減量されるため、搬出量でみると電気・水道業が 496 千ト (32.9%)、製造業が 315 千ト (20.9%) となる。

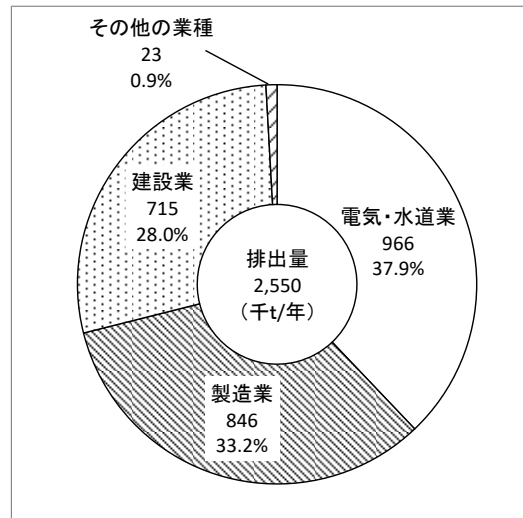
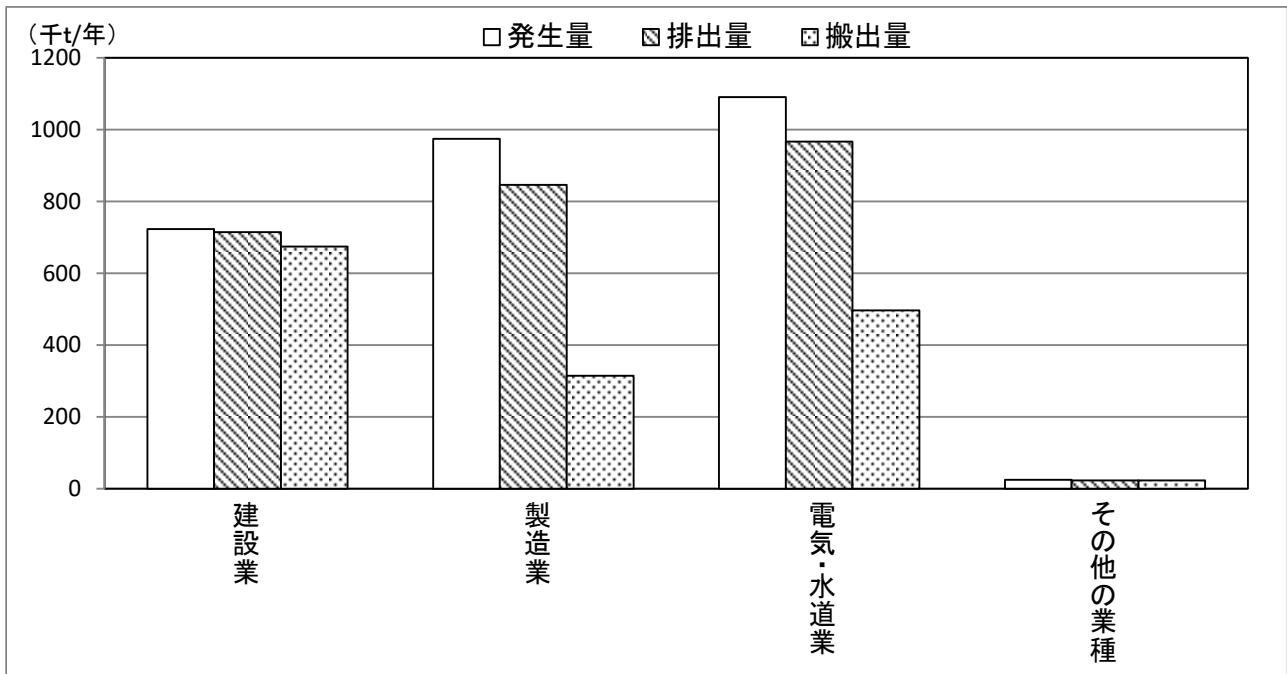


図 2-2-3 業種別排出量



業種 (千t/年)	合計	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
発生量	2,812 (100%)	723 (25.7%)	974 (34.6%)	1,091 (38.8%)	24 (0.9%)
排出量	2,550 (100%)	715 (28.0%)	846 (33.2%)	966 (37.9%)	23 (0.9%)
搬出量	1,508 (100%)	675 (44.7%)	315 (20.9%)	496 (32.9%)	23 (1.5%)

図 2-2-4 業種別の発生量、排出量、搬出量

3 業種別・種類別の排出状況

業種別・種類別の排出量は、表 2-2-1 のとおりである。

表 2-2-1 業種別・種類別の排出量

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合計	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
合計	2,550 (100%)	715 (28.0%)	846 (33.2%)	966 (37.9%)	23 (0.9%)
燃え殻	33 (1.3%)	0	10	22	0
汚泥	1,117 (43.8%)	29	551	533	3
廃油	16 (0.6%)	0	14	0	2
廃酸	7 (0.3%)	0	7		0
廃アルカリ	9 (0.4%)		9		0
廃プラスチック類	43 (1.7%)	11	23	2	8
紙くず	10 (0.4%)	1	9		0
木くず	80 (3.1%)	60	20	0	0
繊維くず	0 (0.0%)	0	0		
動植物性残さ	7 (0.3%)		7		
動物系固形不要物	3 (0.1%)		3		
ゴムくず	0 (0.0%)	0	0		0
金属くず	19 (0.7%)	10	4	3	2
ガラス陶磁器くず	59 (2.3%)	19	40		0
鋳さい	147 (5.8%)		147	0	
がれき類	569 (22.3%)	566	1	1	1
ばいじん	33 (1.3%)		2	31	
その他の産業廃棄物	398 (15.6%)	18	1	373	6

(注1) 表中の「0」は1t以上500t未満で、空欄は1t未満。

(注2) 千t未満を四捨五入したため、内訳の計が合計に一致しないものがある。

4 地域別の排出状況

排出量を地域別にみると、秋田市が1,194千トン（46.8%）で最も多く、以下、県北地域が857千トン（33.6%）、県南地域が285千トン（11.2%）、県央地域が215千トン（8.4%）となっている。

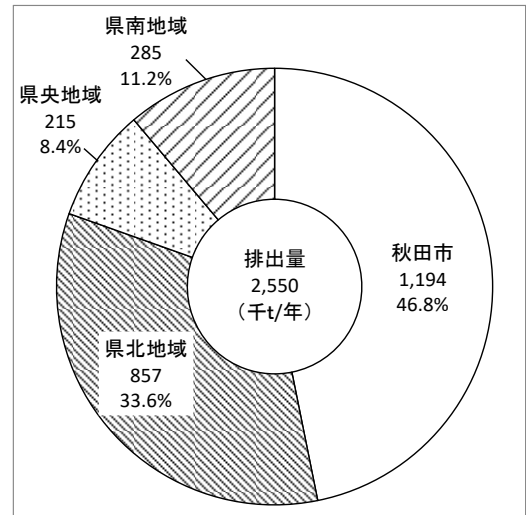
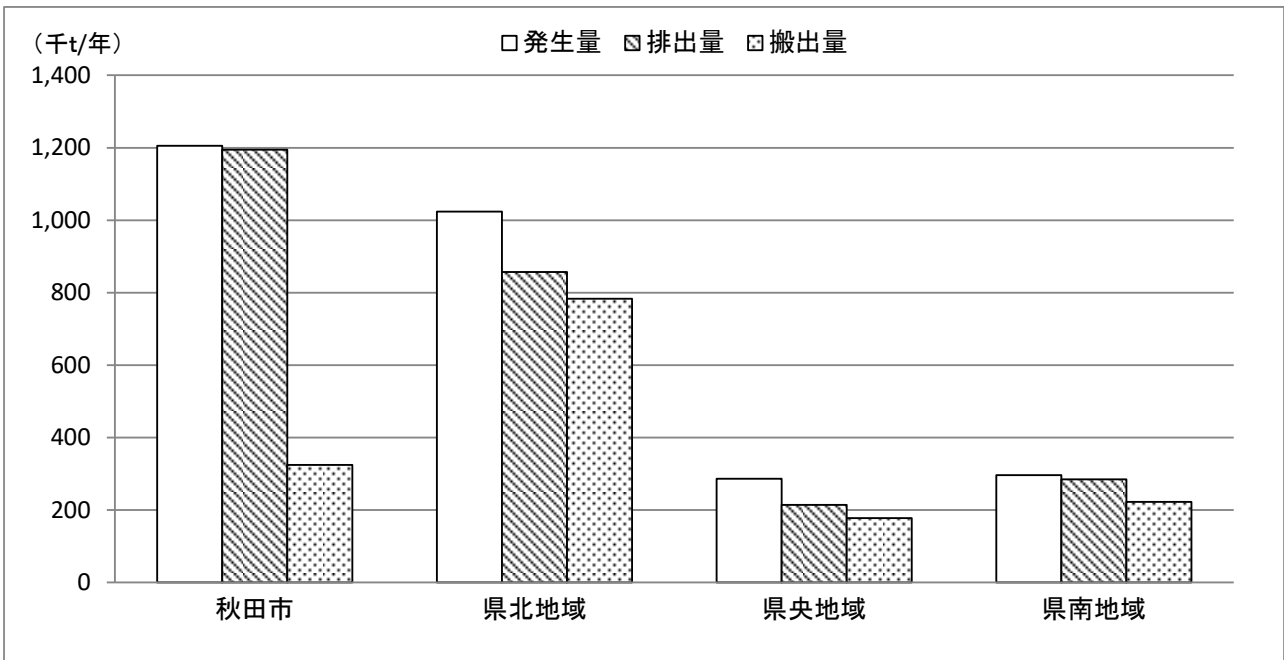


図 2-2-5 地域別排出量の内訳



(単位: 千t/年)

	合計	秋田市	県北地域	県央地域	県南地域
発生量	2,812 (100%)	1,205 (42.9%)	1,024 (36.4%)	287 (10.2%)	297 (10.6%)
排出量	2,550 (100%)	1,194 (46.8%)	857 (33.6%)	215 (8.4%)	285 (11.2%)
搬出量	1,508 (100%)	325 (21.5%)	783 (51.9%)	177 (11.8%)	223 (14.8%)

図 2-2-6 地域別の発生量、排出量、搬出量

第3節 処理状況

1 処理・処分状況の概要

令和4年度の1年間に秋田県内で発生した産業廃棄物の発生量は2,812千トで、有償物量は262千ト、排出量は2,550千トとなっている。

排出量2,550千トのうち、排出事業者自らの中間処理による減量(978千ト)及び再生利用(64千ト)を除いた搬出量は1,508千ト(排出量の59.1%)となっている。

搬出量1,508千トは、自己最終処分量(125千ト)及び委託処理量(1,384千ト)、保管等のその他量(0千ト)に区分される。

委託処理量1,384千トのうち、業者中間処理による減量化量が109千ト、再生利用量が1,005千ト、最終処分量が270千トとなっている。

県内で排出した産業廃棄物は最終的に、減量化量が1,087千ト(排出量の42.6%)、再生利用量が1,069千ト(同41.9%)、最終処分量が395千ト(同15.5%)となっている。

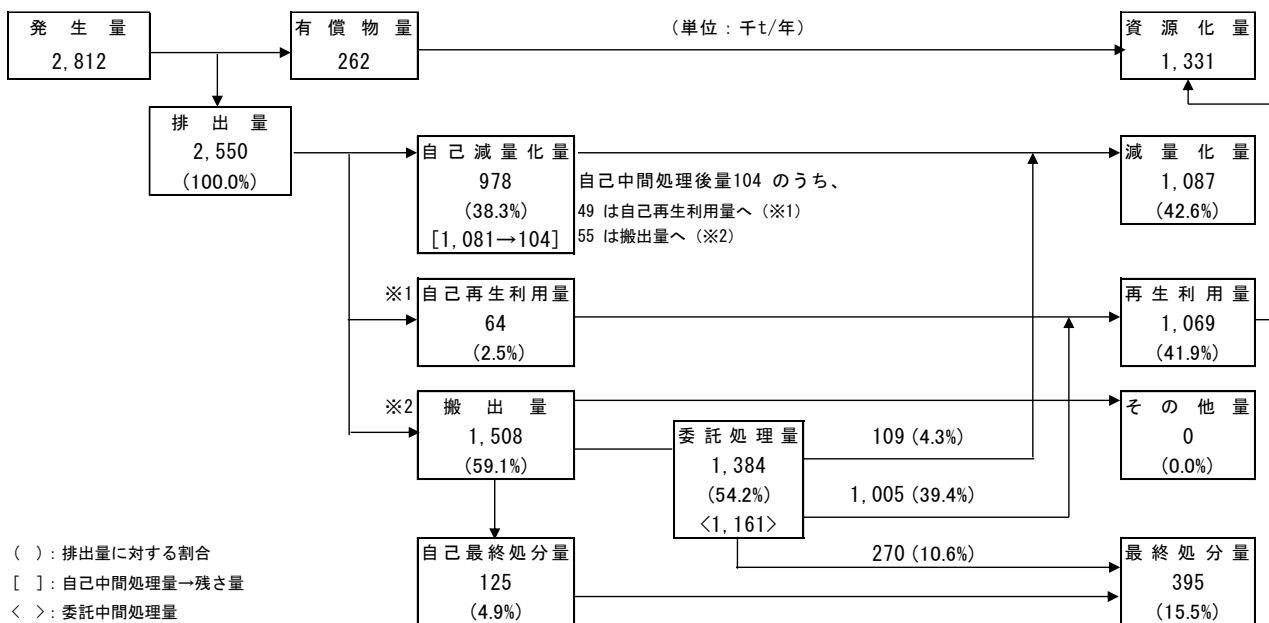
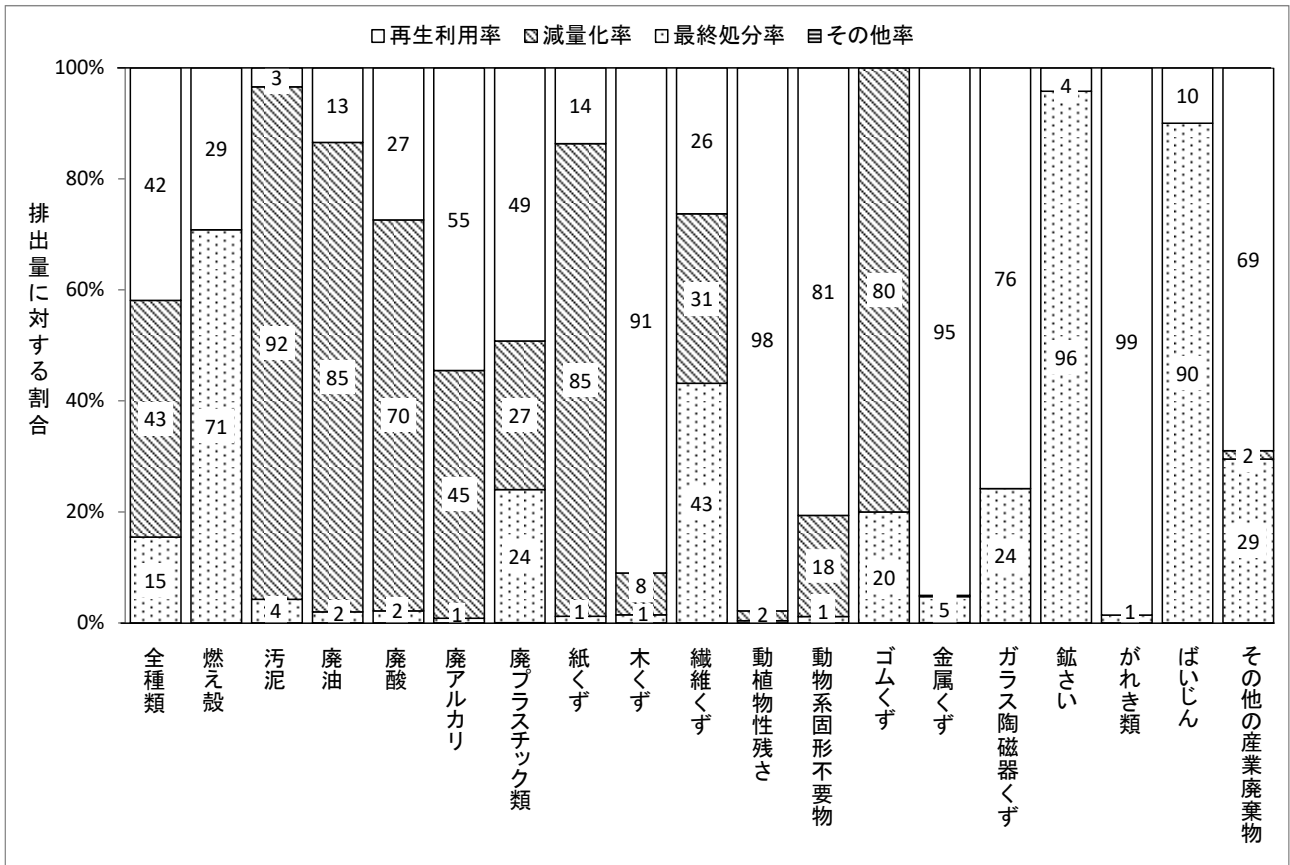


図 2-3-1 処理・処分状況

2 種類別及び業種別にみた再生利用率、減量化率、最終処分率

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比は、種類別にみると図 2-3-2 に示すとおりであり、業種別にみると図 2-3-3 に示すとおりである。



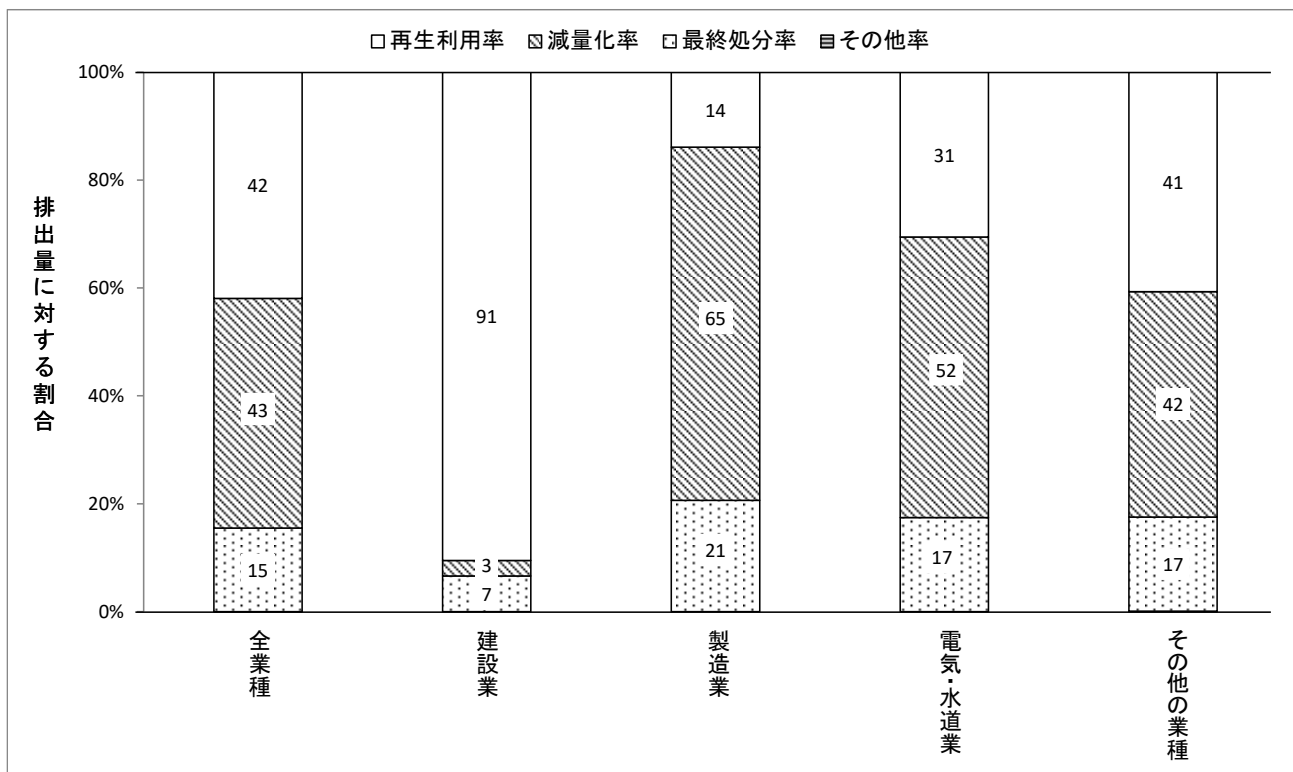
種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物	
排出量	2,550 (100%)	33 (100%)	1,117 (100%)	16 (100%)	7 (100%)	9 (100%)	43 (100%)	10 (100%)	80 (100%)	0 (100%)	7 (100%)	3 (100%)	0 (100%)	19 (100%)	59 (100%)	147 (100%)	569 (100%)	33 (100%)	398 (100%)	
再生利用量	1,069 (41.9%)	10 (29.2%)	38 (3.4%)	2 (13.4%)	2 (27.4%)	5 (54.5%)	21 (49.2%)	1 (13.7%)	72 (91.0%)	0 (26.3%)	7 (97.8%)	2 (81%)		18 (95.0%)	45 (75.8%)	6 (4.2%)	561 (98.6%)	3 (10.0%)	275 (69.0%)	
減量化量	1,087 (42.6%)		1,031 (92.3%)	14 (84.6%)	5 (70.4%)	4 (44.6%)	12 (26.8%)	8 (85.1%)	6 (7.5%)	0 (30.6%)	0 (1.8%)	0 (18%)	0 (80.0%)	0 (0.2%)						6 (1.5%)
最終処分量	395 (15.5%)	23 (70.8%)	47 (4.2%)	0 (2.0%)	0 (2.2%)	0 (0.8%)	10 (24.0%)	0 (1.2%)	1 (1.5%)	0 (43.2%)	0 (0.4%)	0 (1%)	0 (20.0%)	1 (4.7%)	14 (24.2%)	141 (95.8%)	8 (1.4%)	30 (90.0%)	117 (29.5%)	
その他量	0 (0.0%)			0 (0.0%)			0 (0.0%)							0 (0.0%)						

注1) 廃油、廃酸、廃アルカリ等に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻となったものが最終処分されている。
しかし、この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

(参考)

発 生 量	2,812 (100%)	47 (100%)	1,211 (100%)	19 (100%)	7 (100%)	9 (100%)	45 (100%)	10 (100%)	181 (100%)	0 (100%)	7 (100%)	3 (100%)	0 (100%)	48 (100%)	61 (100%)	147 (100%)	569 (100%)	33 (100%)	415 (100%)	
有 償 物 量	262 (9.3%)	14 (29.5%)	94 (7.8%)	2 (12.2%)		0 (0.3%)	2 (4.1%)	0 (4.7%)	102 (56.1%)		0 (3.0%)		0 (16.7%)	29 (60.1%)	2 (2.6%)	0 (0.1%)				17 (4.1%)

図 2-3-2 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比



業種 (千t/年)	合計	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
排出量	2,550 (100%)	715 (100%)	846 (100%)	966 (100%)	23 (100%)
再生利用量	1,069 (41.9%)	647 (90.5%)	118 (13.9%)	295 (30.5%)	9 (40.7%)
減量化量	1,087 (42.6%)	20 (2.8%)	554 (65.5%)	503 (52.0%)	10 (41.8%)
最終処分量	395 (15.5%)	47 (6.6%)	175 (20.6%)	168 (17.4%)	4 (17.4%)
その他量	0 (0.0%)				0 (0.1%)

(参考)

発生量	2,812 (100%)	723 (100%)	974 (100%)	1,091 (100%)	24 (100%)
有償物量	262 (9.3%)	8 (1.1%)	128 (13.1%)	124 (11.4%)	2 (7.0%)

図 2-3-3 業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

3 自己中間処理状況

自己中間処理量は1,081千トンとなっており、排出量の42.4%を占めている。

種類別に排出量に対する自己中間処理量の割合でみると、汚泥が90.5%で最も高く、次いで紙くずが83.8%、ガラス陶磁器くずが23.9%となっている。

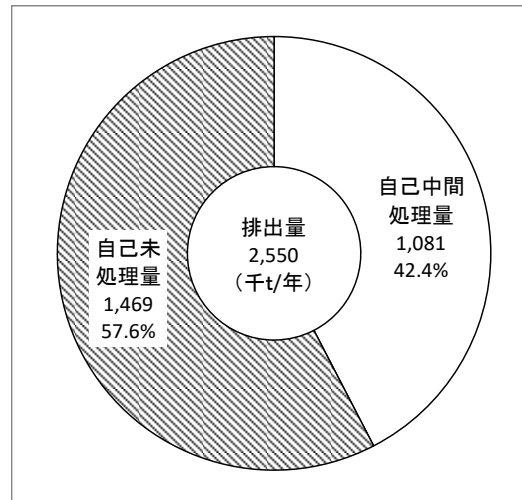
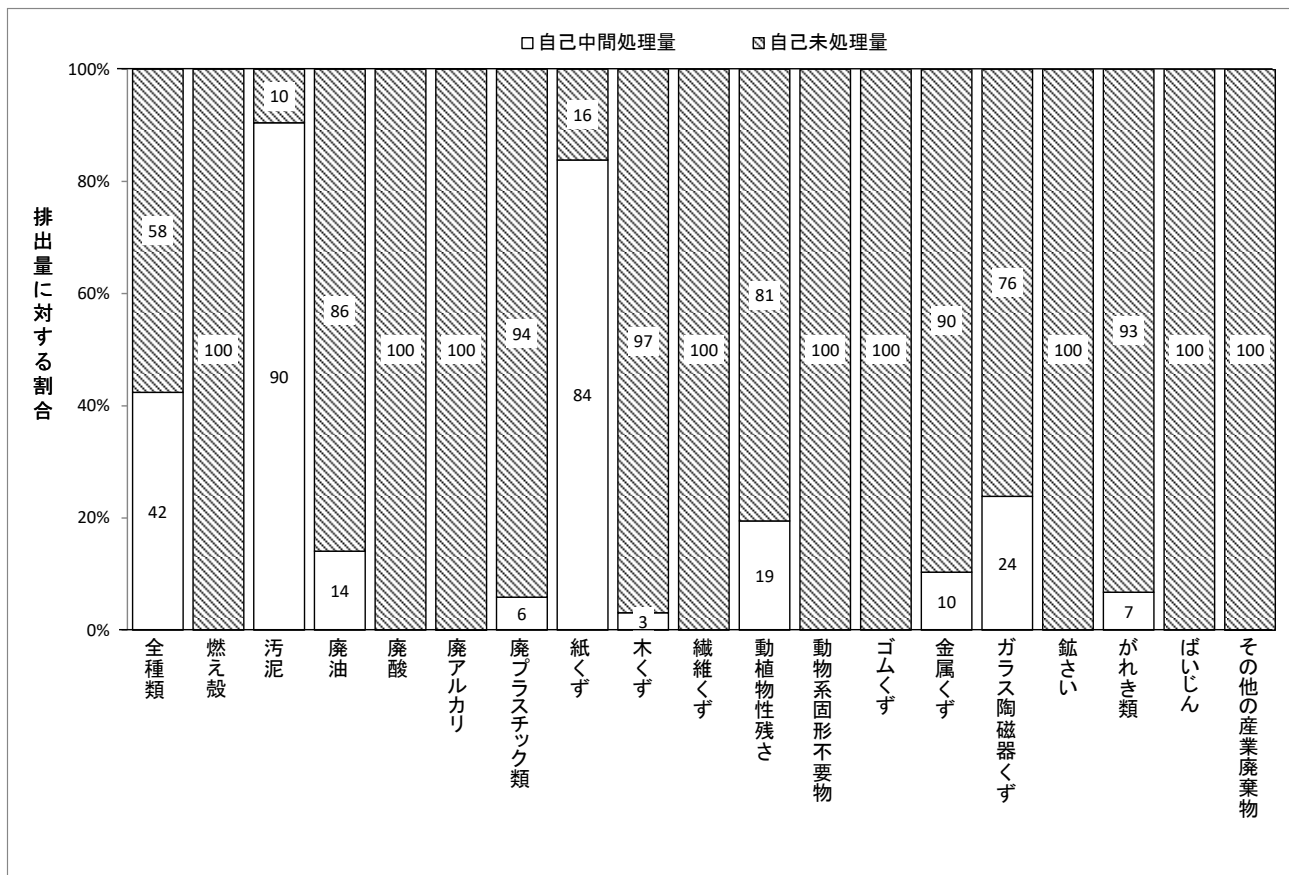


図 2-3-4 自己中間処理量及び自己未処理量の構成比



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	2,550 (100%)	33 (100%)	1,117 (100%)	16 (100%)	7 (100%)	9 (100%)	43 (100%)	10 (100%)	80 (100%)	0 (100%)	7 (100%)	3 (100%)	0 (100%)	19 (100%)	59 (100%)	147 (100%)	569 (100%)	33 (100%)	398 (100%)
自己中間処理量	1,081 (42.4%)		1,010 (90.5%)	2 (14.1%)		0 (0.0%)	3 (5.9%)	8 (83.8%)	2 (3.1%)		1 (19.5%)			2 (10.3%)	14 (23.9%)		39 (6.8%)		0 (0.0%)
(自己減量化量)	978 (38.3%)		967 (86.6%)	2 (13.7%)			0 (0.0%)	8 (80.5%)	1 (1.2%)					0 (0.2%)					0 (0.0%)
自己未処理量	1,469 (57.6%)	33 (100%)	107 (9.5%)	14 (85.9%)	7 (100%)	9 (100%)	41 (94.1%)	2 (16.2%)	77 (96.9%)	0 (100%)	6 (80.5%)	3 (100%)	0 (100%)	17 (89.7%)	45 (76.1%)	147 (100%)	530 (93.2%)	33 (100%)	398 (100%)

図 2-3-5 種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己未処理量の構成比

4 委託処理状況

委託処理量は 1,384 千トンであり、排出量の 54.2%を占めている。

種類別にみると、がれき類が 531 千トン (38.4%) で最も多く、次いで、その他の産業廃棄物が 398 千トン (28.8%)、以下、汚泥が 127 千トン (9.2%)、木くずが 62 千トン (4.5%)、ガラス陶磁器くずが 59 千トン (4.3%) となっている。

委託処理量 1,384 千トンのうち、委託直接最終処分量は 222 千トン (委託処理量の 16.0%)、委託中間処分量は 1,161 千トン (同 83.9%) となっている。

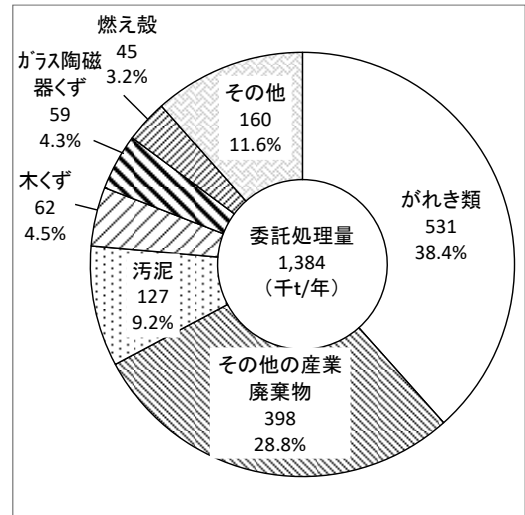
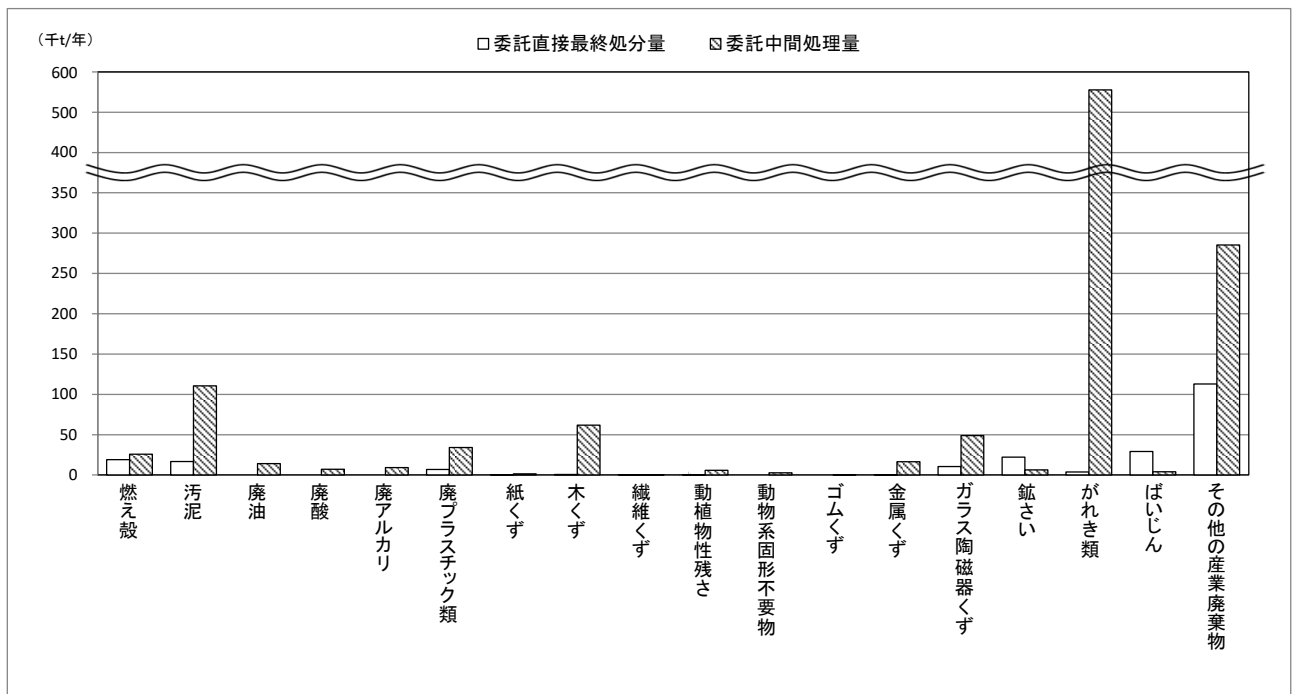


図 2-3-6 種類別委託処理量の構成比



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
委託処理量	1,384 (100%)	45 (3.2%)	127 (9.2%)	14 (1.0%)	7 (0.5%)	9 (0.7%)	41 (2.9%)	2 (0.1%)	62 (4.5%)	0 (0.0%)	6 (0.4%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)	17 (1.2%)	59 (4.3%)	28 (2.0%)	531 (38.4%)	33 (2.4%)	398 (28.8%)
委託直接最終処分量	222 (100%)	19 (8.6%)	17 (7.6%)				7 (3.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)			0 (0.2%)	11 (4.7%)	22 (9.9%)	4 (1.6%)	29 (13.1%)	113 (50.9%)
委託中間処分量	1,161 (100%)	26 (2.2%)	111 (9.5%)	14 (1.2%)	7 (0.6%)	9 (0.8%)	34 (2.9%)	1 (0.1%)	62 (5.3%)	0 (0.0%)	6 (0.5%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)	17 (1.4%)	49 (4.2%)	6 (0.5%)	528 (45.4%)	4 (0.3%)	285 (24.6%)

図 2-3-7 種類別の委託処理量

5 最終処分状況

最終処分量は 395 千トンとなっており、排出量の 15.5%を占めている。

種類別にみると、鉱さいが 141 千トン (35.7%) で最も多く、次いで、その他の産業廃棄物が 117 千トン (29.6%)、以下、汚泥が 42 千トン (10.5%)、燃え殻が 32 千トン (8.0%) 等となっている。

最終処分量 395 千トンの処理を主体別にみると、排出事業者自らの自己最終処分量が 125 千トン (最終処分量の 31.6%)、処理業者及び県等の公共施設での委託最終処分量が 270 千トン (同 68.4%) となっている。

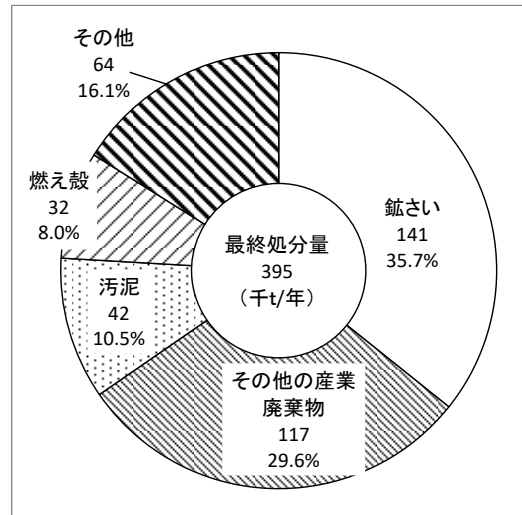
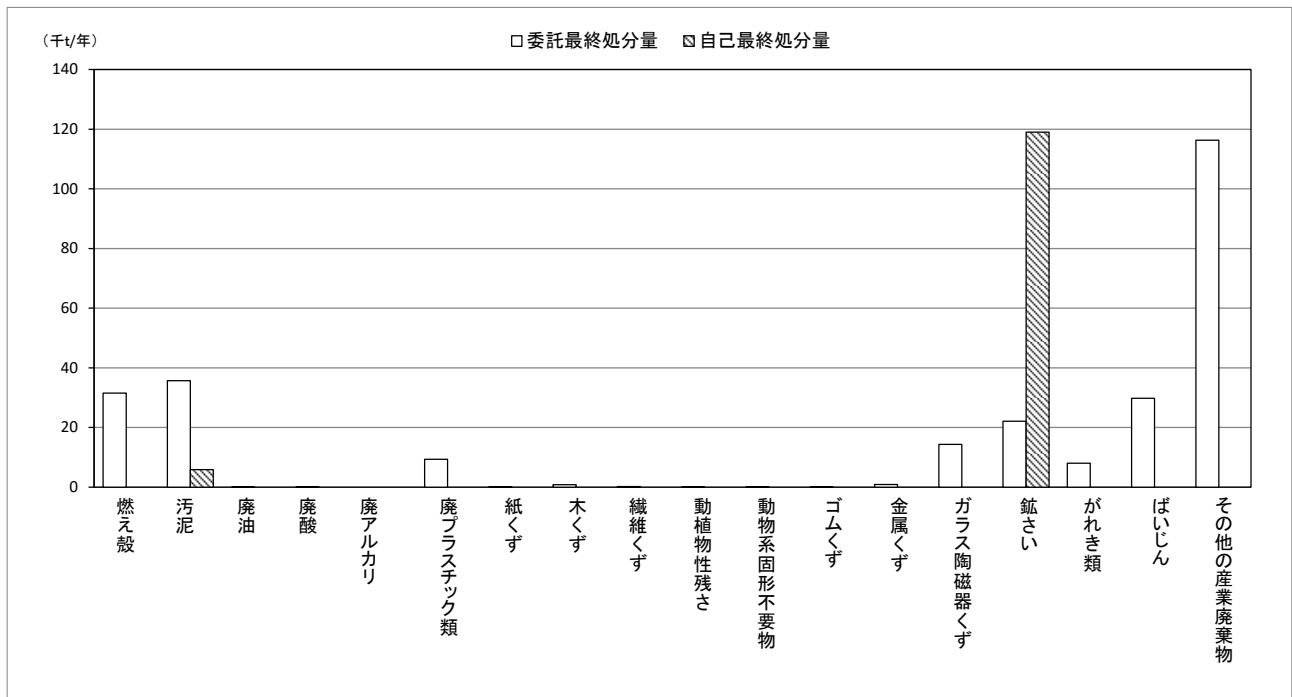


図 2-3-8 種類別最終処分量の構成比



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
最終処分量	395 (100%)	32 (8.0%)	42 (10.5%)				9 (2.4%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	14 (3.6%)	141 (35.7%)	8 (2.0%)	30 (7.6%)	117 (29.6%)
委託最終処分量	270 (100%)	32 (11.7%)	36 (13.2%)				9 (3.5%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	14 (5.3%)	22 (8.2%)	8 (3.0%)	30 (11.1%)	116 (43.1%)
自己最終処分量	125 (100%)		6 (4.7%)													119 (95.3%)			

図 2-3-9 種類別の最終処分量

6 再生利用状況

再生利用量は 1,069 千トンとなっており、排出量の 41.9%を占めている。

種類別にみると、がれき類が 561 千トン (52.5%) で最も多く、以下、その他の産業廃棄物が 275 千トン (25.7%)、木くずが 72 千トン (6.8%)、ガラス陶磁器くずが 45 千トン (4.2%)、汚泥が 30 千トン (2.8%) 等となっている。

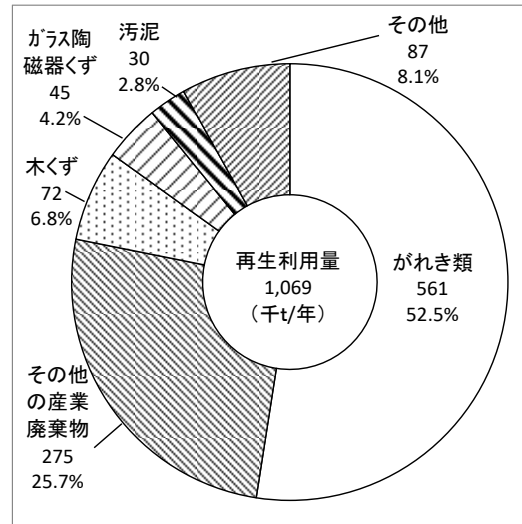
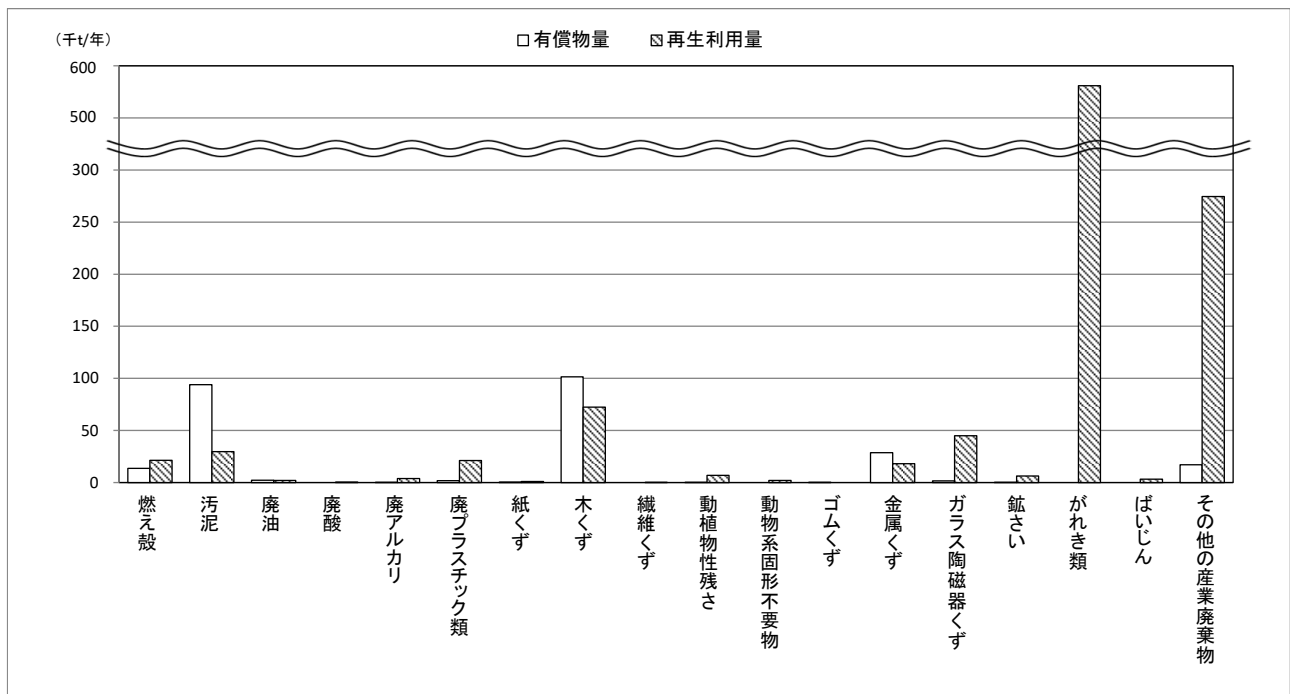


図 2-3-10 種類別の再生利用量の構成比



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物	
再生利用量	1,069 (100%)	21 (2.0%)	30 (2.8%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	4 (0.4%)	21 (2.0%)	1 (0.1%)	72 (6.8%)	0 (0.0%)	7 (0.6%)	2 (0.2%)	0	18 (1.7%)	45 (4.2%)	6 (0.6%)	561 (52.5%)	0	3 (0.3%)	275 (25.7%)
有償物量	262 (100%)	14 (5.2%)	94 (35.9%)	2 (0.9%)	0	0	2 (0.7%)	0 (0.2%)	102 (38.8%)	0	0	0	0 (0.0%)	29 (10.9%)	2 (0.6%)	0 (0.1%)	0	0	0	17 (6.5%)
資源化量	1,331 (100%)	35 (2.6%)	124 (9.3%)	4 (0.3%)	0 (0.0%)	4 (0.3%)	23 (1.7%)	1 (0.1%)	174 (13.1%)	0 (0.0%)	7 (0.5%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	47 (3.5%)	46 (3.5%)	6 (0.5%)	561 (42.2%)	0 (0.2%)	3 (0.2%)	292 (21.9%)

図 2-3-11 種類別の再生利用量

7 発生量及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-12 に示すとおりである。

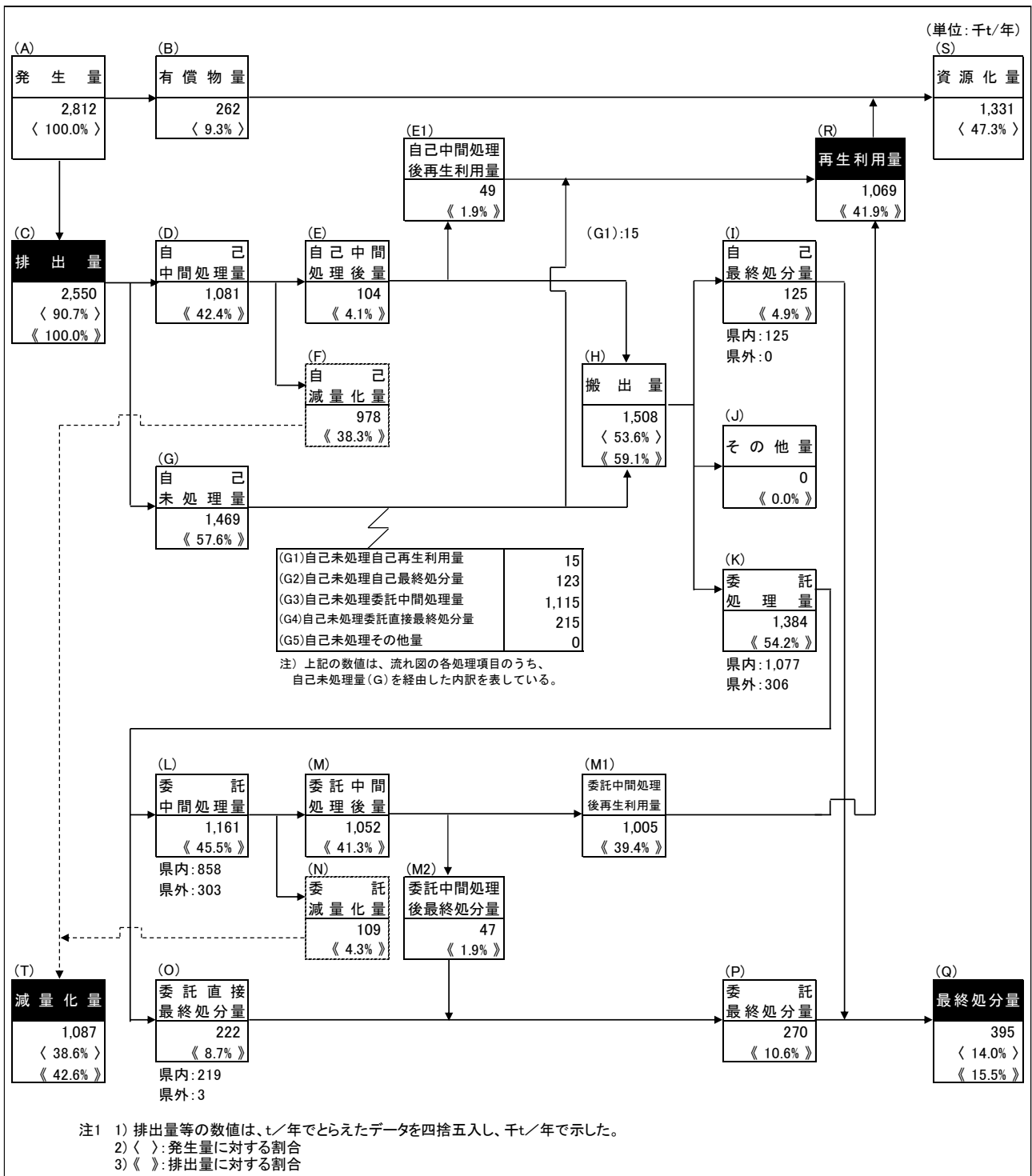


図 2-3-12 発生及び処理状況の流れ図

第3章 業種別の調査結果

第1節 建設業

1 概要

建設業からの排出量は715千トで、県全体の排出量の28.0%を占めている。

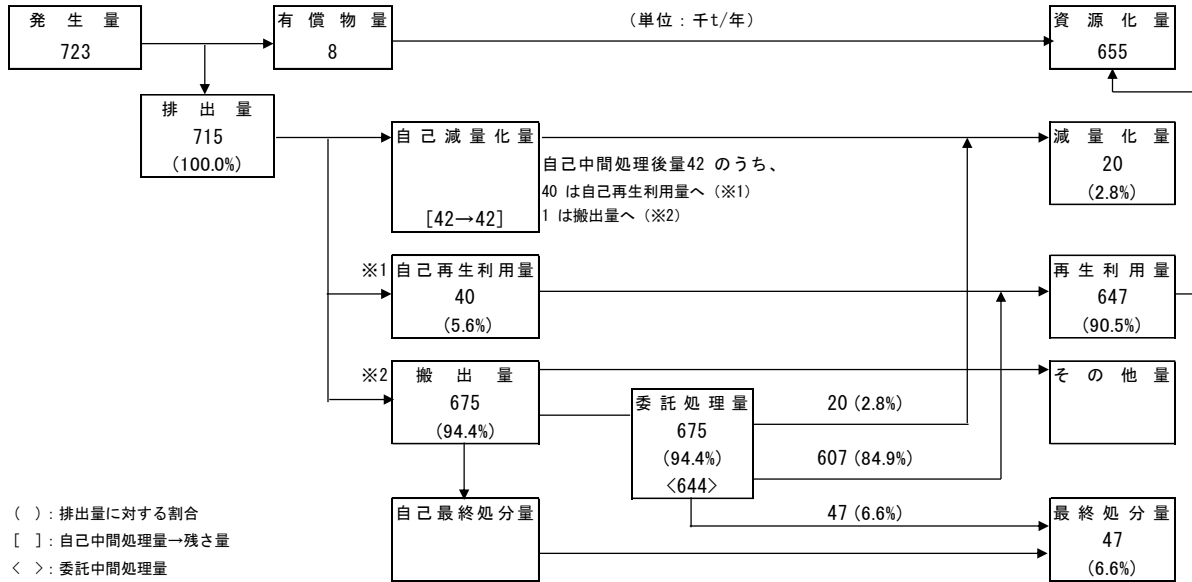


図 3-1-1 建設業の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、がれき類の566千ト（建設業の排出量の79.2%）と木くずの60千ト（同8.3%）、汚泥の29千ト（同4.1%）で建設業全体の91.6%を占めている。

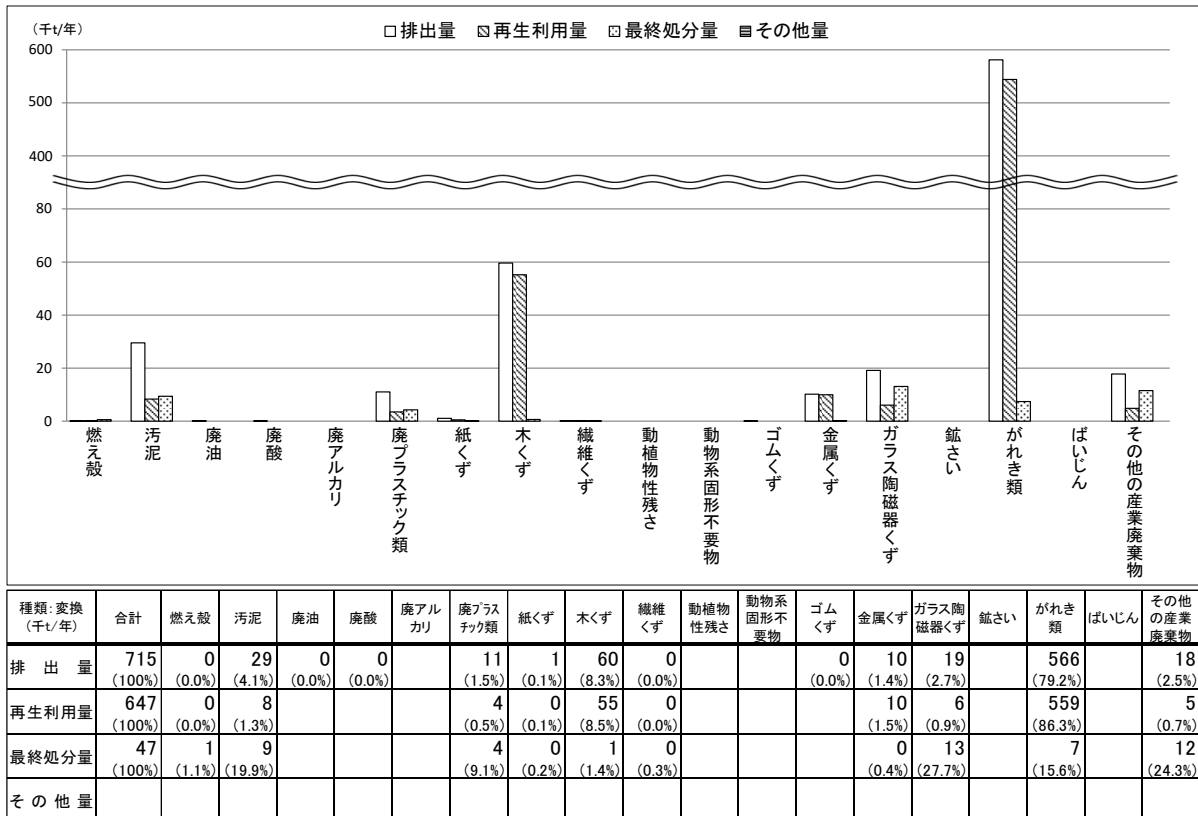


図 3-1-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 715 千トンの処理・処分状況を見ると、20 千トン (2.8%) が減量化され、再生利用量は 647 千トン (90.5%)、最終処分量は 47 千トン (6.6%) となっている。

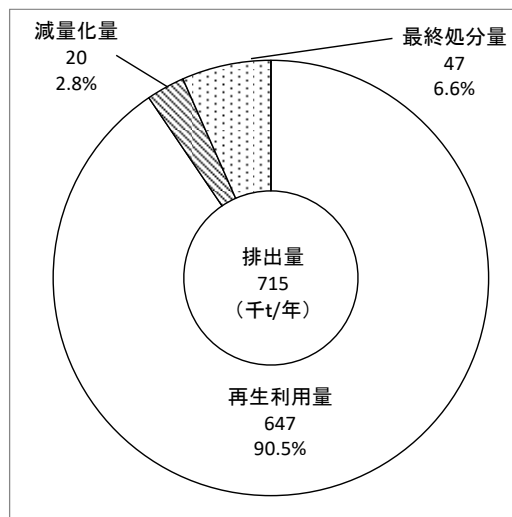
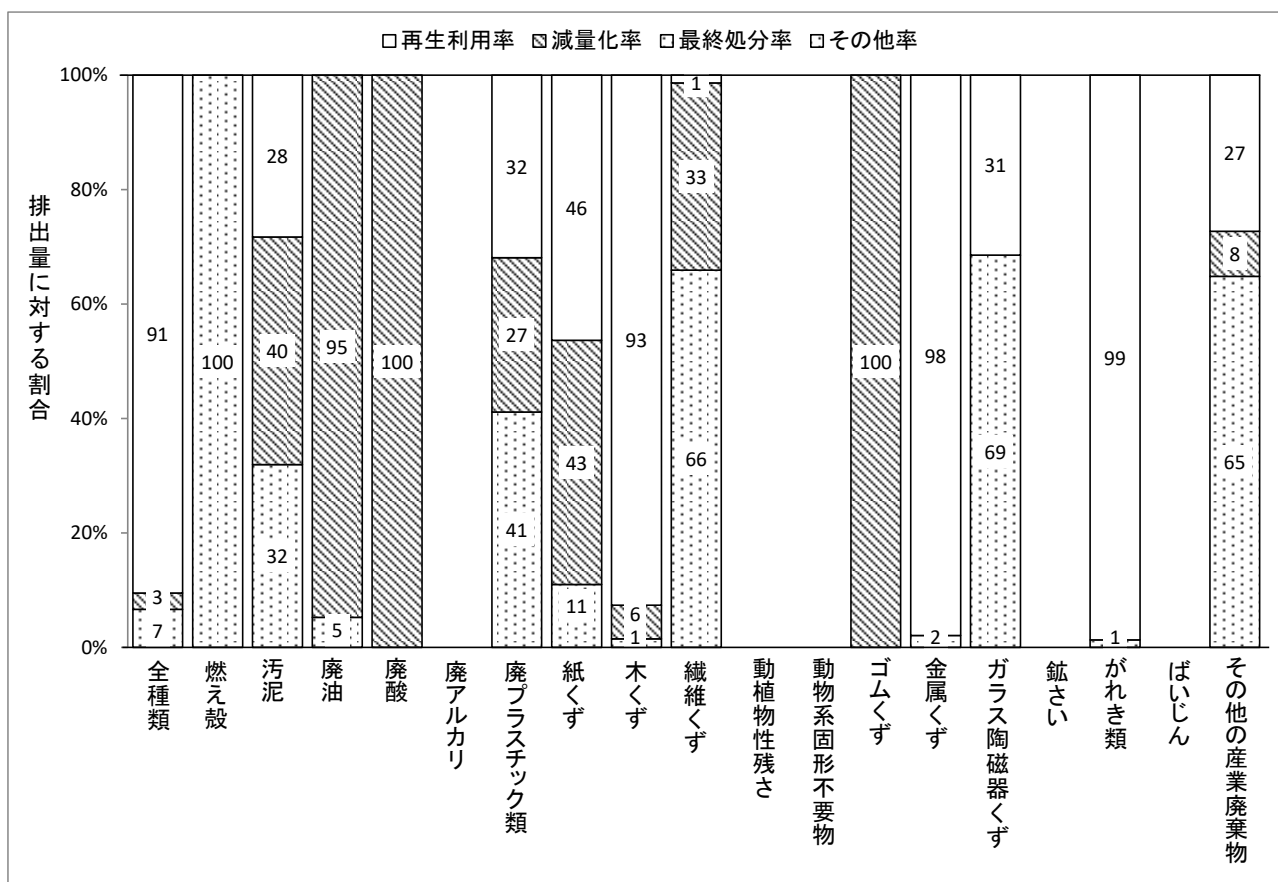


図 3-1-3 建設業の排出量に対する処理・処分状況の構成比



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	715	0	29	0	0		11	1	60	0			0	10	19		566		18
再生利用量	647		8				4	0	55	0				10	6		559		5
減量化量	20		12	0	0		3	0	4	0			0						1
最終処分量	47	0	9	0			5	0	1	0				0	13		7		12
その他量																			

注1) 廃油に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-1-4 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-1-5 のとおりである。

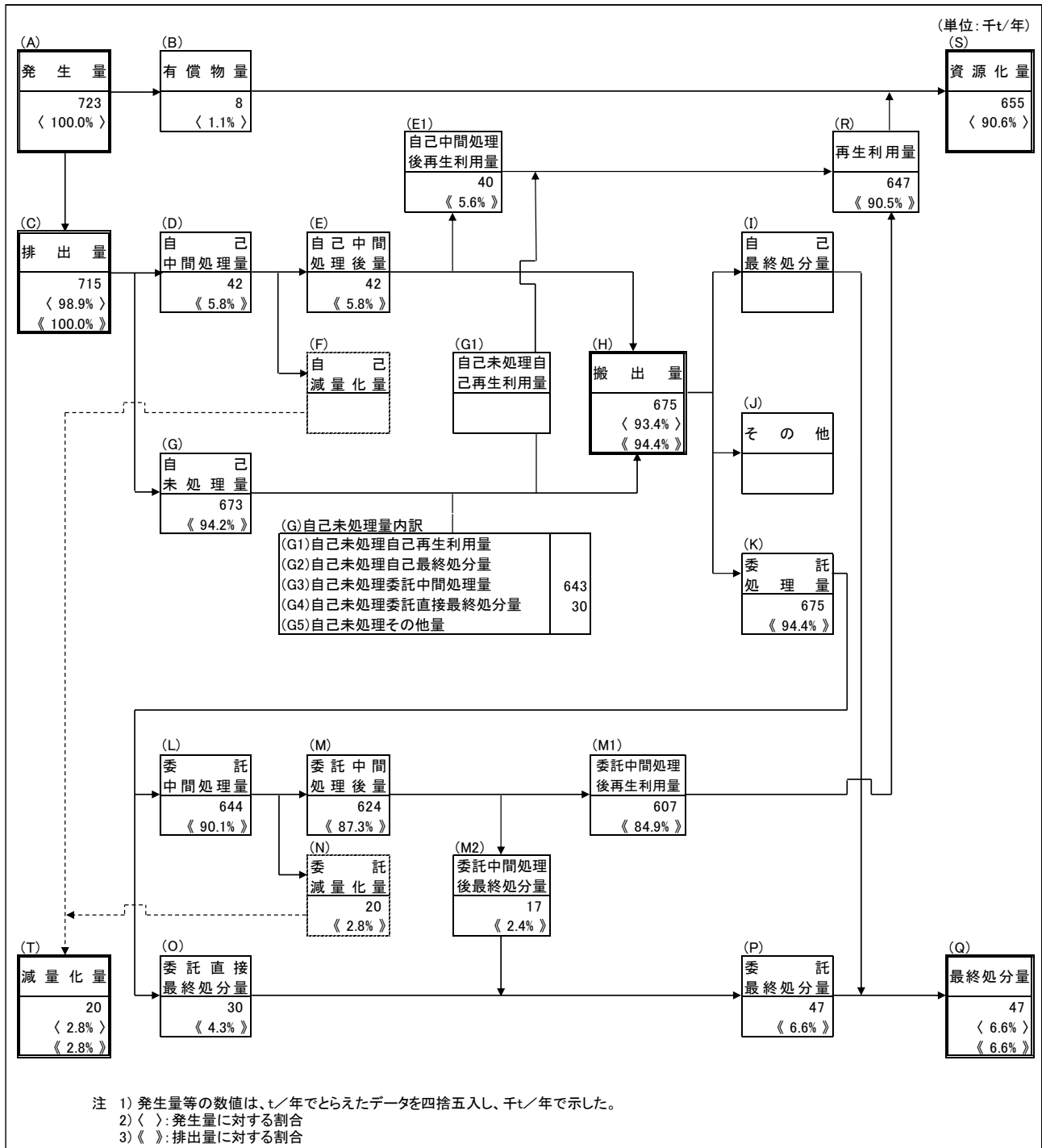


図 3-1-5 建設業の発生及び処理状況の流れ図

第2節 製造業

1 概要

製造業からの排出量は846千トで、県全体の排出量の33.2%を占めている。

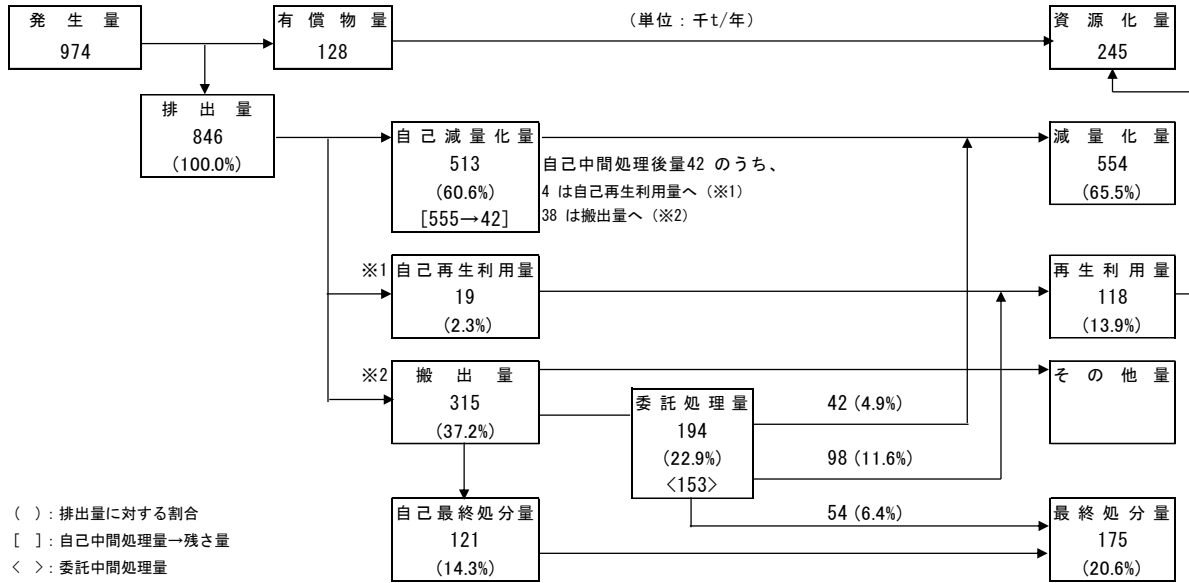
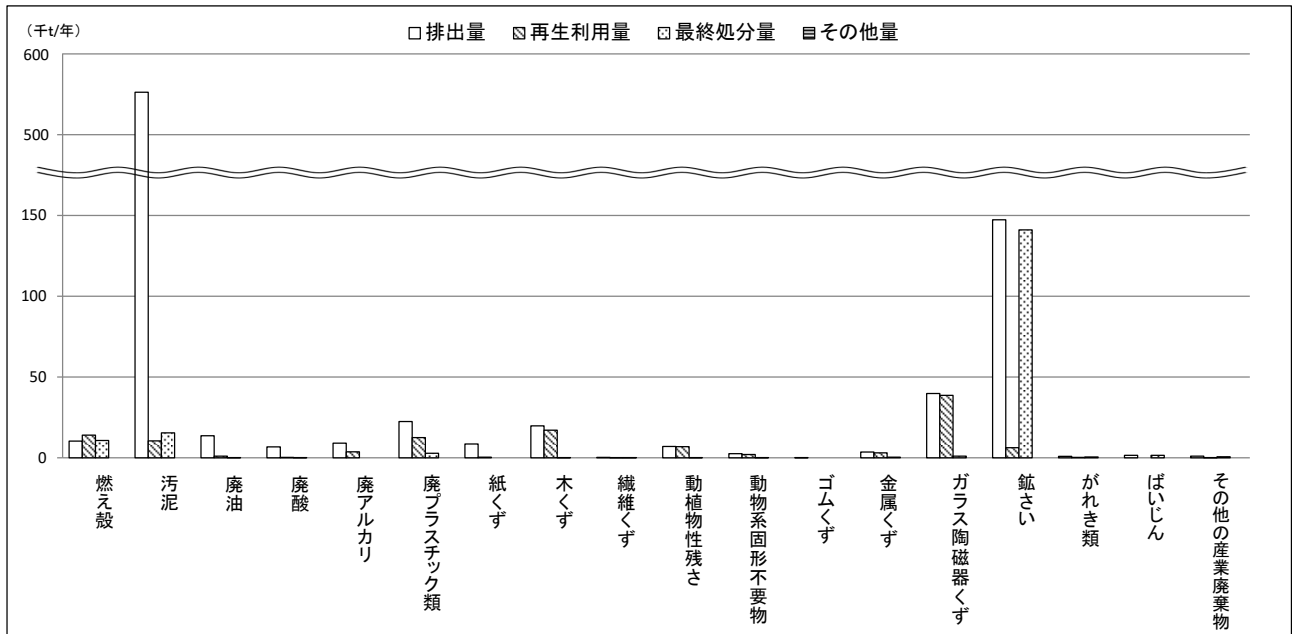


図 3-2-1 製造業の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

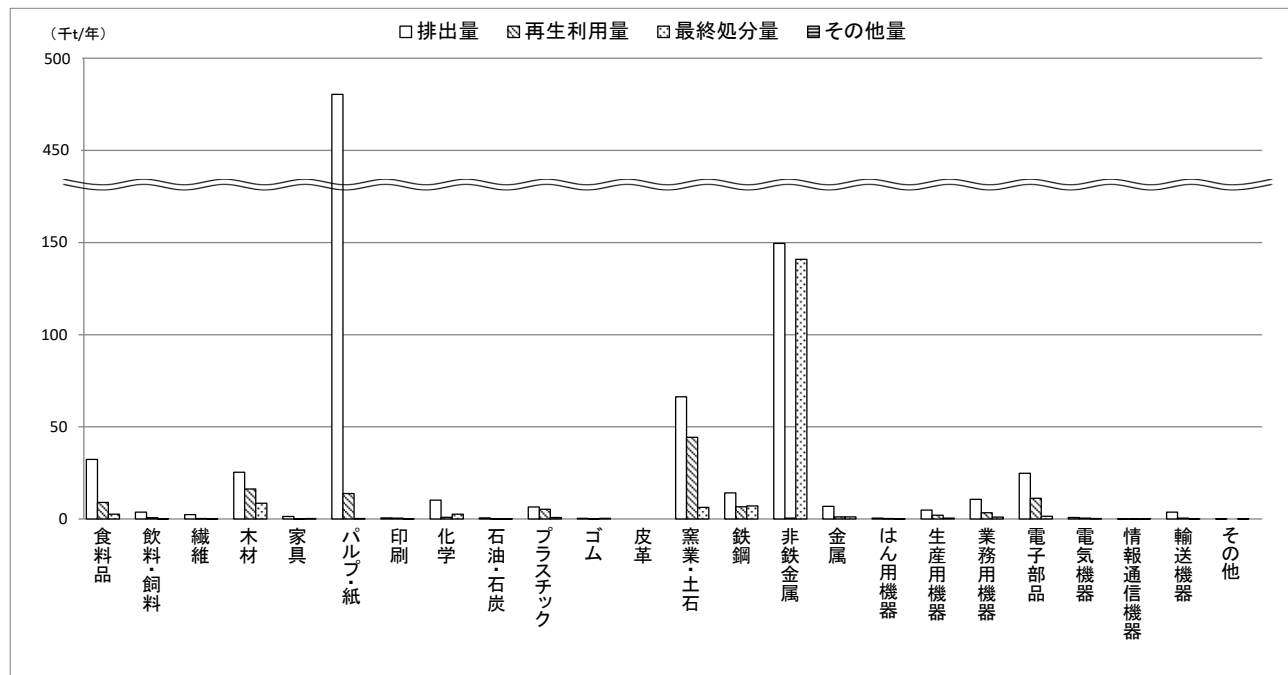
排出量を種類別にみると、汚泥の551千ト（製造業の排出量の65.1%）と鉱さいの147千ト（同17.4%）で製造業全体の82.5%を占めている。



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	846 (100%)	10 (1.2%)	551 (65.1%)	14 (1.6%)	7 (0.8%)	9 (1.1%)	23 (2.7%)	9 (1.0%)	20 (2.3%)	0 (0.0%)	7 (0.8%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	4 (0.4%)	40 (4.7%)	147 (17.4%)	1 (0.1%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)
再生利用量	118 (100%)	14 (12.0%)	10 (8.9%)	1 (0.9%)	0 (0.3%)	4 (3.2%)	13 (10.7%)	0 (0.4%)	17 (14.6%)	0 (0.1%)	7 (5.9%)	2 (1.8%)		3 (2.7%)	39 (33.0%)	6 (5.3%)	0 (0.3%)		0 (0.0%)
最終処分量	175 (100%)	11 (6.2%)	15 (8.8%)				3 (1.6%)		0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		0 (0.3%)	1 (0.6%)	141 (80.7%)	1 (0.3%)	2 (0.9%)	1 (0.4%)
その他量																			

図 3-2-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量を業種中分類別にみると、パルプ・紙の480千ト（製造業の排出量の56.8%）と非鉄金属の150千ト（同17.7%）、窯業・土石業の66千ト（同7.8%）で製造業全体の82.3%を占めている。



業種中分類 (千t/年)	合計	食料品	飲料・ 飼料	繊維	木材	家具	パルプ・ 紙	印刷	化学	石油・ 石炭	プラ スチック	ゴム	皮革	窯業・ 土石	鉄鋼	非鉄金 属	金属	はん用 機器	生産用 機器	業務用 機器	電子部 品	電気機 器	情報通 信機器	輸送機 器	その他
排 出 量	846 (100%)	32 (3.8%)	4 (0.4%)	2 (0.3%)	25 (3.0%)	1 (0.2%)	480 (56.8%)	1 (0.1%)	10 (1.2%)	1 (0.1%)	7 (0.8%)	0 (0.0%)	0	66 (7.8%)	14 (1.7%)	150 (17.7%)	7 (0.8%)	0 (0.1%)	5 (0.6%)	11 (1.3%)	25 (2.9%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)
再 利 用 量	118 (100%)	9 (7.7%)	1 (0.6%)	0 (0.2%)	16 (13.8%)	0 (0.1%)	14 (11.8%)	1 (0.4%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	5 (4.5%)	0 (0.0%)	0	44 (37.8%)	7 (5.7%)	1 (0.4%)	1 (1.0%)	0 (0.3%)	2 (1.7%)	3 (2.9%)	11 (9.5%)	0 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.4%)	0
最 終 処 分 量	175 (100%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)	9 (4.9%)	0 (0.2%)	0 (0.2%)	0 (0.0%)	3 (1.5%)	0 (0.1%)	1 (0.5%)	0 (0.2%)	0	6 (3.6%)	7 (4.0%)	141 (80.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	1 (0.6%)	1 (0.8%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)
その他量																									

図 3-2-3 業種中分類別の発生量、再生利用量、最終処分量

排出された 846 千トンの処理・処分状況をみると、554 千トン (65.5%) が減量化され、再生利用量は 118 千トン (13.9%)、最終処分量は 175 千トン (20.6%) となっている。

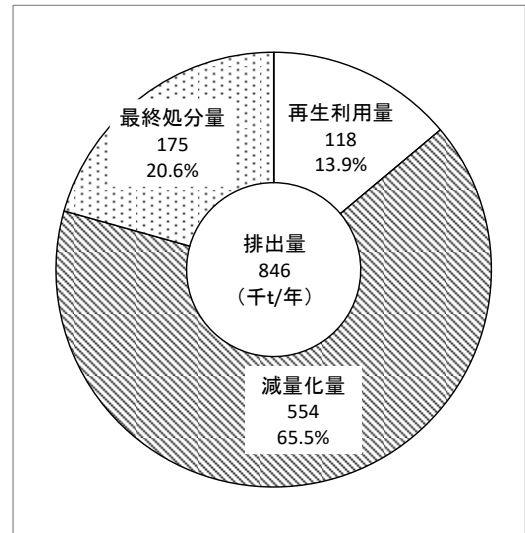
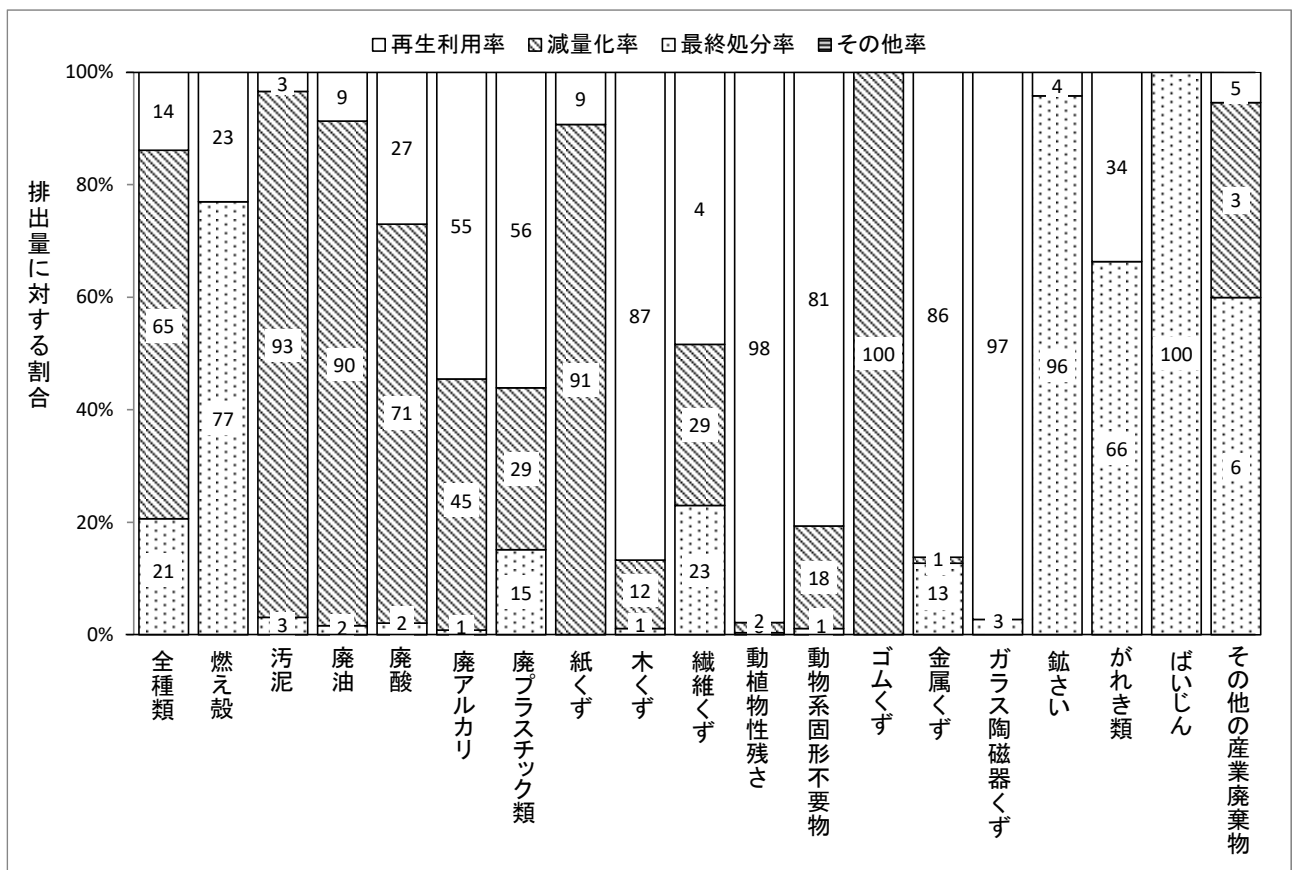


図 3-2-4 種類別の排出量に対する処理・処分状況の構成比



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	846	10	551	14	7	9	23	9	20	0	7	3	0	4	40	147	1	2	1
再生利用量	118	2	19	1	2	5	13	1	17	0	7	2	0	3	39	6	0	0	0
減量化量	554	5	515	12	5	4	6	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量	175	8	17	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	141	1	2	1	0
その他量																			

注1) 廃油、廃酸、廃アルカリに最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-2-5 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-2-6 に示すとおりである。

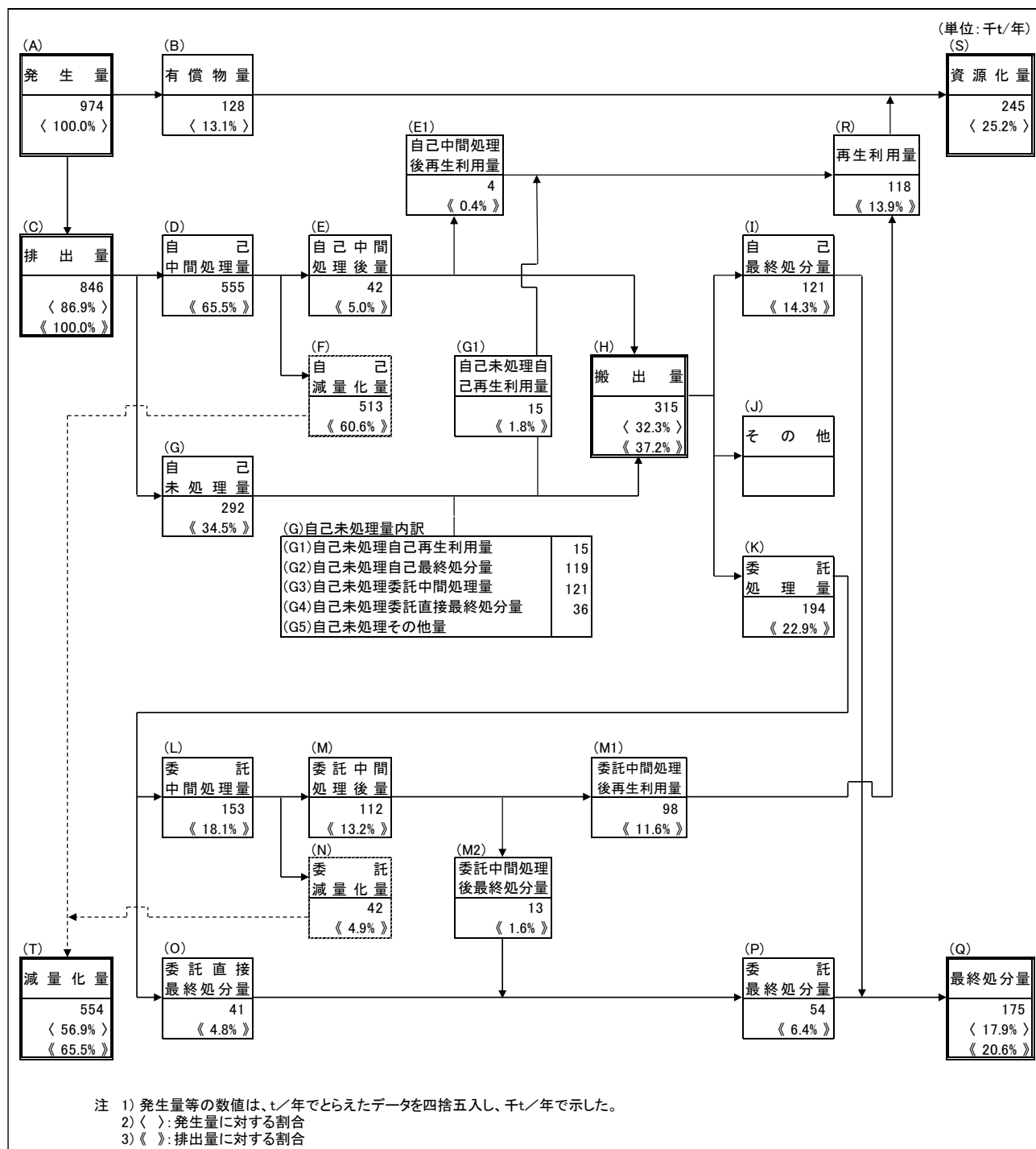


図 3-2-6 製造業の発生及び処理状況の流れ図

第3節 電気・水道業

1 概要

電気・水道業からの排出量は966千トで、県全体の排出量の37.9%を占めている。

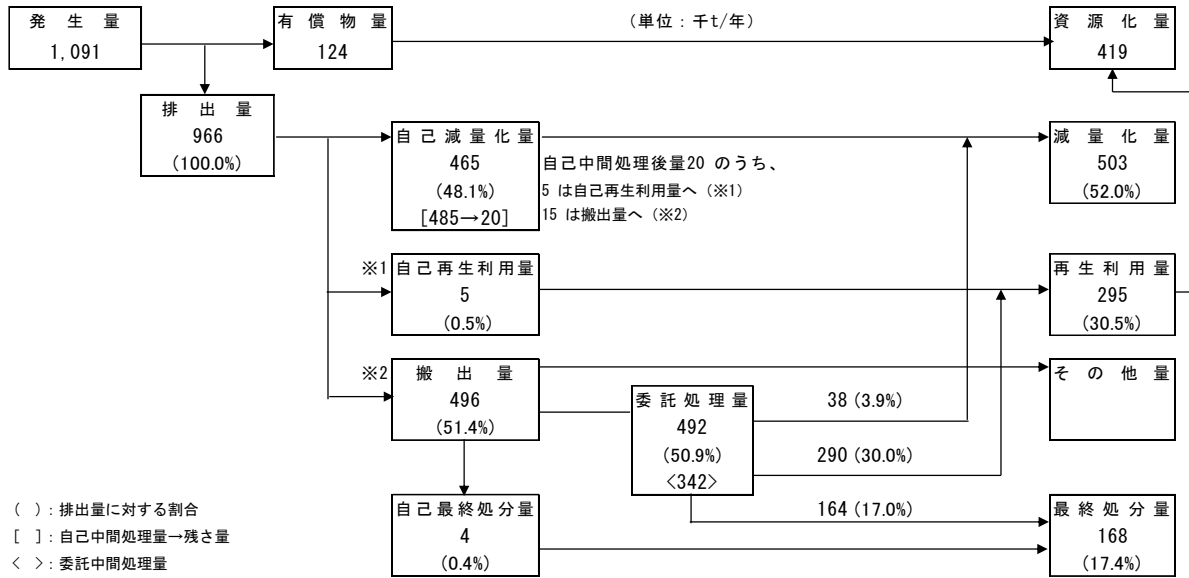
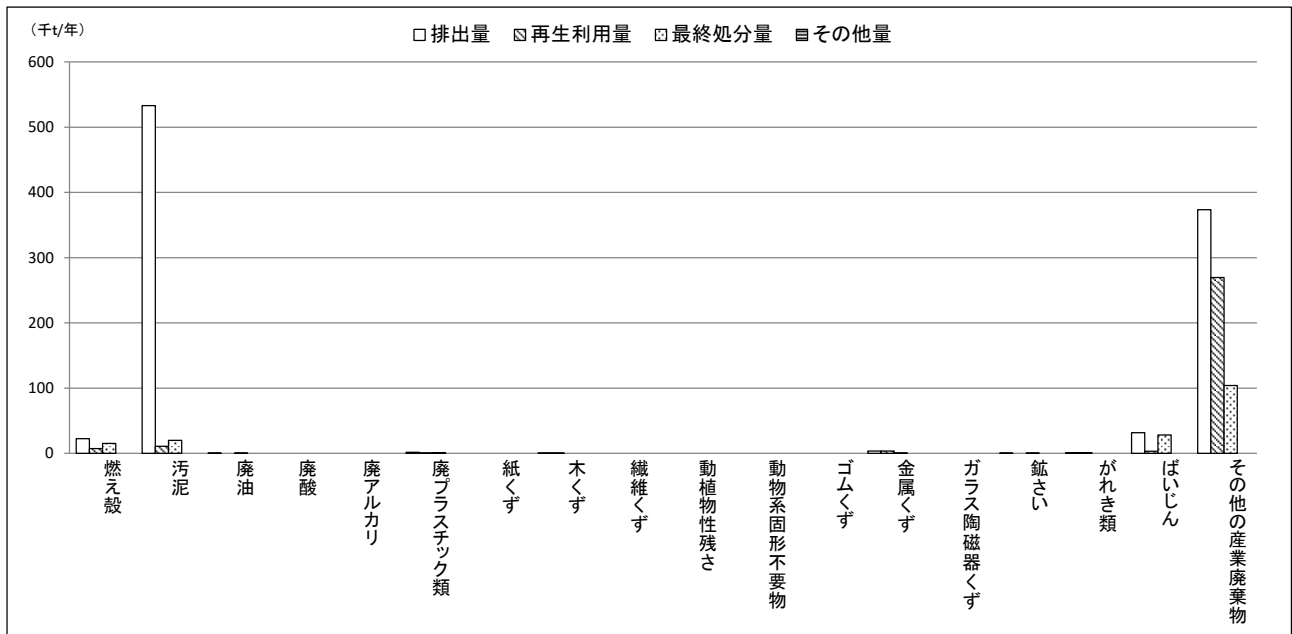


図3-3-1 電気・水道業の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、汚泥の533千ト（電気・水道業の排出量の55.1%）とその他の産業廃棄物の373千ト（同38.6%）で電気・水道業全体の93.7%を占めている。



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉄さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	966 (100%)	22 (2.3%)	533 (55.1%)	0 (0.0%)			2 (0.2%)		0 (0.0%)					3 (0.4%)		0 (0.0%)	1 (0.1%)	31 (3.3%)	373 (38.6%)
再生利用量	295 (100%)	7 (2.4%)	11 (3.6%)				0 (0.0%)		0 (0.0%)					3 (1.1%)			1 (0.4%)	3 (1.1%)	269 (91.3%)
最終処分量	168 (100%)	19 (11.5%)	16 (9.4%)				1 (0.6%)							0 (0.0%)		0 (0.0%)		28 (16.7%)	104 (61.8%)
その他量																			

図3-3-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 996 千トンの処理・処分状況をみると、503 千トン (52.0%) が減量化され、再生利用量は 295 千トン(30.5%)、最終処分量は 168 千トン(17.4%) となっている。

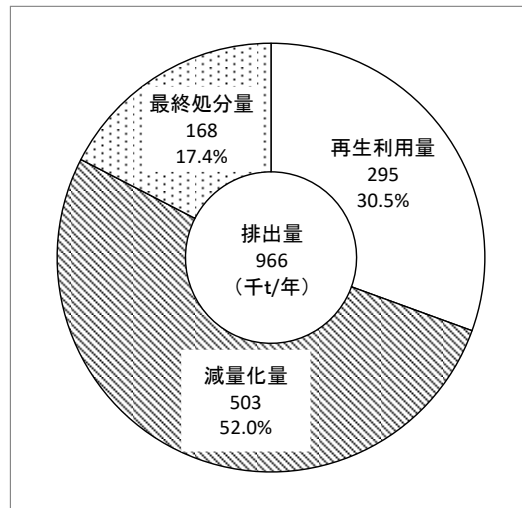
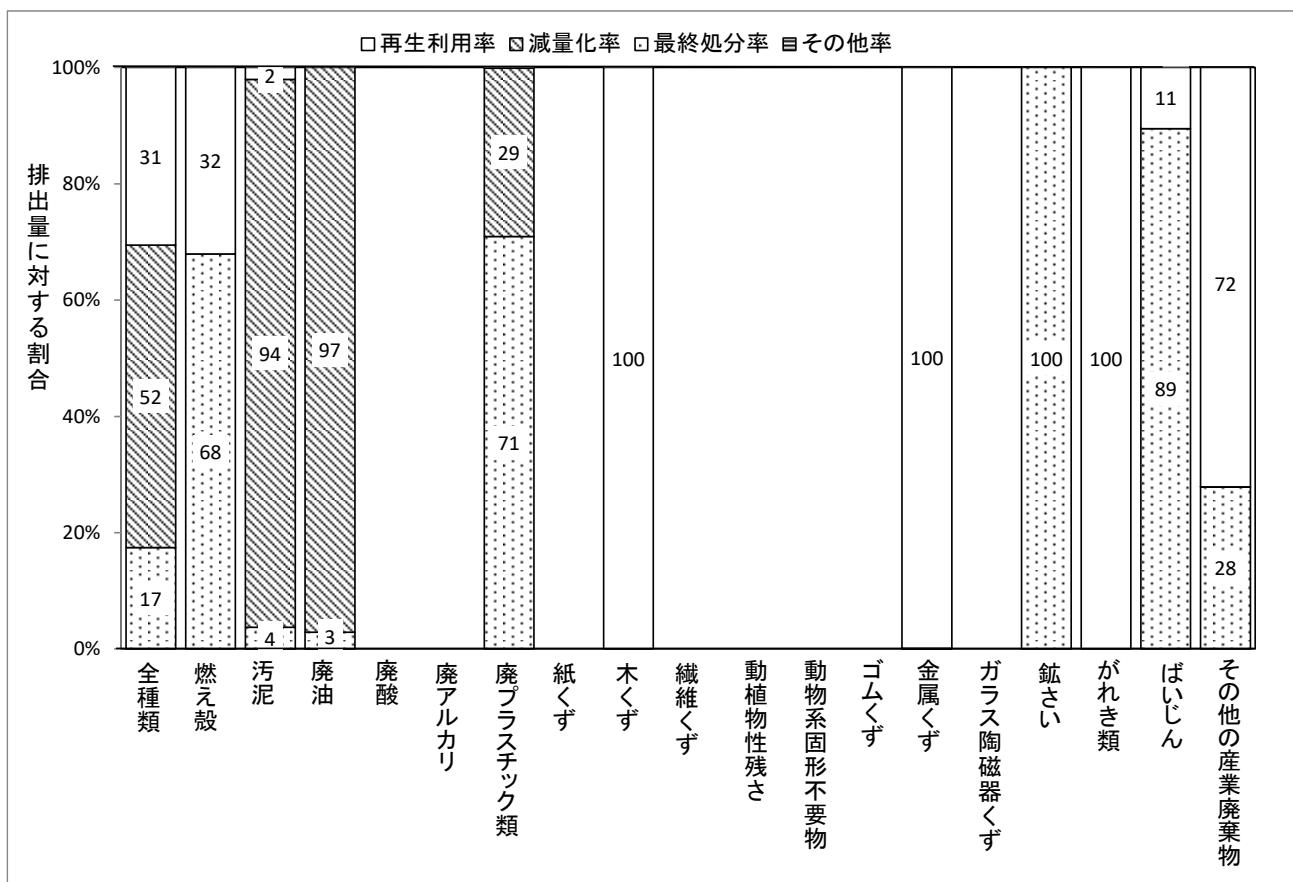


図 3-3-3 種類別の排出量に対する処理・処分状況の構成比



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	966	22	533	0			2	0	0					3		0	1	31	373
再生利用量	295	7	11				0	0						3			1	3	269
減量化量	503		502	0			0												0
最終処分量	168	15	20	0			1							0		0		28	104
その他量																			

図 3-3-4 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-3-5 に示すとおりである。

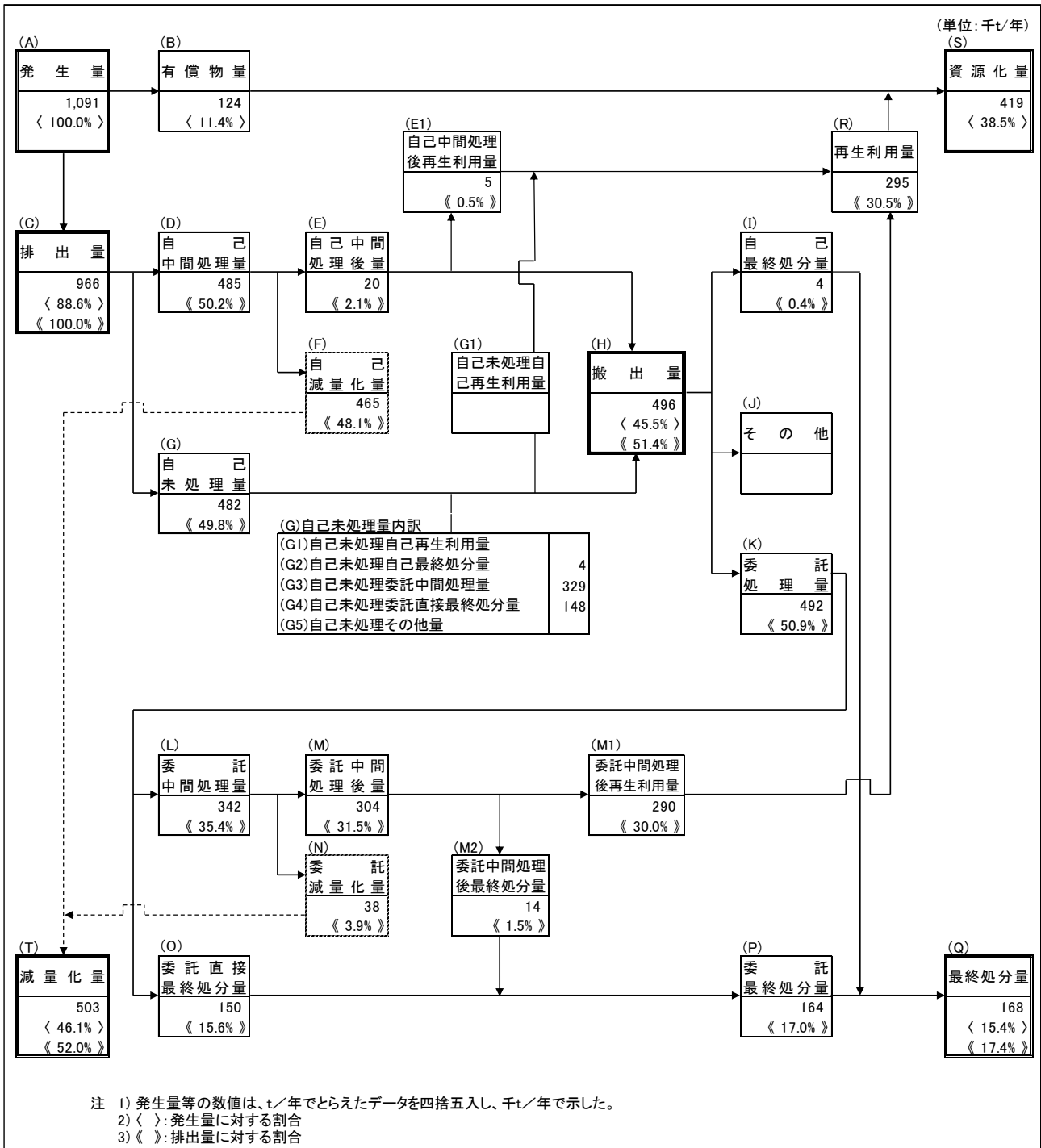


図 3-3-5 電気・水道業の発生及び処理状況の流れ図

第4節 その他の業種

その他の業種（情報通信業、運輸業、卸・小売業、物品賃貸業、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉、サービス業）は、令和2年度の秋田県産業廃棄物実態調査報告書でとりまとめた結果をもとに、令和3年度経済センサス活動調査（総務省）を用いて推計した。

1 概要

その他の業種からの排出量は23千トで、県全体の排出量の0.9%となっている。

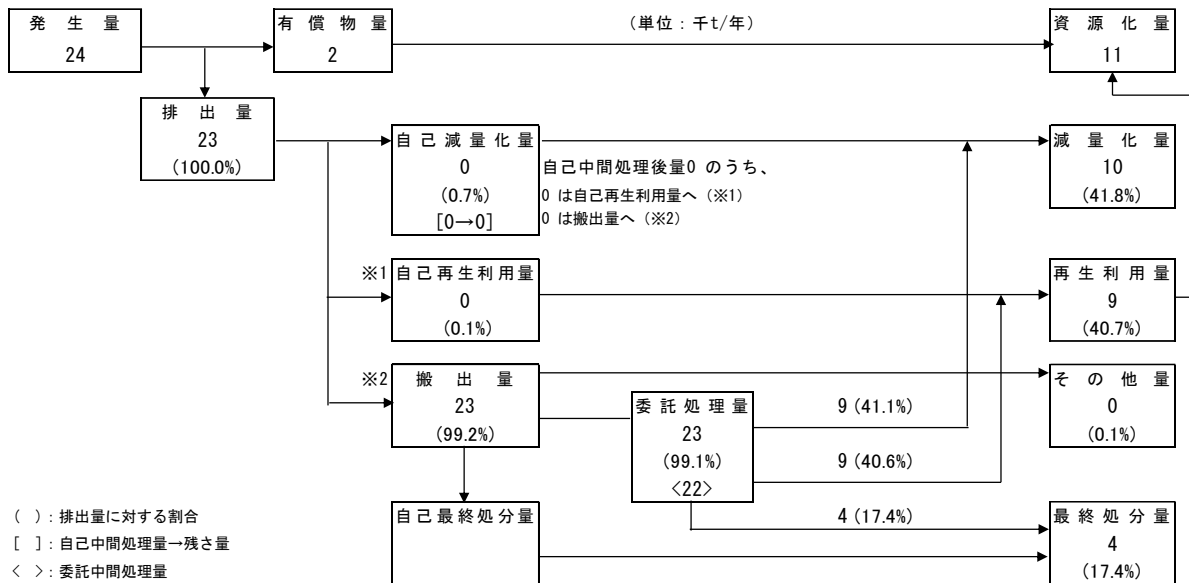
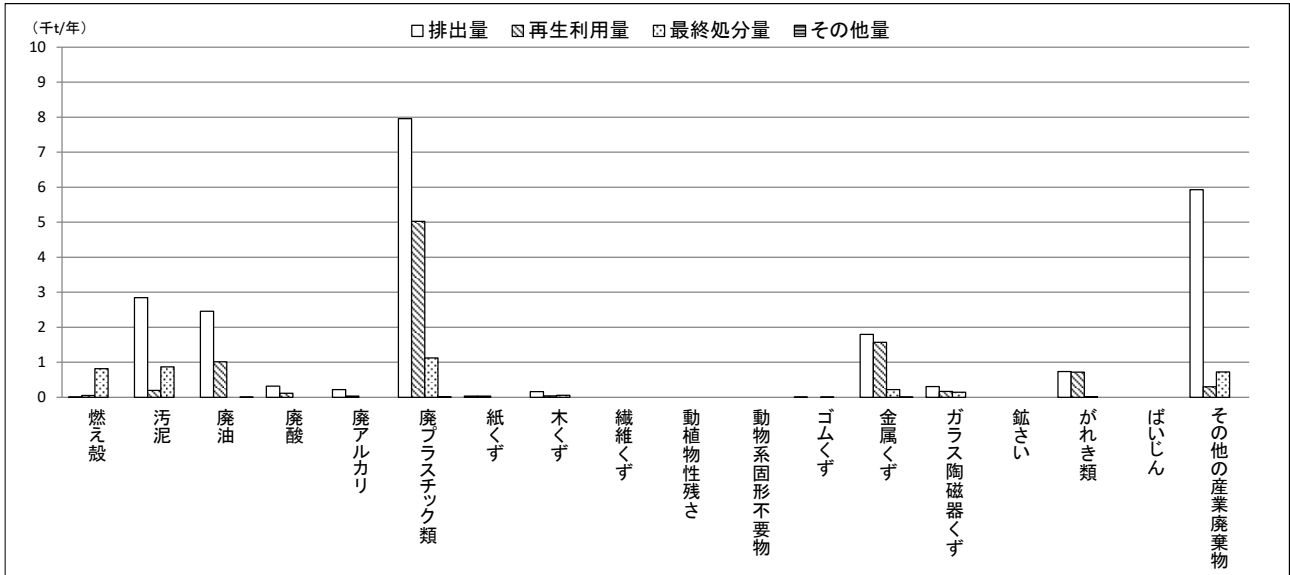


図 3-4-1 その他の業種の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

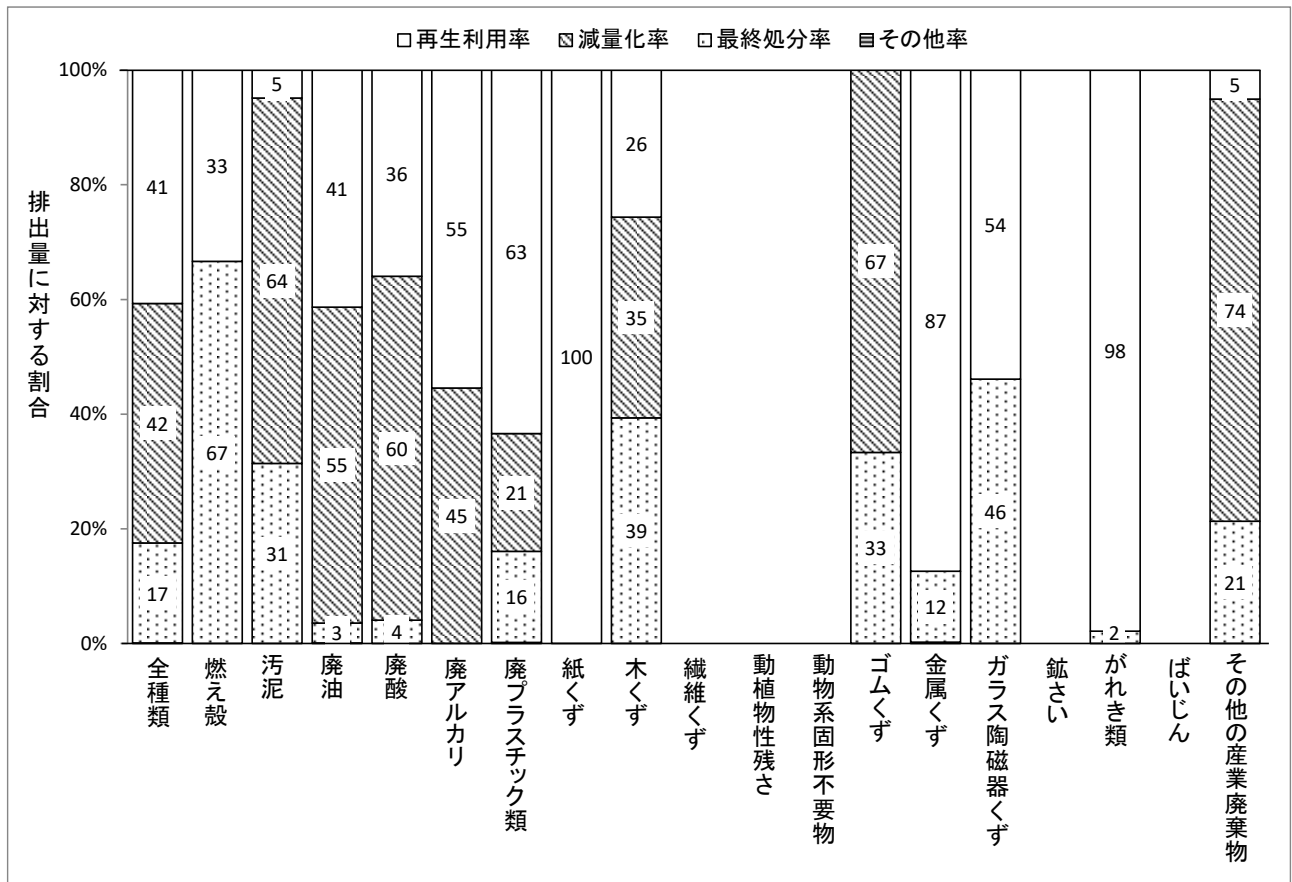
排出量を種類別にみると、全体的に発生量は少なく、廃プラスチック類の8千ト、感染性産業廃棄物を含むその他の産業廃棄物の6千ト、汚泥の3千ト、廃油の2千ト、廃油の2千トではほとんどを占めている。



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	23 (100%)	0 (0.0%)	3 (12.5%)	2 (10.8%)	0 (1.4%)	0 (1.0%)	8 (34.9%)	0 (0.1%)	0 (0.7%)				0 (0.0%)	2 (7.9%)	0 (1.4%)		1 (3.2%)		6 (26.0%)
再生利用量	9 (100%)	0 (0.6%)	0 (2.1%)	1 (10.9%)	0 (1.2%)	0 (0.3%)	5 (54.3%)	0 (0.3%)	0 (0.4%)					2 (17.0%)	0 (1.8%)		1 (7.8%)		0 (3.2%)
最終処分量	4 (100%)	1 (20.5%)	1 (21.8%)				1 (28.3%)		0 (1.5%)				0 (0.0%)	0 (5.5%)	0 (3.6%)		0 (0.4%)		1 (18.3%)
その他量	0 (100%)			0 (14.3%)			0 (66.7%)							0 (19.0%)					

図 3-4-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 23 千トンの処理・処分状況を見ると、10 千トン（41.8%）が減量化され、再生利用量は 9 千トン（40.7%）、最終処分量は 4 千トン（17.4%）となっている。



種類: 無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	23	0	3	2	0	0	8	0	0				0	2	0		1		6
再生利用量	9	0	0	1	0	0	5	0	0					2	0		1		0
減量化量	10		2	1	0	0	2		0				0						4
最終処分量	4	0	1	0	0		1		0				0	0	0		0		1
その他量	0			0			0						0						

注1) 廃酸に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-4-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-4-4 のとおりである。

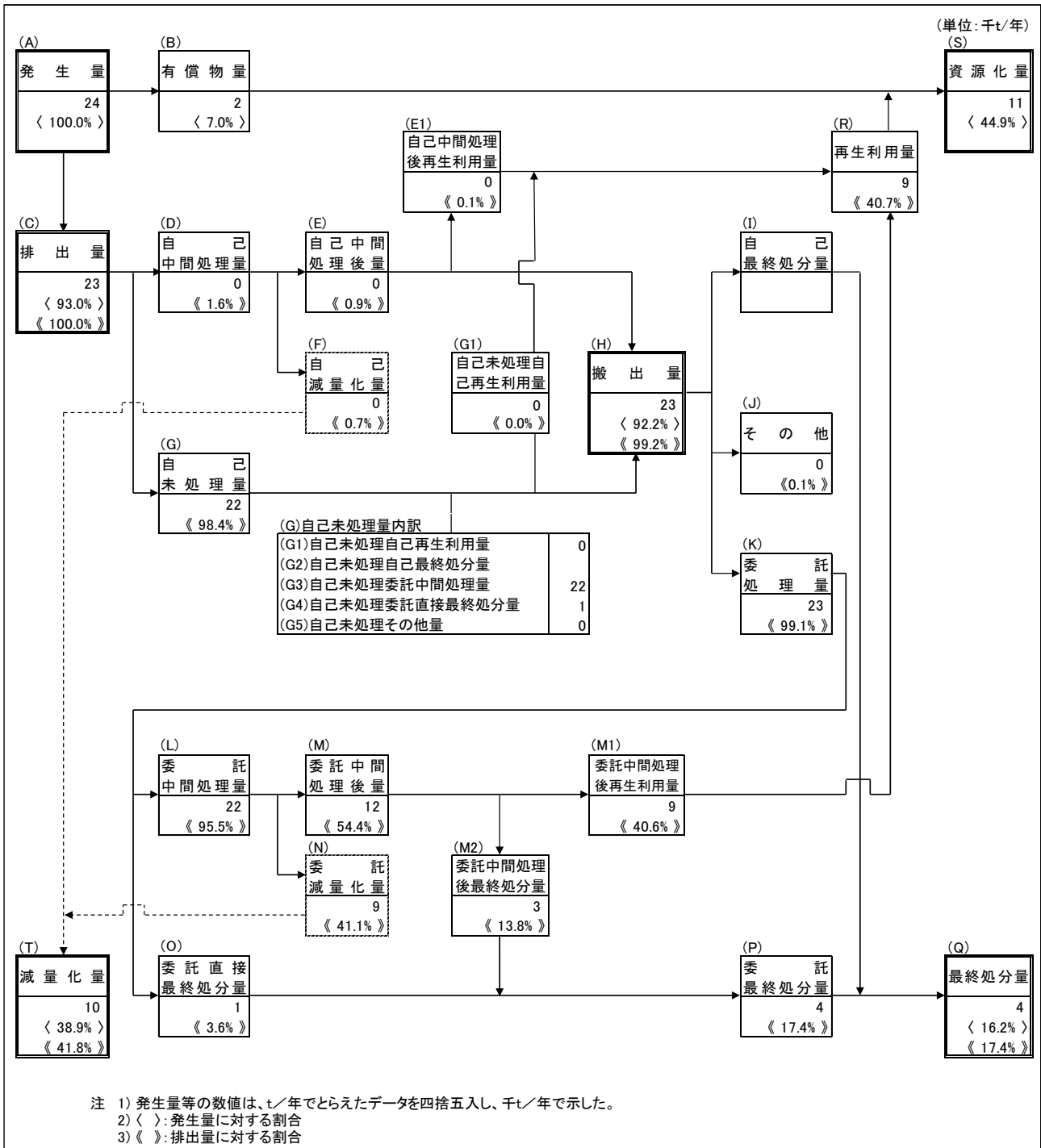


図 3-4-4 その他の業種の発生及び処理状況の流れ図

第4章 農業・鉱業を含めた産業廃棄物

第1節 農業からの産業廃棄物

農業からの産業廃棄物については、郵送によるアンケート調査は行わず、県の資料に基づいて取りまとめた。

対象廃棄物は、畜産農業からの家畜ふん尿と施設園芸農業からの農業用廃プラスチックであり、以下のとおり排出量の現状をとらえた。

家畜ふん尿の排出量は、令和4年の畜種別の飼養頭羽数（県関係部局資料）と令和元年度の畜種別の飼養頭羽数及び排出量（令和2年度秋田県産業廃棄物実態調査報告書）から推計した。（999千ト：表4-1-1）

また、「秋田県家畜排せつ物利用促進計画（H28.4）」を基に排出量の60%を再生利用量とした。

農業用廃プラスチックについては、県の隔年調査資料から令和2年度における秋田県の年間排出量（803ト：表4-1-2）を用いた。

表4-1-1 畜種別ふん尿排出量

	飼養頭羽数	排出量 (千t/年)	減量化量 (千t/年)	再生利用量 (千t/年)
乳用牛	3,857 頭	66	--	--
肉用牛	19,610 頭	182	--	--
豚	270,890 頭	636	--	--
採卵鶏	2,337 千羽	106	--	--
肉鶏	180 千羽	8	--	--
計	--	999	399	599

表4-1-2 農業用廃プラスチック排出量

(単位：t/年)

	排出量	再生処理	埋立処理	焼却処理	その他
農業用廃プラスチック	803	528	128	94	53

第2節 鉱業からの産業廃棄物

(令和2年度 秋田県産業廃棄物実態調査報告書より抜粋)

1 概要

鉱業からの産業廃棄物は、農業を除く他の業種と同様にアンケート調査により取りまとめた。

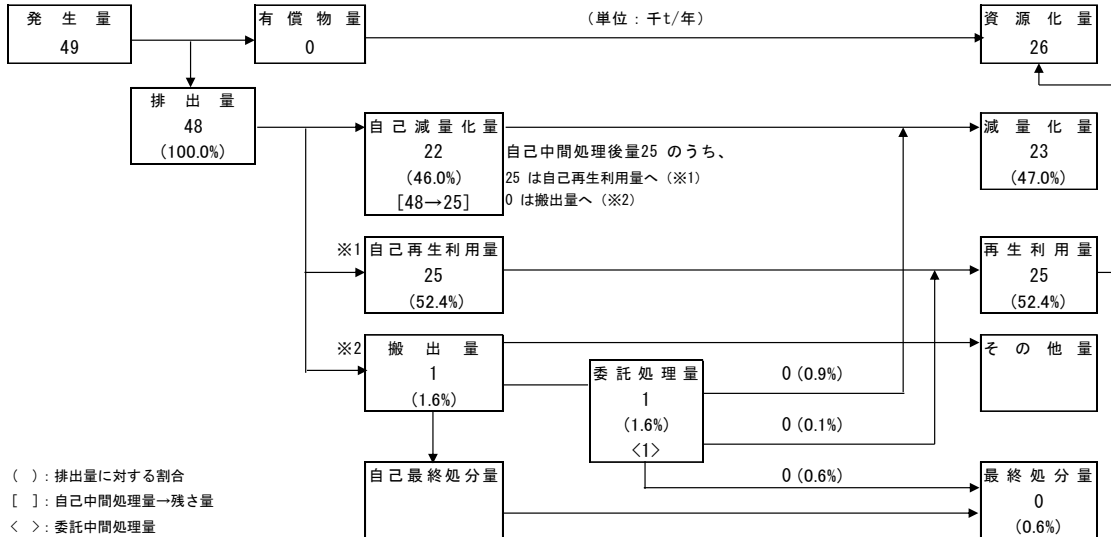


図 4-2-1 鉱業の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、汚泥の48千トン（鉱業の排出量の99.3%）がほぼ全量を占めている。

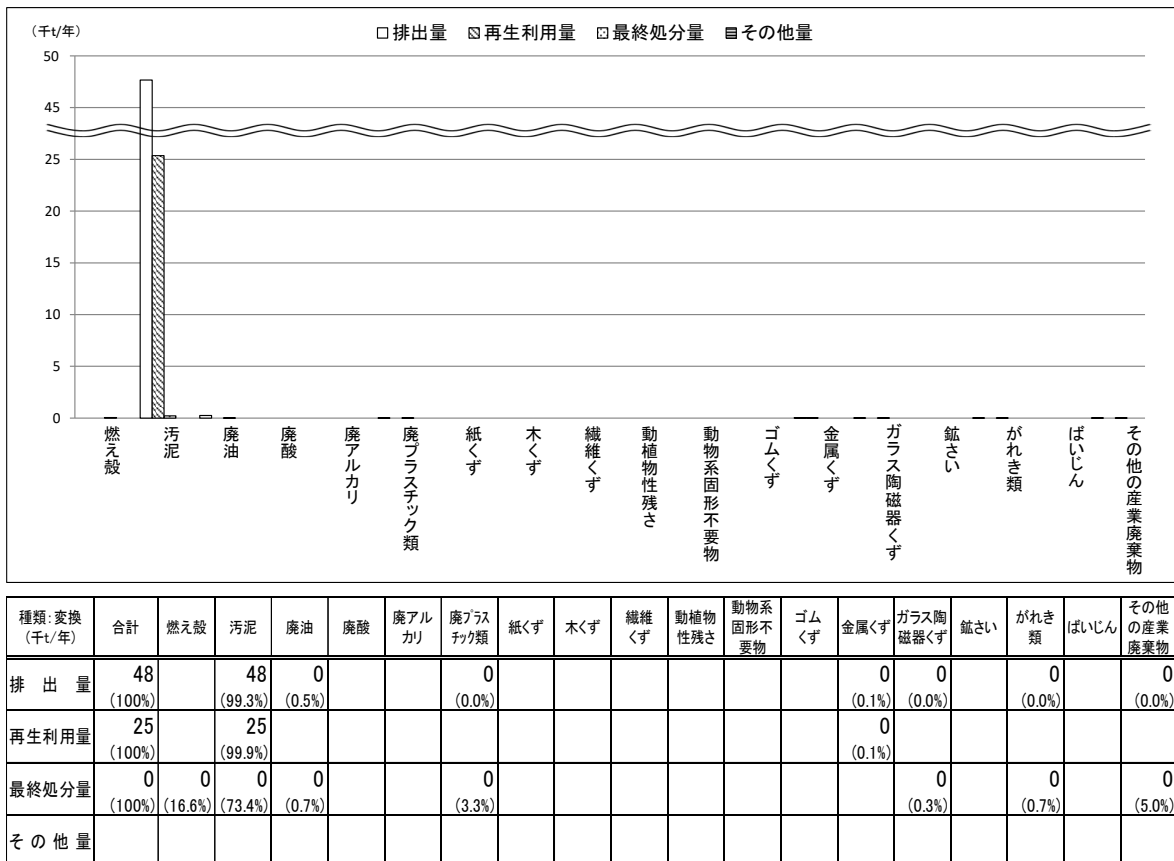
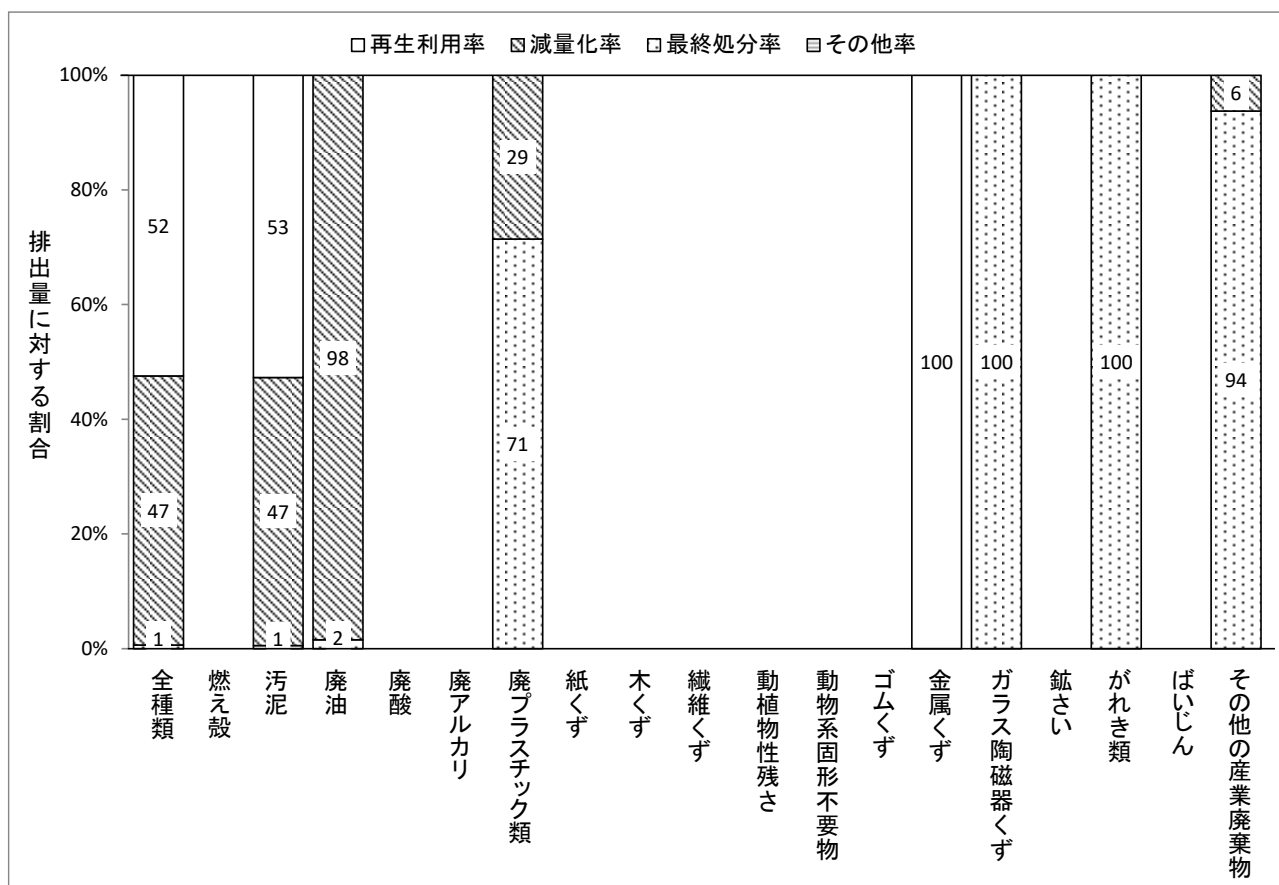


図 4-2-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 48 千トンの処理・処分状況を見ると、23 千トン（47.0%）が減量化され、再生利用量は 25 千トン（52.4%）、最終処分量は 0.3 千トン（0.6%）となっている。



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物	
排出量	48	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用量	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減量化量	23	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他量																				

注1) 廃油に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 4-2-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

第3節 農業・鉱業を含めた排出量

農業・鉱業を含めた令和4年度の排出量は、3,598千トである。

表 4-3-1 農業・鉱業を含めた排出量（業種別・種類別）（単位：千t/年）

業種	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
種類							
合計	3,598 (100%)	999	48	715	846	966	23
燃え殻	33 (0.9%)			0	10	22	0
汚泥	1,165 (32.4%)		48	29	551	533	3
廃油	17 (0.5%)		0	0	14	0	2
廃酸	7 (0.2%)			0	7		0
廃アルカリ	9 (0.3%)				9		0
廃プラスチック類	44 (1.2%)	1	0	11	23	2	8
紙くず	10 (0.3%)			1	9		0
木くず	80 (2.2%)			60	20	0	0
繊維くず	0 (0.0%)			0	0		
動植物性残さ	7 (0.2%)				7		
動物系固形不要物	3 (0.1%)				3		
ゴムくず	0 (0.0%)			0	0		0
金属くず	19 (0.5%)		0	10	4	3	2
ガラス陶磁器くず	59 (1.6%)		0	19	40		0
鉱さい	147 (4.1%)				147	0	
がれき類	569 (15.8%)		0	566	1	1	1
動物のふん尿	999 (27.8%)	999					0
ばいじん	33 (0.9%)				2	31	
その他の産業廃棄物	398 (11.1%)		0	18	1	373	6

(注1) 表中の「0」は1t以上500t未満で、空欄は1t未満。

(注2) 千t未満を四捨五入したため、内訳の計が合計に一致しないものがある。

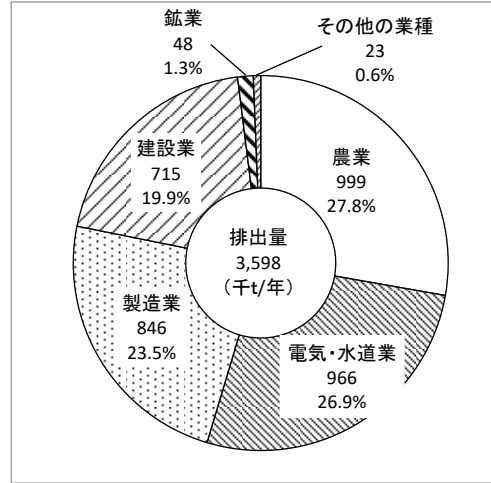
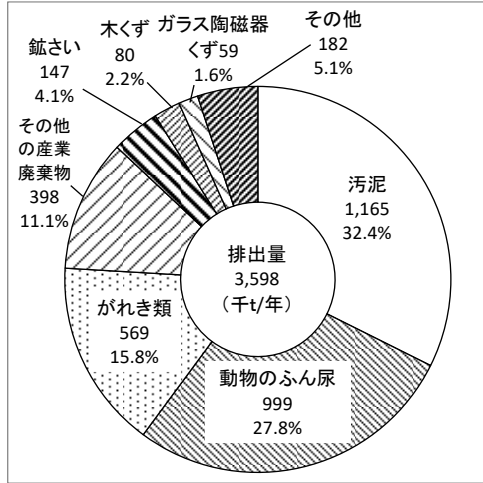
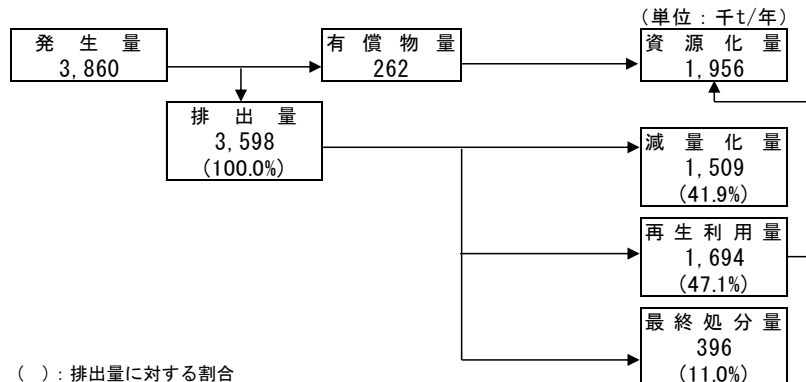


図 4-3-1 農業・鉱業を含めた種類別排出量 図 4-3-2 農業・鉱業を含めた業種別排出量



() : 排出量に対する割合

図 4-3-3 農業・鉱業を含めた処理・処分状況

第5章 産業廃棄物の移動状況

産業廃棄物の移動状況のうち、県内発生分については産業廃棄物実態調査から委託処理に関する結果について中間処理及び最終処分目的別と県内外別、種類別に集計し、県外から県内に搬入される分については、県内産業廃棄物処分業者が県及び秋田市に報告した産業廃棄物処分実績報告書を基に中間処理及び最終処分目的別と地域別、種類別に集計を行った。

第1節 産業廃棄物の移動状況の概要

県内で発生し委託処理された産業廃棄物は、858千トンが県内で中間処理されており、303千トンが県外で中間処理、219千トンが県内で最終処分となっている。また、県外で最終処分された量は3千トンであり、県外搬出分の1%未満である。

県外から搬入される産業廃棄物は183千トンであり、中間処理が168千トン、最終処分が15千トンとなっている。

県内から県外に搬出される産業廃棄物は、7割以上が石炭火力発電所から排出される燃え殻やばいじんで、その多くがセメント原材料として再利用されている。

表 5-1-1 産業廃棄物の移動状況（概要）

（単位：千t/年）

	中間処理	最終処分	合計
県内 → 県内	858 (79.6%)	219 (20.4%)	1,077 (100.0%)
県内 → 県外	303 (99.1%)	3 (0.9%)	306 (100.0%)
県外 → 県内	168 (92.0%)	15 (8.0%)	183 (100.0%)

表 5-1-2 産業廃棄物の移動状況

（単位：千t/年）

産業廃棄物の種類	県外への搬出			県内への搬入		
	中間処理	最終処分	計	中間処理	最終処分	計
燃え殻	17		17	1	0	2
汚泥	11		11	7	9	16
廃油	3		3	26		26
廃酸	3		3	8		8
廃アルカリ	5		5	11		11
廃プラスチック類	11	0	11	73	3	76
紙くず	0		0	0	0	1
木くず	0		0	2	0	2
繊維くず	0		0	0	0	0
動植物性残さ	0		0	1		1
動物系固形不要物	3		3			
ゴムくず				0		0
金属くず	1	0	1	0	0	0
ガラス陶磁器くず	1	1	2	6	1	7
鉱さい	6		6	0	0	0
がれき類	2	0	2	1	0	2
ばいじん	0	2	2	2	0	2
その他の産業廃棄物	239	0	239	30	1	30
合計	303	3	306	168	15	183

注：中間処理には再生利用を含む。また中間処理後の残さが最終処分される場合もあるが、その量は計上していない。最終処分は中間処理を経ずに直接最終処分された量を計上している。

第2節 県外への搬出状況

県外に搬出される産業廃棄物を地方ブロック別にみると、北海道への搬出量が123千トで最も多く、次いで、東北地方が113千ト、韓国が66千ト等となっている。

また、種類別にみると、その他の産業廃棄物が239千トで最も多く、次いで、燃え殻が17千ト、汚泥と廃プラスチックがそれぞれ11千ト等となっている。

更に、処理目的別にみると、ほぼ全量が中間処理目的であり、最終処分目的（中間処理を経ずに最終処分）は、3千ト程度となっている。

表 5-2-1 県外への搬出状況

(単位:千t/年)

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	韓国	合計
燃え殻	3	15	0						17 (5.6%)
汚泥		10	0	0	0		0		11 (3.6%)
廃油		1	1	0			0		3 (0.9%)
廃酸		3	0	0			0		3 (1.1%)
廃アルカリ		5	0	0					5 (1.7%)
廃プラスチック類	0	11	0	0	0				11 (3.6%)
紙くず		0							0 (0.0%)
木くず		0							0 (0.0%)
繊維くず		0							0 (0.0%)
動植物性残さ		0	0						0 (0.1%)
動物系固形不要物		3							3 (0.8%)
ゴムくず									
金属くず		1	0	0					1 (0.3%)
ガラス陶磁器くず	0	2		0	0				2 (0.6%)
鋳さい		5	1						6 (2.0%)
がれき類		2							2 (0.6%)
ばいじん		2							2 (0.8%)
その他の産業廃棄物	120	54	0	0				66	239 (78.2%)
合計	123 (40.1%)	113 (36.9%)	4 (1.2%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)		0 (0.0%)	66 (21.4%)	306 (100.0%)

表 5-2-2 県外への搬出状況（中間処理目的）

(単位:千t/年)

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	韓国	合計
燃え殻	3	15	0						17 (5.7%)
汚泥		10	0	0	0		0		11 (3.6%)
廃油		1	1	0			0		3 (0.9%)
廃酸		3	0	0			0		3 (1.1%)
廃アルカリ		5	0	0					5 (1.7%)
廃プラスチック類	0	11	0	0	0				11 (3.7%)
紙くず		0							0 (0.0%)
木くず		0							0 (0.0%)
繊維くず		0							0 (0.0%)
動植物性残さ		0	0						0 (0.1%)
動物系固形不要物		3							3 (0.8%)
ゴムくず									
金属くず		1	0						1 (0.3%)
ガラス陶磁器くず	0	1		0	0				1 (0.4%)
鋳さい		5	1						6 (2.1%)
がれき類		2							2 (0.6%)
ばいじん		0							0 (0.1%)
その他の産業廃棄物	120	54	0	0				66	239 (78.9%)
合計	123 (40.5%)	110 (36.4%)	4 (1.2%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)		0 (0.0%)	66 (21.6%)	303 (100.0%)

表 5-2-3 県外への搬出状況（最終処分目的）

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	韓国	合計
燃え殻									
汚泥									
廃油									
廃酸									
廃アルカリ									
廃プラスチック類		0							0 (0.2%)
紙くず									
木くず									
繊維くず									
動植物性残さ									
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず			0	0					0 (0.1%)
ガラス陶磁器くず		1							1 (21.5%)
鉱さい									
がれき類		0							0 (0.2%)
ばいじん		2							2 (77.3%)
その他の産業廃棄物		0	0						0 (0.6%)
合計		3 (99.9%)	0 (0.1%)	0 (0.1%)					3 (100.0%) (100.0%)

第3節 県内への搬入状況

県内に搬入される産業廃棄物を地方ブロック別にみると、東北地方からの搬入量が 85 千トで最も多く、次いで、関東地方が 82 千ト、中部地方が 11 千ト等となっている。

また、種類別にみると、廃プラスチック類が 76 千トで最も多く、次いで、その他の産業廃棄物（混合物）が 30 千ト、廃油が 26 千ト、汚泥が 16 千ト等となっている。

更に、処理目的別にみると、中間処理目的が 168 千トであり、最終処分目的（中間処理を経ずに最終処分）は 15 千トとなっている。

表 5-3-1 県内への搬入状況

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
燃え殻		1	1	0				2 (0.8%)
汚泥	0	14	2	0	0			16 (8.5%)
廃油	0	18	5	3	0			26 (14.4%)
廃酸	0	7	0	1	0			8 (4.1%)
廃アルカリ		9	1	1				11 (6.2%)
廃プラスチック類	1	17	57	1				76 (41.3%)
紙くず		0	0					1 (0.3%)
木くず		0	2	0				2 (1.1%)
繊維くず		0	0					0 (0.1%)
動植物性残さ		1						1 (0.4%)
動物系固形不要物								
ゴムくず		0						0 (0.0%)
金属くず	0	0	0	0				0 (0.2%)
ガラス陶磁器くず	0	6	1					7 (3.9%)
鉱さい		0		0				0 (0.3%)
がれき類		0	1	1				2 (0.9%)
ばいじん	1	1	0	0		0	0	2 (1.0%)
その他の産業廃棄物	1	11	11	5	1	0		30 (16.5%)
合計	3 (1.7%)	85 (46.3%)	82 (44.8%)	11 (6.3%)	1 (0.7%)	0 (0.2%)	0 (0.1%)	183 (100.0%) (100.0%)

表 5-3-2 県内への搬入状況（中間処理目的）

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄	合計
燃え殻		0	1					1 (0.9%)
汚泥	0	5	2	0	0			7 (3.9%)
廃油	0	18	5	3	0			26 (15.6%)
廃酸	0	7	0	1	0			8 (4.5%)
廃アルカリ		9	1	1				11 (6.8%)
廃プラスチック類	1	17	55	1				73 (43.4%)
紙くず		0	0					0 (0.1%)
木くず		0	1	0				2 (0.9%)
繊維くず			0					0 (0.0%)
動植物性残さ		1						1 (0.5%)
動物系固形不要物								
ゴムくず		0						0 (0.0%)
金属くず	0	0	0	0				0 (0.2%)
ガラス陶磁器くず	0	5	0					6 (3.5%)
鉱さい		0		0				0 (0.3%)
がれき類		0	1	1				2 (0.8%)
ばいじん	1	1	0			0	0	2 (1.0%)
その他の産業廃棄物	1	11	11	4	1	0		30 (17.6%)
合計	3 (1.6%)	74 (44.1%)	78 (46.6%)	11 (6.6%)	1 (0.8%)	0 (0.2%)	0 (0.1%)	168 (100.0%)

表 5-3-3 県内への搬入状況（最終処分目的）

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄	合計
燃え殻		0		0				0 (0.5%)
汚泥		9	0	0				9 (61.3%)
廃油								
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラスチック類		0	2					3 (17.4%)
紙くず		0	0					0 (2.1%)
木くず		0	0					0 (2.5%)
繊維くず		0	0					0 (0.9%)
動植物性残さ								
動物系固形不要物								
ゴムくず								
金属くず			0					0 (0.6%)
ガラス陶磁器くず		0	1					1 (8.2%)
鉱さい				0				0 (0.0%)
がれき類		0						0 (1.2%)
ばいじん	0	0		0				0 (1.5%)
その他の産業廃棄物	0			0				1 (3.7%)
合計	0 (2.6%)	11 (71.7%)	3 (23.8%)	0 (1.9%)				15 (100.0%)

表 5-3-4 地方ブロック

ブロック名	都道府県名
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、新潟県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

第6章 産業廃棄物の推移

第1節 令和3年度実績との比較

1 排出量

排出量は18千ト増加している。業種別にみると製造業、建設業が増加し、電気・水道業は減少しており、景気回復等の影響の一方で、人口減少が影響していると推察される。

種類別にみると、主要な種類は増加し、特にがれき類やその他の産業廃棄物の増加が大きくなっている。

なお、「その他の産業廃棄物」は混合物が増加しており、石炭火力発電所の新施設が稼働したことに伴い、ばいじんと燃え殻を一緒に合わせた状態（混合物）で排出されるようになったことが影響している。

表 6-1-1 排出量

(単位:千t)

	令和3年度	令和4年度	増減(R4-R3)
排出量計	2,532	2,550	18
電気・水道業	1,034	966	-68
製造業	822	846	24
建設業	652	715	63
その他	24	23	-1

(単位:千t)

	令和3年度	令和4年度	増減(R4-R3)
排出量計	2,532	2,550	18
汚泥	1,145	1,117	-29
がれき類	505	569	64
その他の産業廃棄物	438	398	-40
鉱さい	150	147	-2
その他 (上記以外)	295	320	25

2 再生利用量

再生利用量はほぼ横ばいで推移している。業種別にみると建設業が増加し、電気・水道業と製造業は減少となっている。

種類別にみると、がれき類、木くずが増加し、ガラス陶磁器くずやその他の産業廃棄物は減少している。がれき類の増加にあたっては、再生利用率の高い建設業の排出量が増加したこと等が影響している。

表 6-1-2 再生利用量

(単位:千t)

	令和3年度	令和4年度	増減(R4-R3)
再生利用量計	1,068	1,069	1
建設業	589	647	59
電気・水道業	341	295	-46
製造業	129	118	-11
その他	10	9	-1

(単位:千t)

	令和3年度	令和4年度	増減(R4-R3)
再生利用量計	1,068	1,069	1
がれき類	499	561	62
その他の産業廃棄物	319	275	-44
木くず	62	72	10
ガラス陶磁器くず	52	45	-7
その他 (上記以外)	136	116	-20

3 最終処分量

最終処分量は 19 千t増加しており、業種別にみると電気・水道業と建設業で増加している。

種類別にみると、特にその他の産業廃棄物（混合物等）の増加が大きくなっている。石炭火力発電所から排出されるその他の産業廃棄物（混合物）は前述のとおりであり、ばいじんの最終処分量が減少し、その他の産業廃棄物（混合物）の最終処分量が増加している。

表 6-1-3 最終処分量

(単位:千t)

	令和3年度	令和4年度	増減(R4-R3)
最終処分量計	376	395	19
製造業	182	175	-7
電気・水道業	155	168	13
建設業	35	47	13
その他	4	4	0

(単位:千t)

	令和3年度	令和4年度	増減(R4-R3)
最終処分量計	376	395	19
鉱さい	145	141	-4
その他の産業廃棄物	112	117	5
汚泥	43	42	-2
燃え殻	38	31	-7
その他 (上記以外)	37	64	26

第2節 目標の達成状況

第4次秋田県循環型社会形成推進基本計画（令和3年3月策定）の数値目標は次のとおりである。なお、今回調査した令和4年度の実績値は、排出量の目標は達成しているが、最終処分量の目標は未達成となっている。

<数値目標（令和7年度）>

- ・産業廃棄物の排出量：2,680千ト
- ・産業廃棄物の最終処分量：393千ト

表 6-2-1 産業廃棄物に関する現況と数値目標（農業・鉱業に係るものを除く）

項目	年度	実績		目標
		令和3年度	令和4年度	令和7年度
排出量	(千t/年)	2,532	2,550	2,680
最終処分量	(千t/年)	376	395	393

第7章 意識調査結果

秋田県で産業廃棄物の排出事業者等に対して、電子マニフェストの利用状況及び県への要望等についてアンケート調査を実施し、392 事業所から回答があり、その結果を以下に整理した。

第1節 電子マニフェストの利用状況について

■ 貴事業所では、「電子マニフェストシステム」を利用していますか。
「システムは利用しない」を選択した場合、利用しない理由についてご回答ください。（複数回答）

電子マニフェストシステムの利用状況についてまとめると、以下のとおりである。

「システムを利用するか、利用しないかは、わからない」が 31.5%、「システムを利用している」が 29.5%、「システムは利用しない」が 22.2%、「電子マニフェストシステムを知らない」が 6.2%、「補助等の支援があれば、システムを利用したい」が 5.2%、「システムの利用を予定、又は検討している」が 3.4%となっている。（図 7-1-1）

なお、「システムは利用しない」と回答した事業所のうち、システムを利用しない理由としては「現状として問題がない」が 61.6%で最も多く、次いで「取引先で導入されていない」が 44.2%、「排出量が少ない。又は取引先が少ない」が 36.0%、「コストの問題がある」が 15.1%となっている。（図 7-1-2）

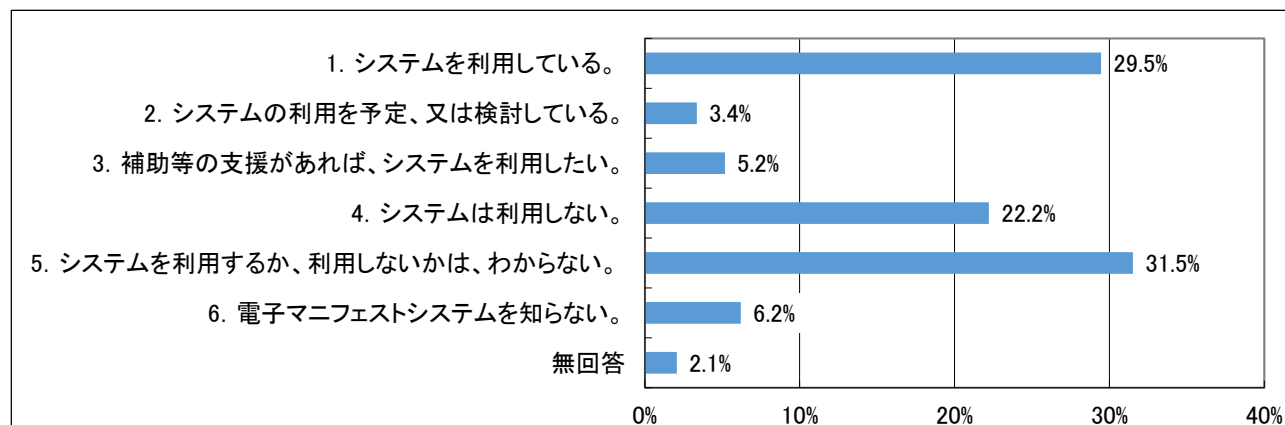


図 7-1-1 電子マニフェストシステムの利用状況

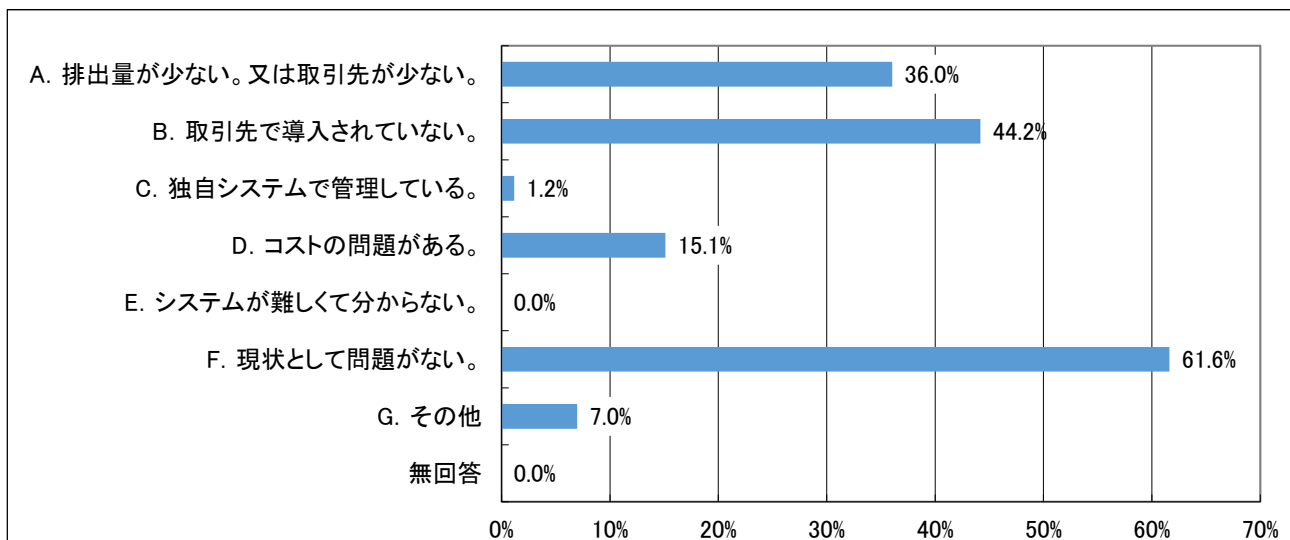


図 7-1-2 電子マニフェストシステムを利用しない理由

表 7-1-1 電子マニフェストシステムの利用状況

内容	排出量ランク					計
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	
1. システムを利用している。	6 (11.8%)	3 (17.6%)	19 (25.3%)	39 (34.8%)	47 (35.6%)	114 (29.5%)
2. システムの利用を予定、又は検討している。	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	2 (1.8%)	10 (7.6%)	13 (3.4%)
3. 補助等の支援があれば、システムを利用したい。	0 (0.0%)	1 (5.9%)	6 (8.0%)	6 (5.4%)	7 (5.3%)	20 (5.2%)
4. システムは利用しない。	14 (27.5%)	5 (29.4%)	22 (29.3%)	27 (24.1%)	18 (13.6%)	86 (22.2%)
5. システムを利用するか、利用しないかは、わからない。	16 (31.4%)	7 (41.2%)	19 (25.3%)	35 (31.3%)	45 (34.1%)	122 (31.5%)
6. 電子マニフェストシステムを知らない。	8 (15.7%)	1 (5.9%)	8 (10.7%)	3 (2.7%)	4 (3.0%)	24 (6.2%)
無回答	7 (13.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	8 (2.1%)
計	51 (100.0%)	17 (100.0%)	75 (100.0%)	112 (100.0%)	132 (100.0%)	387 (100.0%)

内容(複数回答)	排出量ランク					計
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	
A. 排出量が少ない。又は取引先が少ない	9 (64.3%)	5 (100.0%)	6 (27.3%)	9 (33.3%)	2 (11.1%)	31 (36.0%)
B. 取引先で導入されていない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (50.0%)	14 (51.9%)	13 (72.2%)	38 (44.2%)
C. 独自システムで管理している	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)
D. コストの問題がある	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	3 (11.1%)	7 (38.9%)	13 (15.1%)
E. システムが難しくて分からない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
F. 現状として問題がない	6 (42.9%)	2 (40.0%)	16 (72.7%)	14 (51.9%)	15 (83.3%)	53 (61.6%)
G. その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	1 (3.7%)	2 (11.1%)	6 (7.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	14 (100.0%)	5 (100.0%)	22 (100.0%)	27 (100.0%)	18 (100.0%)	86 (100.0%)

「G. その他」主な内容

- ・処分を委託する時に紙の引き継ぎ票が必要なため
- ・作業員がシステムを理解できない
- ・運搬業者が対応していないため

第2節 県への要望等について

■自由記載（県への要望等）

産業廃棄物等の減量化・リサイクル、適正処理等を推進するにあたり、県への要望等があればご記入ください。

県への要望等についてまとめると、以下のとおりである。

表 7-2-1 県への要望

	主な内容
電子マニフェストについて(7件)	電子マニフェストシステムを利用しているが、収集運搬業者や処分業者で利用していない業者も多いため県からの補助等の支援で利用促進を図ってほしい。
	秋田県内の収集運搬業者及び処理業者で電子マニフェスト未導入業者がまだ多いのが現状である。 業務の効率化を進めていくうえで電子マニフェスト化が不可欠であり、県としても電子マニフェスト導入に向けて引き続き指導してほしい。
	秋田県内では電子マニフェストに移行できる環境が70件程度にとどまっている。工事業者、処分業者を含めて運用移行は官主体の半ば強制力によるものと判断する。現状は排出事業者に対する調査等多分に重複しているので調査ものが減ることを期待し、強力な指導を期待する。
	電子マニフェストを使用したいと思い、昨年導入しようとしたが、収集運搬業者・処分業者が導入しておらず使用できなかった。 まずは収集運搬業者・処分業者の導入をほぼ100%にしてもらえるよう県には努力してほしい。 年間にマニフェストに割く時間が、出す側と処分する側でかなりの時間となるため、改善できるよう期待している。
	いずれカーボンニュートラルになることを考えると紙マニフェストの複写式は一体どうなるのか。 また、電子マニフェストを導入したくとも取引先で導入している企業がほとんどない。紙と併用するのが一番面倒なので、やるなら義務化してほしい。
	都市部であればシステムを導入し電子化しているが地方都市の場合取引額が少なく費用が掛かることから取引先で導入されていないのが現状であるため、行政で電子化導入を義務化する方向を検討してほしい
	産業廃棄物処理業者の電子マニフェストシステム(e-reverse)加入について推進してほしい。
	マニフェスト交付状況報告および多量排出事業者の処理計画書・実施書は、秋田市、秋田市を除く秋田県で分けて報告しているため、フォローアップ調査が「秋田市を含む県内すべて」を対象としているならば、調査依頼に明確に記載してほしい。
調査・報告について(4件)	集計レベルや各種コードを統一したうえで、秋田市および秋田市を除く秋田県へのマニフェスト交付状況報告および多量排出事業者報告等と統合して1回の報告で完結するようにしてほしい。(双方軽減)
	調査票その2記入フォームの簡素化をお願いしたい。記入方法(どの記入場所に記入したら良いのか)がむずかしく、また、あてはまらない物も多く理解ができない。
	秋田県環境保全センターの使用許可申請も秋田県電子申請・届出サービスに対応してほしい。
	廃棄物焼却炉灰を使用した埋戻し材を作成する為(来年度完成)県のリサイクル認定を検討中です。県のご協力、支援があると助かる。
制度・体制の構築について(13件)	委託事業にしないで県内でキッチンと考え、キッチンと情報収集と有効利用することで、県内に何が必要で何が問題なのかを県で行う事業に役立ててほしい。
	収集運搬、中間処理、最終処分、再資源化まで一括処理できる業者を増やしてほしい。
	再生資源としてリサイクル可能施設が少なく、中間処理場に委託したとしても選別、破碎後再委託先が埋立場になることが多いので、リサイクル率を上げる取組をしてほしい。
	リサイクル率の高い事業者や再生資源敷設への県外からの排出時に際し、事前協議などの手続きの省略や規制緩和をしてほしい。
	優良認定業者が増えるような廃棄物処理業者の育成・指導を支援してほしい。
処理業者等への指導について(4件)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に則った適正処理を指導してほしい。

制度・体制の構築 について(13件)	廃石綿の無害化処理施設を設けてほしい。
	懸念される処分場不足への対応について検討してほしい。
	資源循環(熱回収含め)再資源化を県内へ展開・処理施設の拡充を検討してほしい。
	製品を納入する国外ユーザーから、取引条件に関して廃棄物の『ゼロ 웨스트』『ゼロエミッション』が求められ、最終処分【埋め立て】から【再資源化】へ処分委託契約を移行する事により、産廃処分費用が大幅に増える傾向にある。その内訳で運搬コストの占める割合は大きく、廃棄物を熔融固化し人工骨材にして再資源化できる企業は、ほとんどが県外にあることから、「SDGs」の最終目標年度に向けた取り組みとしても、県内に再資源化できる企業を誘致するなどを検討してほしい。
	SDGs、カーボンニュートラルと、言葉ばかりが先行している感があるが、プラスチックゴミが環境汚染の元凶となっているように、当社から排出される産業廃棄物も金属くずの有価物を除けば、約9割が廃プラスチックである。県内には当社と似通った事情を抱える事業者が少なからず存在すると思うが、民間事業者の自助努力に委ねるだけでなく、県には先進的取り組みとしてRPFの廃棄物固形燃料化プラントを立ち上げる等、地域で発生したものは地域で処理する仕組みづくりを具現化するような姿勢を示してほしい。
	秋田県全体で浄水発生土の有効利用を図るため、熔融スラグのようなリサイクルを進める制度や体制を整備してほしい。
助成支援に ついて(6件)	廃プラのリサイクル施設増設の推進及び助成支援等を検討してほしい。
	環境配慮(エコ・バイオ)原料は価格が高いが、現状は容器価格に反映してもらえない。また、専用の設備が必要で高額リサイクル出来ない状況である。環境負荷の少ない製品の研究、開発や、リサイクル認定製品の普及等に対する支援してほしい。
	産業廃棄物をリサイクルするにあたり、処理費を援助する制度などがあれば教えてほしい。
	廃棄物処理費が年々上昇しているが、製品価格に追加しにくい状況のため、廃棄物発生量の削減し寄与する投資などに対し、補助金などの支援をしてほしい。
	廃棄物の減量及びリサイクルの技術開発・施設整備への補助・融資制度の拡充
	現在ある廃棄物業者に対し、リサイクル施設設置の支援をして欲しい。
施策の整備に ついて(8件)	リサイクルは環境保護と資源の有効活用に有効と考えますので引き続き推進してほしい。
	県の廃棄物処理、リサイクルに関してはレベルが高いとは言えない。産業廃棄物の適正処理は企業としても有効に使って欲しいと思っているものの、費用面・環境負荷を考えると、リサイクルするものの資源化や別利用に関して更に進んだ取り組みを作ってもらいたい。
	当事業所では、毎年270t廃プラがでる。廃プラが欲しい業者もいると思われるため、県でマッチング業務をしてほしい。
	リサイクル事業者紹介マップ作成してもらいたい。
	ガラス・陶磁器くずを原材料する再生砕石や造粒土等のリサイクル利用を推進してほしい。
	県施設でのリサイクル率を上げてほしい。
	埋立処分の廃棄物を減らしてほしい。
	廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくりや見える化
	塗装工事での塗料等の処分や左官工事の洗い水等について、環境汚染・不法投棄にならないようにどんな方法があるか情報提供してほしい。
	排出者向けや処理業者向けのセミナーが少ないので、もっと実施してほしい。
	処分業者のリサイクルの取組状況(リサイクル率・埋立率等)を纏めた資料(一覧表)を掲示してほしい。
	減量化・リサイクル、適正処理の具体的な方策に関する研修会を実施してほしい。
	優良な廃棄物処理業者の育成・支援、業者の情報を公開してほしい。
	医薬品製造で使用するピロー包装などのプラスチック、アルミの複合物が多く廃棄するため、プラスチック、金属の複合物のままリサイクル可能な産業廃棄物業者が秋田県内にあれば、工場廃棄品のリサイクル化率が格段に良くなるため、そのような処分業者がいたら情報提供してほしい。
	産業廃棄物処理、適正処理全般の研修会を実施してほしい。
	汚泥をリサイクルしてくれる処理業者を教えてください。
	廃油(切削油)の廃棄量が増加傾向で、処理費用も年々増している。廃油のリサイクルまたは活用方法があれば参考に教えてください。
	リサイクル処分可能な産廃業者が少ないので情報展開してほしい。
	酒粕を食材・調味料として活用できるような商品の開発、広報を実施してほしい。
	ごみ減量化・分別も自治体で違うのはおかしい。せめて県での取り組みをもっと県民に知ってもらいたい示してほしい。
舗装工事におけるクラック抑制シート貼付工をやめてほしい。中間処理で廃棄物となり費用が発生して企業負担になっている。	

	最終処分場が愛知県の業者となっている為、委託業者に運賃がかかる。県内に同様の設備があればありがたい。
	木製パレットの処分に経費がかかっている。木製パレットから ペレットを作成し、バイオマス燃料等に活用できる技術がある。 木製パレットを安価で引き取り、リサイクルできれば、SDGs にも関連した地球にも優しく企業にも、環境にもよい Win-Win のサイクルが作られるので、ぜひ環境を整えてほしい。

表 7-2-2 県への提案、意見等

主な内容
秋田県内での中間処理施設が少ない
中間処理費用より埋立費用が安くなるため、埋立場に委託することが多い
酒粕や焼酎粕はその季節に出るもので、年間一定に排出するものではないのですが、現在は家畜の飼料代も高騰していると聞いているので、酒造会社と畜産会社が win-win になるような、つながりが出来たらいいと思う。
工業製品を包むもの、食品を包むもの等種類は多岐に渡りますが、分別等してリサイクルできないでしょうか。
ストレッチフィルムをリサイクルする仕組みがあればよい。
情報は県内外どこにいても共有できるが、そこにある廃棄物は現場を見なければならない。
一般可燃物の処分場についても熱回収により電力エネルギー変換できる施設の検討・市町村への展開は出来ないか。
資材の運搬に使用するパレット(ポリプロピレン製)について、お金を掛けて処分するのではなくリサイクル出来る回収方法が出来ないか。

参 考 資 料

< 統 計 表 >

統計表目次

表 1 業種別・種類別の結果表【令和 4 年度】

表 1-1	発生量	57
表 1-2	有償物量	58
表 1-3	排出量	59
表 1-4	搬出量	60
表 1-5	自己最終処分量	61
表 1-6	委託処理量	62
表 1-7	委託中間処理量	63
表 1-8	委託直接最終処分量	64
表 1-9	委託最終処分量	65
表 1-10	最終処分量	66
表 1-11	再生利用量	67
表 1-12	資源化量	68
表 1-13	排出量<秋田市>	69
表 1-14	排出量<県北地域>	70
表 1-15	排出量<県央地域>	71
表 1-16	排出量<県南地域>	72

表 2 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）<業種別>【令和 4 年度】

表 2-1	全業種	74
表 2-2	建設業	76
表 2-3	製造業	78
表 2-4	電気・水道業	80
表 2-5	その他の業種	82

表 3 発生量及び処理・処分状況（種類別：無変換）<業種別>【令和 4 年度】

表 3-1	全業種	84
表 3-2	建設業	86
表 3-3	製造業	88
表 3-4	電気・水道業	90
表 3-5	その他の業種	92

表 4 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜地域別＞【令和 4 年度】

表 4-1 秋田市	94
表 4-2 県北地域	96
表 4-3 県央地域	98
表 4-4 県南地域	100

表 5 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜地域別＞【令和 4 年度】

表 5-1 全地域	102
表 5-2 秋田市	104
表 5-3 県北地域	106
表 5-4 県央地域	108
表 5-5 県南地域	110

表 6 鉱業の発生量及び処理・処分状況（種類別）【令和 4 年度】

表 6-1 変換	112
表 6-2 無変換	114

表1-1 発生量（業種別・種類別）＜令和4年度＞

(単位:千t/年)

業種	合計	業														電				情報通信業	運輸業	物品賃貸業	学術・研究・業	生活関連サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉	サービス業												
		建設	製造	食料品	飲料	織	木	家具	ハル	印刷	化学	石油	プラスチック	皮革	窯業・土石	鉄	非金属	金	はん									生産	業務用	電子	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他の	電気水道業	電気業	ガス	下水道業	上下水道業
燃え殻	47	0	11	0	0	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	1,211	29	551	22	3	2	0	0,469	5	0	0	0	0	24	0	11	3	0	1	2	7	0	0	1	627	136	57	434	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
有機性汚泥	947	2	505	22	3	2	0	0,469	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0	440	6	434	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無機性汚泥	263	28	46	0	0	0	1	0	4	0	0	0	24	0	6	3	0	1	2	4	0	0	1	187	130	57	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃油	19	0	15	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般廃油	16	0	12	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃溶剤	2		2	0					0				0		0	0	1	1	0																				
その他	1	0	1					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1																	
廃酸	7	0	7					0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3																				
廃アルカリ	9		9					0	1					3	0	0	0	1	2	0																			
廃プラスチック類	45	11	24	1	0	0	0	1	0	1	0	7	0	0	1	0	0	0	5	7	0	0	0	2	2	0	1	5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
廃プラスチック	40	11	24	1	0	0	0	1	0	1	0	7	0	0	1	0	0	0	5	7	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0			0					0	0	0	0	0	0								1	3	0										
紙くず	10	1	9					8	1																														
木くず	181	60	121	0	0	118	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0																	
繊維くず	0	0	0			0																																	
動植物性残さ	7		7	7	1				0																														
動物系固形不要物	3		3	3																																			
ゴムくず	0	0	0																																				
金属くず	48	18	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	7	2	2	1	0	4	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	61	19	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0																
鉱さい	147		147						0					12	135	0																							
がれき類	569	566	1			0		0						0	0																								
コンクリート片	286	284	0											0	0																								
廃アスファルト	261	260	0											0	0																								
その他	22	22	0			0		0						0	0																								
ばいじん	33		2			1								1	0																								
その他の産業廃棄物	415	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																
感染性廃棄物	4		0																																				
混合物等	411	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																

表1-6 委託処理量（業種別・種類別：変換）＜令和4年度＞

業種	合計	製				電														卸	物	学	生	教	医	少													
		食	軟	織	木	家	ハ	印	化	石	コ	皮	窯	鉄	非	金	は	生	業								電	電	電	情	報	通	信	業	業	業	業	業	業
燃え殻	45	0	21	0	0	8	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	22	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
汚泥	127	29	37	4	0	0	0	1	1	0	10	0	11	1	0	1	2	4	0	0	58	35	1	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
有機性汚泥	35	2	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	22	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
無機性汚泥	92	28	26	0	0	0	1	1	1	0	10	0	6	1	0	1	2	4	0	0	36	35	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃油	14	0	11	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般廃油	12	0	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃溶剤	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃酸	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	9	0	9	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	41	11	20	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	5	6	0	0	2	2	0	1	5	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック	36	11	20	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	5	6	0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木くず	62	59	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ	6	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	17	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	59	19	40	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱さい	28	0	28	0	0	0	0	0	0	0	12	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	531	529	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コンクリート片	273	272	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アスファルト	247	246	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	33	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の産業廃棄物	398	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	373	373	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感熱性廃棄物	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
混合物等	394	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	373	373	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位：千t/年)

表1-11 再生利用量（業種別・種類別：変換）＜令和4年度＞

業種	業種	建設	製														電			情報通信業	運輸業	物品賃貸業	専門サービス業	生活関連サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉	サービス業													
			食料品	飲料	繊維	木材	家具	ハル	印刷	化学	石油	プラスチック	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金	はん用機器	生産用機器									業務用機器	電子機器	電気通信機器	輸送機器	その他	電気水道業	電気ガス業	上下水道業					
合計	1,069	647	118	9	1	0	16	0	14	1	1	0	0	0	44	7	1	1	0	2	3	11	0	0	0	295	284	0	6	6	0	1	6	1	0	0	0	1		
燃え殻	21	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
汚泥	30	8	10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	11	0	0	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有機性汚泥	7		1	0	0	0							0	0					0	0	0	0	0	6	0			6												
無機性汚泥	23	8	9									3	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	5	0			4												
廃油	2		1	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般廃油	2		1	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃溶剤	0		0																		0	0	0																	
その他	0		0																				0																	
廃酸	0		0									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		
廃アルカリ	4		4									3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		
廃プラスチック類	21	4	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック	17	4	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃タイヤ	4		0									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
紙くず	1	0	0									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		
木くず	72	55	17	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
繊維くず	0	0	0									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		
動植物性残さ	7		7	6	1																																			
動物系固形不要物	2		2	2																																				
ゴムくず																																								
金属くず	18	10	3							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	45	6	39	0	0					0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
鋳さい	6		6									6									0	0																		
がれき類	561	559	0																		0	0																		
コンクリート片	280	279	0																		0	0																		
廃アスファルト	261	260	0																		0	0																		
その他	20	20																			0	0																		
ばいじん	3																				3	3																		
その他の産業廃棄物	275	5	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		
感染性廃棄物																																								
混合物等	275	5	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		

表1-13 排出量(秋田市 業種別・種類別) <令和4年度>

業種	業種	建設業		製造業			窯業・土石		鉄	非鉄	金	はん	生産用	業務用	電子	電気機器	情報通信	輸送	その他	電気・水道業			電	情報通信業		運輸	卸	物品	専門	生活	教育	医療	その他																	
				計	食料	繊維	木材	プラスチック												ゴム	皮革	窯業・土石		鉄	非鉄									金	はん	生産用	業務用	電子	電気機器	情報通信	輸送	その他	電力	ガス	水道	電気	電	電力	水道	下水道
合計	1,194	235	575	14	3	2	14	480	1	8			23	11	11	3				374	13	0	47	314	0	1	5	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0											
燃え殻	10	0	9		0		6	2												1																														
汚泥	893	10	514	11	3	2	0	469	4				12	0	10	1				368	7		47	314		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
有機性汚泥	813	1	492	11	3	2		469	0				0	5	0	3					320	6		314															0	0										
無機性汚泥	80	9	21		0		0	1	4				12	4	1	0	0				48	1		47			0	1	0	0									0	0										
廃油	4	0	3		0			0	0	0			0	0	0	0										0	1	0											0	0										
一般廃油	4	0	3		0			0	0	0			0	0	0	0										0	1	0												0	0									
廃溶剤	0		0						0	0			0	0	0	0																								0	0									
その他	0	0	0						0	0			0	0	0																										0	0								
廃酸	2	0	2					0	0				0	0	1												0	0													0	0								
廃アルカリ	3		3					0	1				0	0	0												0	0														0	0							
廃プラスチック類	11	4	3		0		0	1	0	0			0	0	0	1					1					0	2	0	0	0	1								0	0	0	0								
廃プラスチック	9	4	3		0		0	1	0	0			0	0	0	1					1					0	1	0	0	0	1									0	0	0								
廃タイヤ	2	0	0						0	0			0	0	0	1					0					0	1	0	0	0	1										0	0	0							
紙くず	9	0	9					8	0																																	0	0							
木くず	27	20	7				7						0	0	0	0											0	0														0	0							
繊維くず	0	0	0				0																																											
動植物性残さ	0		0		0																																													
動物系固形不要物	3		3		3																																													
ゴムくず	0	0	0																																															
金属くず	5	3	1																		0																													
ガラス陶磁器くず	17	6	10		0			0	0	0			10	0	0	0					0						0	0	0	0	0																			
鋳さい	10		10																																															
がれき類	187	186	0					0																			0	0																						
コンクリート片	94	94	0					0																			0	0																						
廃アスファルト	85																																																	
その他	7	7	0				1							0	0																																			
ばいじん	4		1																																															
その他の産業廃棄物	9	6	0		0	0							0	0	0												0	1	0	0	1	0																		
感染性廃棄物	1																																																	
混合物等	8	6	0		0	0							0	0	0												0	1	0	0	0	0																		

(単位:千t/年)

表1-14 排出量（東北地域 業種別・種類別）＜令和4年度＞

業種	合	建	製	業種別										電			情報	運	卸	物	学	生	教	医	少												
				造	設	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業										業	業	業	業	業	業	業	業				
種類	857	154	195	10	0	9	1	2	3	0	19	3	139	1	0	1	6	0	0	0	503	457	8	38	0	0	3	0	0	0	0	1	1				
燃え殻	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
汚泥	103	6	15	7	0	0	0	1	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	81	35	8	38	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0				
有機性汚泥	46	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
無機性汚泥	57	6	8	0	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	43	35	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃油	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
一般廃油	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃溶剤	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃酸	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃アルカリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック類	14	2	10	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック	12	2	10	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃タイヤ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
木くず	24	13	11	0	0	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物系固形不要物																																					
ゴムくず																																					
金属くず	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	17	4	13	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鋳さい	137	137	137	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	122	122	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート片	61	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アスファルト	56	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	29	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の産業廃棄物	378	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感状性産業廃棄物	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
混合物等	377	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	373	373	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(単位：千t/年)

表2-1 発生量及び処理・処分量（全業種 種類別：変換）＜令和4年度＞

(その1)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量										自己未処理量				搬出量				自己最終処分量				
				自己中間処理後量			自己中間処理後量			自己中間処理後量			再生利用量 (G)	自己未処理の処理内訳			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		その他 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	搬出先地域の内訳	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)		委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	県内				県外						
							(D)	(E)					(F)				(E4)	(E5)	(G)		(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)
合計	2,812	262	2,550	1,081	104	49	2	46	7	1,469	15	123	1,115	215	0	1,508	125	125								
燃え殻	47	14	33		12	0		11	1	33			15	18		45										
汚泥	1,211	94	1,117	1,010	32	5	2	19	6	107	0	4	91	11		133	6	6								
有機性汚泥	947		929	929	18	1		15	2	18			17	1		35										
無機性汚泥	263	94	169	81	14	4	2	4	4	88	0	4	74	10		98	6	6								
廃油	19	2	16	2	0			0		14			14			14										
一般廃油	16	2	14	1	0			0		12			12			12										
廃溶剤	2	0	2							2			2			2										
その他	1		1	1	0			0		0			0			0										
廃酸	7		7							7			7			7										
廃アルカリ	9	0	9	0	0			0		9			9			9										
廃プラスチック類	45	2	43	3	3	2		0	0	41			34	7	0	41										
廃プラスチック	40	2	38	2	2	2		0	0	36			29	7		36										
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0		5			5	0	0	5										
紙くず	10	0	10	8						2			1	0		2										
木くず	181	102	80	2	1	1		1		77	15		61	1		62										
繊維くず	0		0							0			0	0		0										
動植物性残さ	7	0	7	1	1	1				6			6	0		6										
動物系固形不要物	3		3							3			3			3										
ゴムくず	0	0	0							0			0			0										
金属くず	48	29	19	2	2	2		0		17			17	0	0	17										
ガラス陶磁器くず	61	2	59	14	14			14	0	45			35	10		59										
鉱さい	147	0	147							147		119	6	22		147	119	119								
がれき類	569		569	39	39	38		1		530			527	4		531										
コンクリート片	286		286	14	14	13		1		272			270	1		273										
廃アスファルト	261		261	14	14	14				247			247	0		247										
その他	22		22	11	11	11				11			9	2		11										
ばいじん	33		33							33			4	29		33										
その他の産業廃棄物	415	17	398	0	0			0		398			285	113		398										
感染性廃棄物	4		4							4			4			4										
混合物等	411	17	394	0	0			0		394			281	113		394										

(単位：千t/年)

表2-1 発生量及び処理・処分量（全業種 種類別：変換）＜令和4年度＞

区分	委託処理量		委託中間処理量										再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量 (B+R)	
	(K) (O+L)	(O)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)		委託中間処理量 (処理主体の内訳)		委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)		(M)	(N)	(R) (E+G+H+I)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S)						
			(処理先地域の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)													
			業者	自治体	業者	自治体	県内	県外							県内	県外	自己処分 (O1)	委託処分 (O2)		
合計	1,384	222	81	141	219	3	1,161	1,146	15	858	303	1,052	1,005	47	1,069	395	125	270	0	1,331
燃え殻	45	19	7	12	19		26	26		9	17	34	21	12	21	32		32		35
汚泥	127	17	17	0	17		111	96	15	100	11	44	25	19	30	42	6	36		124
有機性汚泥	35	3	3		3		32	17	15	30	2	7	7	1	7	3		3		7
無機性汚泥	92	14	14	0	14		78	78	0	70	9	37	18	18	23	38	6	32		117
廃油	14						14	14	0	12	3	2	2		2					4
一般廃油	12						12	12	0	10	2	2	2		2					4
廃溶剤	2						2	2	0	1	0	0	0		0					0
その他	0						0	0	0	0	0	0	0		0					0
廃酸	7						7	7		4	3	0	0		0					0
廃アルカリ	9						9	9	0	4	5	4	4		4					4
廃プラスチック類	41	7	7	0	7	0	34	34	0	23	11	21	19	3	21	9		9	0	23
廃プラスチック	36	7	7	0	7	0	29	29	0	19	10	17	15	2	17	9		9		19
廃タイヤ	5	0	0		0		5	5	0	4	1	5	4	0	4	0		0	0	4
紙くず	2	0	0		0		1	1		1	0	1	1	0	1	0		0		1
木くず	62	1	1		1		62	62	0	62	0	56	56	0	72	1		1		174
繊維くず	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
動植物性残さ	6	0	0		0		6	6	0	5	0	6	6	0	7	0		0		7
動物系固形不要物	3						3	3		3	3	2	2	0	2	0		0		2
ゴムくず	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0		0
金属くず	17	0	0		0		17	17	0	16	1	17	16	0	18	1		1		47
ガラス陶磁器くず	59	11	11	0	10	1	49	49	49	47	1	49	45	4	45	14		14		46
鉱さい	28	22	22		22		6	6		6	6	6	6	0	6	141	119	22		6
がれき類	531	4	4		4		528	528		526	2	528	523	4	561	8		8		561
コンクリート片	273	1	1		1		271	271		271	0	271	268	4	280	5		5		280
廃アスファルト	247	0	0		0		247	247		247		247	247	0	261	0		0		261
その他	11	2	2		2		9	9		7	2	9	9	0	20	3		3		20
ばいじん	33	29	4		27	2	4	4		4	0	4	3	1	3	30		30		3
その他の産業廃棄物	398	113	9	104	113	0	285	285	0	46	239	279	275	4	275	117		116		292
感染性廃棄物	4						4	4		4	1									
混合物等	394	113	9	104	113	0	281	281	0	42	238	279	275	4	275	117		116		292

(単位：千t/年)

(その2)

表2-2 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：変換）＜令和4年度＞

(その1)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				自己中間処理後量			自己中間処理前量			(G)	自己未処理の処理内訳			(G2)	自己未処理の処理内訳		(I)			
				(E)	(E2)		(E1)	(E3)			(G1)	(G3)	(G4)		(G5)			県内	県外	
					(E4)	(E5)		(E6)	(E7)											
合計	723	8	715	42	42	40	1	0	673	643	30	675								
燃え殻	0		0						0	0		0								
汚泥	29		29						29	26	4	29								
有機性汚泥	2		2						2	2	0	2								
無機性汚泥	28		28						28	24	4	28								
廃油	0		0						0	0		0								
一般廃油	0		0						0	0		0								
廃溶剤	0		0						0	0		0								
その他	0		0						0	0		0								
廃酸	0		0						0	0		0								
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	11		11	0	0		0	0	11	8	3	11								
廃プラスチック	11		11	0	0		0	0	11	8	3	11								
廃タイヤ	0		0						0	0		0								
紙くず	1		1						1	1	0	1								
木くず	60		60	1	1				59	58	0	59								
繊維くず	0		0						0	0		0								
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0						0	0		0								
金属くず	18		10	2	2				8	8	0	8								
ガラス陶磁器くず	19		19	0	0				19	9	10	19								
鉱さい																				
がれき類	566		566	39	39	38	1		528	524	3	529								
コンクリート片	284		284	14	14	13	1		271	269	1	272								
廃アスファルト	260		260	14	14	14			246	246	0	246								
その他	22		22	11	11	11			11	9	2	11								
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	18		18						18	9	9	18								
感染性廃棄物																				
混合物等	18		18						18	9	9	18								

表2-2 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処分量						再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量
		(O)		(L)		(M)		(N)		(P)		(R)		(Q) (I+O+M2)	(01) (02)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)				
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外					(E1+G1+M1)			
		(O)	(L)	(M)	(N)	(P)	(R)	(Q)	(01)	(02)	(J)	(S)	(B+R)								
合計	675	30	30	30	1	644	644	644	638	6	624	607	17	647	47	47	655				
燃え殻	0					0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0				
汚泥	29	4	4	4		26	26	23	2	14	8	5	9	8	9	8					
有機性汚泥	2	0	0	0		2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0					
無機性汚泥	28	4	4	4		24	24	22	2	13	8	5	9	8	9	8					
廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
一般廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
溶剤	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃酸	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃アルカリ	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃プラスチック類	11	3	3	3	0	8	8	7	1	5	4	1	4	4	4	4					
廃プラスチック	11	3	3	3	0	8	8	7	1	5	4	1	4	4	4	4					
廃タイヤ	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
紙くず	1	0	0	0		1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0					
木くず	59	0	0	0		58	58	58	0	55	54	0	1	55	1	55					
繊維くず	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
金属くず	8	0	0	0		8	8	8	0	8	8	0	0	10	0	0					
ガラス陶磁器くず	19	10	10	10	1	9	9	8	1	9	6	3	6	6	13	13					
鉱さい																					
がれき類	529	3	3	3	0	525	525	524	2	525	521	4	559	7	7	559					
コンクリート片	272	1	1	1		270	270	270	0	270	266	4	279	5	5	279					
廃アスファルト	246	0	0	0		246	246	246	0	246	246	0	260	0	0	260					
その他	11	2	2	2	0	9	9	7	2	9	9	0	20	2	2	20					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	18	9	9	9	0	9	9	9	0	7	5	2	5	12	11	5					
感染性廃棄物																					
混合物等	18	9	9	9	0	9	9	9	0	7	5	2	5	12	11	5					

表2-3 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：変換）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量		自己最終処分量	
				(D)	(E)			(E2)	(E3)			(G)	(G2)			(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)			委託中間 処理量 (E3)	自己最終 処分量 (G2)			委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)			県内	県外
						(E1)	(E2)			(E3)	(E4)								
合計	974	128	846	555	42	4	2	32	5	292	15	119	121	36	315	121	121		
燃え殻	11	0	10		11				0	10			8	3	21				
汚泥	551		551	525	13		2	6	5	26			20	7	39	2	2		
有機性汚泥	505		505	498	4		2	2	1	7			6	1	11				
無機性汚泥	46		46	27	9		2	4	4	19			13	6	28	2	2		
廃油	15	2	14	2	0			0		11			11		11				
一般廃油	12	1	11	1						10			10		10				
溶剤	2	0	2							2			2		2				
その他	1		1	1	0			0		0			0		0				
廃酸	7		7							7			7		7				
廃アルカリ	9	0	9							9			9		9				
廃プラスチック類	24	2	23	2	2	2				20			18	2	20				
廃プラスチック	24	2	23	2	2	2				20			18	2	20				
廃タイヤ	0		0							0			0	0	0				
紙くず	9	0	9	8						0			0		0				
木くず	121	102	20	2	1			1		18	15		3	0	3				
繊維くず	0		0							0			0	0	0				
動植物性残さ	7	0	7	1	1	1				6			6	0	6				
動物系固形不要物	3		3							3			3		3				
ゴムくず	0		0							0			0		0				
金属くず	24	20	4	0	0	0				4			3	0	4				
ガラス陶磁器くず	41	2	40	14	14			14		26			26	0	40				
鉱さい	147	0	147							147		119	6	22	147	119	119		
がれき類	1		1							1			1	0	1				
コンクリート片	0		0							0			0	0	0				
廃アスファルト	0		0							0			0	0	0				
その他	0		0							0			0	0	0				
ばいじん	2		2							2			1	1	2				
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0			0		1			1	0	1				
感染性廃棄物	0		0							0			0		0				
混合物等	1	0	1	0	0			0		1			1	0	1				

表2-3 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：変換）＜令和4年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)						委託中間処理量 (処理主体の内訳)						委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)			最終処分量		再生利用量		その他量		資源化量		
		(O)		自治体		県外		(L)	業者		自治体		県外		(M)	再生利用量		(N)	(Q) (I+O+M2)	(R) (E+G+M1)	(01) 自己処分	(02) 委託処分		(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
		(K)	(O+L)	業者	自治体	業者	自治体		業者	自治体	業者	自治体	(M1)	(M2)											
		(K)	(O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(Q)	(01)	(02)	(J)	(S)			
合計	194	41	41	0	41	0	153	153	0	103	50	112	98	13	118	175	121	54			245				
燃え殻	21	3	3				19	19		5	13	22	14	8	14	11					14				
汚泥	37	12	12		12		26	26		19	7	13	10	2	10	15	2	14			10				
有機性汚泥	11	2	2		2		9	9		8	1	1	1	0	1	2					1				
無機性汚泥	26	9	9		9		17	17		11	6	12	9	2	9	13	2	11			9				
廃油	11						11	11		9	2	1	1		1						3				
一般廃油	10						10	10		8	2	1	1		1						2				
廃溶剤	2						2	2		1	0	0	0		0						0				
その他	0						0	0		0	0	0	0		0						0				
廃酸	7						7	7		4	3	0	0		0						0				
廃アルカリ	9						9	9		4	5	4	4		4						4				
廃プラスチック類	20	2	2		2		18	18		9	9	11	10	1	13	3	3				14				
廃プラスチック	20	2	2		2		18	18		9	9	11	10	1	13	3	3				14				
廃タイヤ	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0	0				0				
紙くず	0						0	0		0	0	0	0		0						1				
木くず	3	0	0		0		3	3		3	0	2	2	0	17	0	0				119				
繊維くず	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0	0				0				
動植物性残さ	6	0	0		0		6	6		5	0	6	6	0	7	0	0				7				
動物系固形不要物	3						3	3		3	2	2	2	0	2	0	0				2				
ゴムくず	0						0	0		0	0	0	0		0						0				
金属くず	4	0	0		0		3	3		3	1	3	3	0	3	0	0				23				
ガラス陶磁器くず	40	0	0		0		40	40		39	0	40	39	1	39	1	1				40				
鉱さい	28	22	22		22		6	6		6	6	6	6	0	6	141	119	22			6				
がれき類	1	0	0		0		1	1		1	1	1	0	0	0	1	1				0				
コンクリート片	0						0	0		0	0	0	0		0	0	0				0				
廃アスファルト	0						0	0		0	0	0	0		0	0	0				0				
その他	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0	0				0				
ばいじん	2	1	1		1		1	1		1	0	1	1	1	1	2					2				
その他の産業廃棄物	1	0	0		0		1	1		1	0	1	0	0	0	1					0				
感染性廃棄物	0						0	0		0	0	0	0		0						0				
混合物等	1	0	0		0		1	1		1	0	1	0	0	0	1					0				

表2-4 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：変換）＜令和4年度＞

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量				
				(D)	(E)			(G)	(H)			(I) (E2+G2)	(J)			
					(E1)	(E2)			(G1)	(G2)	(G3)		(G4)	(G5)	県内	県外
						再生利用量	自己最終 処分量									
(E)	(E3)	委託中間 処理量	委託直接 最終処分量	その他	(G)	(G2)	(G3)	委託直接 最終処分量	その他	(H) (I+K+J)	(I)	県内	県外			
合計	1,091	124	966	485	20	5	13	2	482	4	329	148	496	4	4	
燃え殻	36	13	22		1			1	22		7	15	23			
汚泥	627	94	533	485	19	5	13	1	48	4	44	0	62	4	4	
有機性汚泥	440		440	431	14	1	13	0	9		9	0	22			
無機性汚泥	187	94	93	54	5	4	0	1	39	4	35	0	40	4	4	
廃油	0		0						0		0		0			
一般廃油	0		0						0		0		0			
廃溶剤																
その他																
廃酸																
廃アルカリ																
廃プラスチック類	2		2						2		1	1	2			
廃プラスチック	2		2						2		1	1	2			
廃タイヤ	0		0						0		0		0			
紙くず																
木くず	0		0						0		0		0			
繊維くず																
動植物性残さ																
動物系固形不要物																
ゴムくず																
金属くず	3	0	3						3		3		3			
ガラス陶磁器くず																
鉱さい	0		0						0		0		0			
がれき類	1		1						1		1		1			
コンクリート片	0		0						0		0		0			
廃アスファルト	1		1						1		1		1			
その他																
ばいじん	31		31						31		3	28	31			
その他の産業廃棄物	390	17	373						373		270	104	373			
感染性廃棄物																
混合物等	390	17	373						373		270	104	373			

(その1)

(単位：千t/年)

表2-4 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：変換）＜令和4年度＞

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
		(O)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(R) (E+G+H+I)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)				
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		再生利用量						最終処分量			
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M1)	(M2)	(E+G+H+I)	(Q)	(J)	(S)		
合計	492	150	9	141	148	2	342	327	15	98	244	304	290	14	295	168	4	164	419		
燃え殻	23	16	4	12	16		7	7		3	4	10	7	3	7	19		19	21		
汚泥	58	1	1	0	1		57	42	15	55	1	16	6	11	11	16	4	12	105		
有機性汚泥	22	0	0	0	0		21	6	15	20	1	6	6	0	6	1		1	6		
無機性汚泥	36	1	1	0	1		35	35		35	0	11	0	11	5	15	4	11	99		
廃油	0						0	0		0											
一般廃油	0						0	0		0											
廃溶剤																					
その他																					
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	2	1	1	1	1		1	1		1		0	0		0	1		1	0		
廃プラスチック	2	1	1	1	1		1	1		1		0	0		0	1		1	0		
廃タイヤ	0						0	0		0		0	0		0				0		
紙くず																					
木くず	0						0	0		0		0	0		0				0		
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	3						3	3		3		3	3	0	3	0		0	3		
ガラス陶磁器くず																					
鉱さい	0						0	0		0		0	0		0			0			
がれき類	1						1	1		1		1	1		1				1		
コンクリート片	0						0	0		0		0	0		0				0		
廃アスファルト	1						1	1		1		1	1		1				1		
その他																					
ばいじん	31	28	3	25	26	2	3	3		3	0	3	3	0	3	28		28	3		
その他の産業廃棄物	373	104	0	104	104		270	270		31	238	270	269	0	269	104		104	286		
感染性廃棄物																					
混合物等	373	104	0	104	104		270	270		31	238	270	269	0	269	104		104	286		

(その2)

(単位：千t/年)

表2-5 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：変換）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量				
				(D)	自己中間処理後量			(E)	(G)	自己未処理の処理内訳			(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	処理先地域の内訳					
					再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)				再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	自己未処理の処理内訳			委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	県内	県外	
						自己最終 処分量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)					委託直接 最終処分量 (E5)								
合計	24	2	23	0	0	0	0	22	0	1	0	23								
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
汚泥	3	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	3								
有機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
無機性汚泥	3	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	3								
廃油	3	1	2	0	0	0	0	2	2	0	0	2								
一般廃油	3	1	2	0	0	0	0	2	2	0	0	2								
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃プラスチック類	8	0	8	0	0	0	0	8	0	0	0	8								
廃プラスチック	3	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	3								
廃タイヤ	5	0	5	0	0	0	0	5	0	0	0	5								
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
金属くず	2	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2								
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
鉱さい																				
がれき類	1		1					1		0		1								
コンクリート片	1		1					1		0		1								
廃アスファルト	0		0					0		0		0								
その他																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	6	0	6	0	0	0	0	6	0	0	0	6								
感索性廃棄物	4		4					4				4								
混合物等	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2								

表2-5 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)						委託中間処理量						再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
		(O)		(自治体)		(処理先地域の内訳)		(L)	(M)	(処理主体の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(R) (E+G+M1)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)				
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体			県内	県外	再生利用量	最終処分量								
		(O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	(M)	業者	自治体	県内	県外	(M1)	(M2)	(R)	(Q)	(J)	(S)		
合計	23	1	1	0	1	0	22	22	0	19	3	12	9	3	9	4	4	0	11	0	
燃え殻	0						0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	
汚泥	3	0	0	0	0		3	3	2	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	
有機性汚泥	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無機性汚泥	2	0	0	0	0		2	2	2	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	
廃油	2	2	2	0	2		2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	0	0	2	0	
一般廃油	2	2	2	0	2		2	2	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	2	0	
廃溶剤	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	8	0	0	0	0		8	7	7	1	1	6	5	1	5	1	1	0	5	0	
廃プラスチック	3	0	0	0	0		3	3	3	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	
廃タイヤ	5						5	5	5	4	1	5	4	0	4	0	0	0	4	0	
紙くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	2	0	0	0	0		2	2	2	0	2	2	2	0	2	0	0	0	2	0	
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱さい																					
がれき類	1	0	0	0	0		1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	
コンクリート片	1	0	0	0	0		1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	
廃プラスチック	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他																					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	6	0	0	0	0		6	6	6	0	5	1	0	1	0	1	0	1	0	0	
感染性廃棄物	4						4	4	4	4	1										
混合物等	2	0	0	0	0		2	2	2	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	

表3-1 発生量及び処理・処分量（全業種 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量			
				自己中間処理量			自己中間処理後の処理内訳			自己未処理の処理内訳				再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		その他 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
				(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(E)	(E1)	(E2)				(E3)	(E4)				(E5)	(G)	(G1)
				(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(E2+G2)	(E2+G2)	(E2+G2)
合計	2,812	262	2,550	1,081	104	49	2	46	7		1,469	15	123	1,115	215	0	1,508	125	125	125	125			
燃え殻	47	14	33								33			15	18		33							
汚泥	1,211	94	1,117	1,010	43	5	2	30	7		107	0	4	91	11		145	6	6	6				
有機性汚泥	947		929	929	29	1		26	3		18			17	1		47							
無機性汚泥	263	94	169	81	14	4	2	4	4		88	0	4	74	10		98	6	6	6				
廃油	19	2	16	2	0	0		0			14			14	0		14							
一般廃油	16	2	14	1	0	0		0			12			12	0		12							
廃溶剤	2	0	2	2							2			2	2		2							
その他	1		1	1	0			0			0			0	0		0							
廃酸	7		7								7			7			7							
廃アルカリ	9	0	9	0	0			0			9			9			9							
廃プラスチック類	45	2	43	3	3	2		0	0		41			34	7	0	41							
廃プラスチック	40	2	38	2	2	2		0	0		36			29	7		36							
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5	0	0	5							
紙くず	10	0	10	8	0			0			2			1	0		2							
木くず	181	102	80	2	1	1		1	0		77	15		61	1		62							
繊維くず	0		0								0			0	0		0							
動植物性残さ	7	0	7	1	1	1					6			6	0		6							
動物系固形不要物	3		3								3			3			3							
ゴムくず	0	0	0								0			0			0							
金属くず	48	29	19	2	2	2		0			17			17	0	0	17							
ガラス陶磁器くず	61	2	59	14	14			14	0		45			35	10		59							
鉱さい	147	0	147								147		119	6	22		147	119	119	119				
がれき類	569		569	39	39	38		1			530			527	4		531							
コンクリート片	286		286	14	14	13		1			272			270	1		273							
廃アスファルト	261		261	14	14	14					247			247	0		247							
その他	22		22	11	11	11					11			9	2		11							
ばいじん	33		33								33			4	29		33							
その他の産業廃棄物	415	17	398	0	0			0			398			285	113		398							
感染性廃棄物	4		4								4			4			4							
混合物等	411	17	394	0	0			0			394			281	113		394							

表3-1 発生量及び処理・処分量（全業種 種類別：無変換）＜令和4年度＞

区分	委託処理量 (その2)	委託直接最終処分量										委託中間処分量										再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量	
		(K) (O+L)					(L)					(M)					(N)					(R) (E+G+H+I)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)					
		(O)		自治体		(処理先地域の内訳)		業者		(処理先地域の内訳)		自治体		県内		県外		業者		(処理先地域の内訳)						再生利用後の処理内訳		自己処分		処理主体の内訳
		(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	業者	自治体	県内	県外	(N)	業者	自治体	県内	県外	(O)	業者	自治体	県内	県外	(J)	(S)		
合計	1,384	222	81	141	219	3	1,161	1,146	15	858	303	1,052	1,005	47	1,069	395	125	270	0	1,331	0	1,331	0	1,331	0	1,331	0	1,331		
燃え殻	33	18	6	12	18		15	15		9	6	15	10		5	10					5	23							23	
汚泥	139	18	18	0	18		121	106	15	100	22	57	33		24	38					24	47							132	
有機性汚泥	47	4	4		4		43	28	15	30	13	22	17		5	18					5	9							18	
無機性汚泥	92	14	14		14		78	78	0	70	9	35	16		19	20					19	38							114	
廃油	14						14	14	0	12	3	3	2		0	2					0	0							5	
一般廃油	12						12	12	0	10	2	2	2		0	2					0	0							4	
廃溶剤	2						2	2	0	0	0	0	0		0	0					0	0							0	
その他	0						0	0	0	0	0	0	0		0	0					0	0							0	
廃酸	7						7	7	0	4	3	2	2		0	2					0	0							2	
廃アルカリ	9						9	9	0	4	5	5	0		0	5					0	0							5	
廃プラスチック類	41	7	7	0	7	0	34	34	0	23	11	23	19		4	21					4	10							23	
廃プラスチック	36	7	7	0	7	0	29	29	0	19	10	18	15		3	17					3	10							19	
廃タイヤ	5	0	0		0		5	5	0	4	1	5	4		0	4					0	0							4	
紙くず	2	0	0		0		2	2	0	1	0	1	1		0	1					0	0							2	
木くず	62	1	1		1		62	62	0	62	0	57	56		1	72					1	1							174	
繊維くず	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0		0	0					0	0							0	
動植物性残さ	6	0	0		0		6	6	0	5	0	6	6		0	7					0	0							7	
動物系固形不要物	3						3	3	0	0	3	2	2		0	2					0	0							2	
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0		0	0					0	0							0	
金属くず	17	0	0		0		17	17	0	16	1	17	16		0	18					0	1							47	
ガラス陶磁器くず	59	11	11	0	10	1	49	49	0	47	1	49	45		4	45					4	14							46	
鉱さい	28	22	22		22		6	6	0	0	6	6	6		0	6					0	141								6
がれき類	531	4	4		4	0	528	528	0	526	2	528	523		4	561					4	8							561	
コンクリート片	273	1	1		1		271	271	0	271	0	271	268		4	280					4	5							280	
廃アスファルト	247	0	0		0		247	247	0	247	0	247	247		0	261					0	0							261	
その他	11	2	2		2	0	9	9	0	7	2	9	9		0	20					0	3							20	
ばいじん	33	29	4		27	2	4	4	0	4	0	4	3		1	3					1	30							3	
その他の産業廃棄物	398	113	9	104	113	0	285	285	0	46	239	279	275		4	275					4	117							292	
感染性廃棄物	4						4	4	0	4	1	1	1		1	1					1	1							1	
混合物等	394	113	9	104	113	0	281	281	0	42	238	279	275		4	275					4	117							292	

表3-2 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量			自己中間処理前量			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(G2)	(処理先地域の内訳)			
				(E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(E1)	(自己中間処理前の処理内訳)			(G1)	(G3)	委託処理		(I)		(J)	
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)		委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)				その他 (E5)					委託中間 処理量 (G3)
合計	723	8	715	42	42	40	1	0	673	643	30	675						
燃え殻	0		0						0	0		0						
汚泥	29		29						29	26	4	29						
有機性汚泥	2		2						2	2	0	2						
無機性汚泥	28		28						28	24	4	28						
廃油	0		0						0	0		0						
一般廃油	0		0						0	0		0						
廃溶剤	0		0						0	0		0						
その他	0		0						0	0		0						
廃酸	0		0						0	0		0						
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	11		11	0	0		0	0	11	8	3	11						
廃プラスチック	11		11	0	0		0	0	11	8	3	11						
廃タイヤ	0		0						0	0		0						
紙くず	1		1						1	1	0	1						
木くず	60		60	1	1				59	58	0	59						
繊維くず	0		0						0	0		0						
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0		0						0	0		0						
金属くず	18	8	10	2	2	2			8	8	0	8						
ガラス陶磁器くず	19	19	19	0	0				19	9	10	19						
鉱さい																		
がれき類	566		566	39	39	38	1		528	524	3	529						
コンクリート片	284		284	14	14	13	1		271	269	1	272						
廃アスファルト	260		260	14	14	14			246	246	0	246						
その他	22		22	11	11	11			11	9	2	11						
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	18		18						18	9	9	18						
感染性廃棄物																		
混合物等	18		18						18	9	9	18						

表3-2 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処分量						再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
		(O)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(R) (E+G+H+I)	(Q) (I+O+M2)	(01) (01)	(02) (02)	(J) (E5+G5)			
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外						自己処分	処理主体の内訳	
		(O+L)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(B+R)	
合計	675	30	30	1	644	644	644	638	6	624	607	17	647	47	47	47			655		
燃え殻	0				0	0	0	0		0	0	0	0		0	0					
汚泥	29	4	4		26	26	26	23	2	14	8	6	8		9	9			8		
有機性汚泥	2	0	0		2	2	2	2		0	0	0	0		0	0			0		
無機性汚泥	28	4	4		24	24	24	22	2	13	8	5	8		9	9			8		
廃油	0				0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			0		
一般廃油	0				0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			0		
廃溶剤	0				0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			0		
その他	0				0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			0		
廃酸	0				0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			0		
廃アルカリ	0				0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			0		
廃プラスチック類	11	3	3	0	8	8	8	7	1	5	4	2	4		5	5			4		
廃プラスチック	11	3	3	0	8	8	8	7	1	5	4	2	4		5	5			4		
廃タイヤ	0				0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			0		
紙くず	1	0	0		1	1	1	1	0	1	0	0	0		0	0			0		
木くず	59	0	0		58	58	58	58	0	55	54	0	55		1	1			55		
繊維くず	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			0		
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0				0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			0		
金属くず	8	0	0		8	8	8	8	0	8	8	0	8		0	0			18		
ガラス陶磁器くず	19	10	10	1	9	9	9	8	1	9	6	3	6		13	13			6		
鉱さい																					
がれき類	529	3	3	0	525	525	525	524	2	525	521	4	559		7	7			559		
コンクリート片	272	1	1		270	270	270	270	0	270	266	4	279		5	5			279		
廃アスファルト	246	0	0		246	246	246	246		246	246		260		0	0			260		
その他	11	2	2	0	9	9	9	7	2	9	9	0	20		2	2			20		
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	18	9	9	0	9	9	9	9	0	7	5	2	5		12	11			5		
感染性廃棄物																					
混合物等	18	9	9	0	9	9	9	9	0	7	5	2	5		12	11			5		

表3-3 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量							
				(D)	(E)			(E2)	(E3)			(G)	(G2)				(G3)	(G4)	(G5)	(I)	(E2+G2)			
					(E1)	(E4)			(E5)	(E6)	(E7)		(G1)	(G6)	(G7)							(G8)	(G9)	
						再生利用量	委託中間 処理量				委託直接 最終処分量													その他
合計	974	128	846	555	42	4	2	32	5	292	15	119	121	36	315	121	121							
燃え殻	11	0	10							10			8	3	10									
汚泥	551		551	525	23		2	17	5	26			20	7	50	2	2							
有機性汚泥	505		505	498	14			13	1	7			6	1	22									
無機性汚泥	46		46	27	9		2	4	4	19			13	6	28	2	2							
廃油	15	2	14	2	0			0		11			11		11									
一般廃油	12	1	11	1	0			0		10			10		10									
廃溶剤	2	0	2	2						2			2		2									
その他	1		1	1	0			0		0			0		0									
廃酸	7		7							7			7		7									
廃アルカリ	9	0	9							9			9		9									
廃プラスチック類	24	2	23	2	2	2				20			18	2	20									
廃プラスチック	24	2	23	2	2	2				20			18	2	20									
廃タイヤ	0		0							0			0	0	0									
紙くず	9	0	9	8	0			0		0			0		0									
木くず	121	102	20	2	1			1	0	18	15		3	0	3									
繊維くず	0		0							0			0	0	0									
動植物性残さ	7	0	7	1	1	1				6			6	0	6									
動物系固形不要物	3		3							3			3		3									
ゴムくず	0		0							0			0		0									
金属くず	24	20	4	0	0	0				4			3	0	4									
ガラス陶磁器くず	41	2	40	14	14			14		26			26	0	40									
鉱さい	147	0	147							147		119	6	22	147	119	119							
がれき類	1		1							1			1	0	1									
コンクリート片	0		0							0			0	0	0									
廃プラスチック	0		0							0			0	0	0									
その他	0		0							0			0	0	0									
ばいじん	2		2							2			1	1	2									
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0			0		1			1	0	1									
感染性廃棄物	0		0							0			0		0									
混合物等	1	0	1	0	0			0		1			1	0	1									

表3-3 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(その2)

区分	委託処理量		委託中間処理量										再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)	(O)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)		委託中間処理量		委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)		(M)	(N)	(R) (E+G+H+I)	(Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)					
			業者	自治体	(処理先地域の内訳)		業者	自治体					県内	県外		再生利用量	最終処分量 (M2)	(O1)		(O2)
					県内	県外														
(O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(Q)	(O1)	(O2)	(J)		
合計	194	41	41	41	0	153	153	0	103	50	112	98	13	118	175	121	54	245		
燃え殻	10	3	3	3	0	8	8	0	5	2	8	2	5	2	8	8	0	3		
汚泥	48	12	12	12	0	36	36	0	19	18	23	19	4	19	17	2	15	19		
有機性汚泥	22	2	2	2	0	19	19	0	8	12	13	12	1	12	4	4	4	12		
無機性汚泥	26	9	9	9	0	17	17	0	11	6	10	7	2	7	13	2	11	7		
廃油	11	0	0	0	0	11	11	0	9	2	1	1	0	1	0	0	0	3		
一般廃油	10	0	0	0	0	10	10	0	8	2	1	1	0	1	0	0	0	2		
廃溶剤	2	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃酸	7	0	0	0	0	7	7	0	4	3	2	2	0	2	0	0	0	2		
廃アルカリ	9	0	0	0	0	9	9	0	4	5	5	0	0	5	0	0	0	5		
廃プラスチック類	20	2	2	2	0	18	18	0	9	9	12	10	1	13	3	3	3	14		
廃プラスチック	20	2	2	2	0	18	18	0	9	9	12	10	1	13	3	3	3	14		
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
紙くず	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1		
木くず	3	0	0	0	0	3	3	0	3	0	2	2	0	17	0	0	0	119		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	6	0	0	0	0	6	6	0	5	0	6	6	0	7	0	0	0	7		
動物系固形不要物	3	0	0	0	0	3	3	0	3	2	2	2	0	2	0	0	0	2		
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属くず	4	0	0	0	0	3	3	0	3	1	3	3	0	3	0	0	0	23		
ガラス陶磁器くず	40	0	0	0	0	40	40	0	39	0	40	39	1	39	1	1	1	40		
鉱さい	28	22	22	22	0	6	6	0	6	6	6	6	0	6	141	119	22	6		
がれき類	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0		
コンクリート片	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ばいじん	2	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	2	2	2	0		
その他の産業廃棄物	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0		
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
混合物等	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0		

(単位：千t/年)

表3-4 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量							
				(E)	(D)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)					
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)		委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	県内 (I)	県外 (J)
合計	1,091	124	966	485	20	5	13	2	482	4	329	148	496	4	4				
燃え殻	36	13	22						22		7	15	22						
汚泥	627	94	533	485	20	5	13	2	48	4	44	0	63	4	4				
有機性汚泥	440		440	431	15	1	13	1	9		9	0	23						
無機性汚泥	187	94	93	54	5	4	0	1	39	4	35	0	40	4	4				
廃油	0		0						0		0		0						
一般廃油	0		0						0		0		0						
廃溶剤																			
その他																			
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類	2		2						2		1	1	2						
廃プラスチック	2		2						2		1	1	2						
廃タイヤ	0		0						0		0		0						
紙くず																			
木くず	0		0						0		0		0						
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	3	0	3						3		3		3						
ガラス陶磁器くず																			
鉱さい	0		0						0		0		0						
がれき類	1		1						1		1		1						
コンクリート片	0		0						0		0		0						
廃アスファルト	1		1						1		1		1						
その他																			
ばいじん	31		31						31		3	28	31						
その他の産業廃棄物	390	17	373						373		270	104	373						
感染性廃棄物																			
混合物等	390	17	373						373		270	104	373						

表3-4 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量
		(O)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(R) (E+G+H+I)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)				
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		再生利用量						最終処分量			
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	自己処分	委託処分		
合計	492	150	9	141	148	2	342	327	15	98	244	304	290	14	295	168	4	164	419		
燃え殻	22	15	3	12	15		7	7		3	4	7	7		7	15		15	21		
汚泥	59	2	2	0	2		57	42	15	55	1	19	6	14	11	20	4	16	105		
有機性汚泥	23	1	1	1	1		21	6	15	20	1	9	6	3	6	5		5	6		
無機性汚泥	36	1	1	0	1		35	35		35	0	11	0	11	5	15	4	11	99		
廃油	0						0	0		0	0	0	0		0	0		0			
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0		0	0		0			
廃溶剤																					
その他																					
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	2	1	1	1	1		1	1		1	1	0	0	0	0	1		1	0		
廃プラスチック	2	1	1	1	1		1	1		1	1	0	0	0	0	1		1			
廃タイヤ	0						0	0		0	0	0	0		0				0		
紙くず																					
木くず	0						0	0		0	0	0	0		0				0		
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	3						3	3		3	3	3	3	0	3	0		0	3		
ガラス陶磁器くず																					
鉱さい	0						0	0		0	0	0	0		0			0			
がれき類	1						1	1		1	1	1	1		1				1		
コンクリート片	0						0	0		0	0	0	0		0				0		
廃アスファルト	1						1	1		1	1	1	1		1				1		
その他																					
ばいじん	31	28	3	25	26	2	3	3		3	0	3	3	0	3	28		28	3		
その他の産業廃棄物	373	104	0	104	104		270	270		31	238	270	269	0	269	104		104	286		
感染性廃棄物																					
混合物等	373	104	0	104	104		270	270		31	238	270	269	0	269	104		104	286		

表3-5 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量	
				自己中間処理後量					自己中間処理後の処理内訳					(G)	(自己未処理の処理内訳)				(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)		
				(E)	(E1) 再生利用量	(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量	(E5) その他	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他		(I) (E2+G2)	(J) 県内	(K) 県外					
																		(D)		(E)	(E1)	(E2)
合計	24	2	23	0	0	0	0	0	0	0	0	22	1	0	23	0	0					
燃え殻	0	0	0									0			0							
汚泥	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	3					
有機性汚泥	0	0	0								0				0		0					
無機性汚泥	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0					
廃油	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0					
一般廃油	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0					
廃溶剤	0	0	0								0			0		0						
その他	0	0	0								0			0		0						
廃酸	0	0	0								0			0		0						
廃アルカリ	0	0	0								0			0		0						
廃プラスチック類	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	7	0	0	8					
廃プラスチック	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3					
廃タイヤ	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	5					
紙くず	0	0	0								0			0		0						
木くず	0	0	0								0			0		0						
繊維くず																						
動植物性残さ																						
動物系固形不要物																						
ゴムくず	0	0	0								0			0		0						
金属くず	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2					
ガラス陶磁器くず	0	0	0								0			0		0						
鉱さい																						
がれき類	1		1								1			1		0	1					
コンクリート片	1		1								1			1		0	1					
廃アスファルト	0		0								0			0		0	0					
その他																						
ばいじん																						
その他の産業廃棄物	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0	0	6					
感索性廃棄物	4		4								4			4		0	4					
混合物等	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2					

表3-5 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量													再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量
	委託直接最終処分量			委託中間処分量						再生利用後の処理内訳				再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	自己処分 (O1)	処理主体の内訳 委託処分 (O2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)		
	(K) (O+L)	(処理主体の内訳)		(L)	(M)	(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(M1)	(M2)	(N)	(O)								
		業者	自治体			県内	県外	業者	自治体					県内	県外						
合計	23	1	0	1	0	22	0	19	3	12	9	3	9	4	4	0	0	11			
燃え殻	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
汚泥	3	0	0	0		3	3	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0			
有機性汚泥	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
無機性汚泥	2	0	0	0		2	2	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0			
廃油	2					2	2	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	2			
一般廃油	2					2	2	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2			
廃溶剤	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃酸	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃アルカリ	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃プラスチック類	8	0	0	0	0	8	7	0	7	1	6	5	1	5	1	1	0	5			
廃プラスチック	3	0	0	0	0	3	3	0	3	0	1	1	1	1	1	1	0	1			
廃タイヤ	5					5	5	0	4	1	5	4	0	4	0	0	0	4			
紙くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
金属くず	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	2			
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
鉱さい																					
がれき類	1	0	0	0		1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1			
コンクリート片	1	0	0	0		1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1			
廃プラスチック	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他																					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	6	0	0	0	0	6	6	0	5	1	1	0	1	0	1	0	1	0			
感染性廃棄物	4					4	4	4	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
混合物等	2	0	0	0	0	2	2	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0			

表4-1 発生量及び処理・処分量（秋田市 種類別：変換）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			自己未処理の処理内訳			自己未処理の処理内訳				(I)	県外 (処理先地域の内訳)
				(D)	(E)	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	(G)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)			
																	(E)	(E)
合計	1,205	11	1,194	886	40	17	2	18	3	309	6	4	272	26	325	6	6	
燃え殻	11	0	10		12			11	1	10			7	3	22			
汚泥	893	0	893	862	14	4	2	6	2	31		4	20	7	41	6	6	
有機性汚泥	813		813	806	6	1		5	1	7			7	0	13			
無機性汚泥	80	0	80	56	7	3	2	1	1	24		4	13	7	28	6	6	
廃油	4	0	4	1	0			0		3			3		3			
一般廃油	4	0	4	1	0			0		2			2		2			
廃溶剤	0	0	0							0			0		0			
その他	0	0	0							0			0		0			
廃酸	2		2							2			2		2			
廃アルカリ	3		3	0	0			0		3			3		3			
廃プラスチック類	11	0	11	0	0	0		0	0	11			9	2	11			
廃プラスチック	9	0	9	0	0	0		0	0	9			8	2	9			
廃タイヤ	2	0	2							2			2		2			
紙くず	9	0	9	8						1			1	0	1			
木くず	27		27	0	0	0				27	6		20	0	20			
繊維くず	0	0	0							0			0	0	0			
動植物性残さ	0	0	0							0			0	0	0			
動物系固形不要物	3	0	3							3			3		3			
ゴムくず	0	0	0							0			0	0	0			
金属くず	13	8	5	1	1	1				4			4	0	4			
ガラス陶磁器くず	18	1	17	0	0				0	17			13	3	17			
鉱さい	10	0	10							10			6	4	10			
がれき類	187		187	13	13	12		0		174			173	1	175			
コンクリート片	94		94	5	5	4		0		90			89	0	90			
廃アスファルト	85		85	4	4	4				81			81	0	81			
その他	7		7	4	4	4				4			3	1	4			
ばいじん	4		4							4			1	3	4			
その他の産業廃棄物	9	0	9	0	0			0		9			6	3	9			
感染性廃棄物	1		1							1			1		1			
混合物等	8	0	8	0	0			0		8			4	3	8			

表4-1 発生量及び処理・処分量（秋田市 種類別：変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)						委託中間処理量 (処理主体の内訳)						再生利用量 (E+G+M)			最終処分量 (I+O+M2)			その他量 (J) (E5+G5)		資源化量 (S) (B+R)
		(O)		自治体		(処理先地域の内訳)		(L)	業者		(処理主体の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(M)	(R)	(Q)	(O1)	(O2)			
		(O)	(O+L)	自治体	業者	県内	県外		自治体	業者	県内	県外	再生利用量	最終処分量						自己処分	委託処分	
		(O)	(O+L)	自治体	業者	県内	県外	自治体	業者	県内	県外	(M1)	(M2)	(E+G+M1)	(I+O+M2)	(O1)	(O2)					
合計	319	29	29	0	27	2	290	289	1	261	29	262	244	18	268	52	6	47	279			
燃え殻	22	4	4		4		18	18		5	13	21	14	8	14	11		11	14			
汚泥	35	9	9	0	9		26	26	1	23	3	11	8	3	12	18	6	12	12			
有機性汚泥	13	1	1		1		12	12	1	12	1	3	3	0	4	1		1	4			
無機性汚泥	22	8	8	0	8		14	14		12	2	8	5	3	8	17	6	11	8			
廃油	3						3	3		3	0	0	0	0	0	0		0	1			
一般廃油	2						2	2		2	0	0	0	0	0	0		0	1			
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0			
その他	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0			
廃酸	2						2	2		2	1	0	0	0	0	0		0	0			
廃アルカリ	3						3	3		3	0	0	0	0	0	0		0	0			
廃プラスチック類	11	2	1	0	2	0	9	9	0	8	1	5	4	1	4	2		2	4			
廃プラスチック	9	2	1	0	2	0	8	8	0	7	1	4	3	1	3	2		2	3			
廃タイヤ	2						2	2	0	1	0	2	2	0	2	0		0	2			
紙くず	1	0	0		0		1	1		1	0	1	1	0	1	0		0	1			
木くず	20	0	0		0		20	20		20	0	18	18	0	25	0		0	25			
繊維くず	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0			
動植物性残さ	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0			
動物系固形不要物	3						3	3		3	3	2	2	0	2	0		0	2			
ゴムくず	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0			
金属くず	4	0	0		0		4	4	0	4	0	4	4	0	5	0		0	13			
ガラス陶磁器くず	17	3	3	0	3	0	13	13		13	1	13	12	1	12	5		5	13			
鉱さい	10	4	4		4		6	6		6	0	6	6	0	6	4		4	6			
がれき類	175	1	1		1	0	173	173		173	1	173	172	1	184	3		3	184			
コンクリート片	90	0	0		0		89	89		89	0	89	88	1	92	2		2	92			
廃アスファルト	81	0	0		0		81	81		81		81	81		85	0		0	85			
その他	4	1	1		1	0	3	3		2	1	3	3	0	6	1		1	6			
ばいじん	4	3	3		3		1	1		1	0	1	0	1	0	4		4	0			
その他の産業廃棄物	9	3	3		3	0	6	6		5	0	4	2	2	2	5		5	2			
感染性廃棄物	1						1	1		1	0											
混合物等	8	3	3		3	0	5	5		4	0	4	2	2	2	5		5	2			

表4-2 発生量及び処理・処分量 (県北地域 種類別：変換) <令和4年度>

(その1)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量				
				自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(I)	(E2+G2)		(処理先地域の内訳)				
				(E)	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	(E3)	委託中間 処理量 (E4)			その他 (E5)	(G1)	自己最終 処分量 (G2)				(G3)	委託最終 処分量 (G4)		(I)	県外
								(E1)	(E2)									(E3)	(E4)		
合計	1,024	167	857	75	22	11	10	1	781	9	119	483	170	0	783	119	119				
燃え殻	35	13	21		0	0		0	21			7	14		21						
汚泥	197	94	103	58	5	1	4	1	45			43	1		49						
有機性汚泥	46	46	46	44	3		2	0	2			1	1		4						
無機性汚泥	151	94	57	14	3	1	1	1	43			42	1		45						
廃油	2	0	2	0	0		0		2			2		0	2						
一般廃油	1	0	1	0	0		0		1			1		0	1						
廃溶剤	1	1	1						1			1			1						
その他	0		0						0			0			0						
廃酸	2		2						2			2			2						
廃アルカリ	1		1						1			1			1						
廃プラスチック類	15	1	14	0	0	0	0	0	14			12	1	0	14						
廃プラスチック	14	1	12	0	0	0	0	0	12			11	1		12						
廃タイヤ	1	0	1	0	0	0	0	0	1			1	0		1						
紙くず	0		0						0			0			0						
木くず	58	34	24	1	0	0	0		23	9		14	0		14						
繊維くず	0		0						0			0	0		0						
動植物性残さ	3		3	1	1	1			2			2			2						
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	10	6	4	0	0	0	0		3			3	0		3						
ガラス陶磁器くず	17	0	17	6	6		6	0	11			9	2		17						
鉱さい	137		137						137		119	0	18		137	119	119				
がれき類	122		122	8	8	8	0		114			113	1		114						
コンクリート片	61		61	3	3	3	0		58			58	0		58						
廃アスファルト	56		56	3	3	3			53			53	0		53						
その他	5		5	2	2	2			3			2	1		3						
ばいじん	29		29						29			3	26		29						
その他の産業廃棄物	395	17	378	0					378			272	106		378						
感染性廃棄物	1		1						1			1			1						
混合物等	394	17	377	0					377			272	106		377						

表4-2 発生量及び処理・処分量（県北地域 種類別：変換）＜令和4年度＞

区分	委託処理量 (その2)	委託中間処理量												再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量 (単位：千t/年)
		委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量				(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)			
		(K) (O+L)		(O)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)								
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量	自己処分	委託処分					
合計	664	171	30	141	171	0	493	492	2	241	252	452	435	17	455	307	119	188	0	622
燃え殻	21	14	2	12	14		7	7		4	4	8	7	1	7	15		15		21
汚泥	49	2	2		2		47	46	1	46	1	17	5	12	5	15		15		99
有機性汚泥	4	1	1		1		4	2	1	3	0	2	1	0	1	1		1		1
無機性汚泥	45	2	2		2		43	43	1	43	1	15	3	12	4	14		14		98
廃油	2						2	2	0	2	0	0	0	0	0	0		0		0
一般廃油	1						1	1	1	1	0	0	0	0	0	0		0		0
溶剤	1						1	1	1	1	0	0	0	0	0	0		0		0
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
廃酸	2						2	2	2	2	0	0	0	0	0	0		0		0
廃アルカリ	1						1	1	1	1	0	0	0	0	0	0		0		0
廃プラスチック類	14	1	1	0	1		12	12	0	4	8	7	6	1	6	2		2		8
廃プラスチック	12	1	1	0	1		11	11	0	3	8	6	5	1	5	2		2		7
廃タイヤ	1						1	1	1	1	0	1	1	0	1	0		0		1
紙くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
木くず	14	0	0	0	0		14	14	0	14	0	12	12	0	21	0		0		56
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
動植物性残さ	2						2	2	2	2	0	2	2	0	3	0		0		3
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	3	0	0	0	0		3	3	3	3	1	3	3	0	4	0		0		10
ガラス陶磁器くず	17	2	2	2	2		15	15	15	15	0	15	14	1	14	3		3		14
鉱さい	18	18	18	18	18		0	0	0	0	0	0	0	0	137	119		18		0
がれき類	114	1	1	1	1		113	113	113	113	0	113	112	1	120	2		2		120
コンクリート片	58	0	0	0	0		58	58	58	58	0	58	57	1	60	1		1		60
廃アスファルト	53	0	0	0	0		53	53	53	53	0	53	53	0	56	0		0		56
その他	3	1	1	1	1		2	2	2	2	0	2	2	0	4	1		1		4
ばいじん	29	26	1	25	26		3	3	3	3	3	3	3	3	3	26		26		3
その他の産業廃棄物	378	106	2	104	106		272	272	0	34	238	271	270	1	270	107		106		287
感染性廃棄物	1						1	1	1	1	0									
混合物等	377	106	2	104	106		272	272	0	33	238	271	270	1	270	107		106		287

表4-3 発生量及び処理・処分量（県央地域 種類別：変換）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量				
				自己中間処理後量			自己中間処理量			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(I)	(E2-G2)		(処理先地域の内訳)				
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	(自己中間処理後の処理内訳)		委託直接 最終処分量 (E4)		その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)				委託中間 処理量 (G3)	(自己未処理の処理内訳)		県内	県外
							委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)										委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)		
合計	287	72	215	48	18	7	10	1	167	159	7	177									
燃え殻	1		1		0		0		1	0		1									
汚泥	56		56	37	7		6	1	20	19	1	27									
有機性汚泥	39		39	31	6		6		8	8	0	14									
無機性汚泥	17		17	6	1			1	12	11	1	12									
廃油	9	2	7						7	7		7									
一般廃油	7	1	6						6	6		6									
溶剤	1	0	0						0	0		0									
その他	0	0	0						0	0		0									
廃酸	2		2						2	2		2									
廃アルカリ	1	0	1						1	1		1									
廃プラスチック類	9	0	8	0	0		0	0	8	8	1	8									
廃プラスチック	8	0	8	0	0		0	0	8	7	1	8									
廃タイヤ	1	1	1	0	0		0	0	1	1		1									
紙くず	0		0						0	0		0									
木くず	76	64	12	1	1	0	1		11	11	0	12									
繊維くず	0		0						0	0		0									
動植物性残さ	1		1						1	1		1									
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0		0						0	0		0									
金属くず	9	6	3	0	0	0	0		2	2	0	2									
ガラス陶磁器くず	14	0	14	3	3		3	0	12	10	2	14									
鉱さい																					
がれき類	104		104	7	7	7	0		97	96	1	97									
コンクリート片	52		52	3	3	2	0		50	49	0	50									
廃アスファルト	48		48	2	2	2			45	45	0	45									
その他	4	4	4	2	2	2			2	2	0	2									
ばいじん	0		0						0	0		0									
その他の産業廃棄物	4	0	4						4	2	2	4									
感染性廃棄物	0		0						0	0		0									
混合物等	4	0	4						4	2	2	4									

表4-3 発生量及び処理・処分量（県央地域 種類別：変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)						委託中間処理量 (処理主体の内訳)						委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)			最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)
		業者		自治体		県外		業者		自治体		県外		(M)	再生利用量		(Q) (I+O+M2)	(O1)	(O2)	(J) (E5+G5)		
		(O)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)		(L)	(L)					(L)	
		(O)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(M)	(M)	(R) (E1+G1+M1)	(Q)	(O1)	(O2)	(J) (E5+G5)		
合計	177	8	8	169	156	13	158	12	143	136	7	144	15	15	15	15	15	15	15	216		
燃え殻	1	1	1	0	0	0	0	0	3	0	3	0	4	4	4	4	4	4	4	0		
汚泥	27	2	2	25	12	13	21	4	8	7	1	7	3	3	3	3	3	3	3	7		
有機性汚泥	14	0	0	14	13	13	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
無機性汚泥	12	2	2	11	11	11	7	4	8	7	1	7	3	3	3	3	3	3	3	7		
廃油	7	7	7	7	7	7	6	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3		
一般廃油	6	6	6	6	6	6	5	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3		
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃酸	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック類	8	1	1	8	8	8	6	2	6	6	0	6	1	1	1	1	1	1	1	6		
廃プラスチック	8	1	1	7	7	7	5	2	5	5	0	5	1	1	1	1	1	1	1	5		
廃タイヤ	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
木くず	12	0	0	12	12	12	12	0	11	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	75		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属くず	2	0	0	2	2	2	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	9		
ガラス陶磁器くず	14	2	2	12	12	12	12	0	12	12	1	12	2	2	2	2	2	2	2	12		
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
がれき類	97	1	1	96	96	96	96	0	96	96	1	103	1	1	1	1	1	1	1	103		
コンクリート片	50	0	0	50	50	50	50	0	50	49	1	51	1	1	1	1	1	1	1	51		
廃アスファルト	45	0	0	45	45	45	45	0	45	45	0	48	0	0	0	0	0	0	0	48		
その他	2	0	0	2	2	2	1	0	2	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4		
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の産業廃棄物	4	2	2	2	2	2	2	0	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1		
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
混合物等	4	2	2	2	2	2	2	0	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1		

表4-4 発生量及び処理・処分量（県南地域 種類別：変換）＜令和4年度＞

(その1)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量										自己未処理量				搬出量		自己最終処分量	
				自己中間処理後量				自己中間処理後の処理内訳				(E)	(D)	(自己未処理の処理内訳)				(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	(G)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)			委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	県内			県外	
																					(F)
(B+C)	(D)	(E)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(F)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(I)	(E2+G2)		
合計	297	12	285	73	24	13	2	2	9	212	0	200	12	0	0	223					
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
汚泥	64	0	64	53	6	0	2	2	3	11	0	9	2	0	0	17					
有機性汚泥	49	0	49	48	2	0	1	1	2	1	0	1	1	0	0	4					
無機性汚泥	15	0	15	5	3	0	2	2	1	10	0	8	1	0	0	13					
廃油	3	0	3	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2					
一般廃油	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2					
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃酸	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1					
廃アルカリ	4	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	4					
廃プラスチック類	10	0	10	2	2	2	0	0	0	8	0	5	3	0	0	8					
廃プラスチック	9	0	9	2	2	2	0	0	0	7	0	4	3	0	0	7					
廃タイヤ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1					
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
木くず	21	4	17	1	0	0	0	0	0	16	0	16	0	0	0	16					
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
動植物性残さ	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	3					
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
金属くず	15	8	7	1	1	1	0	0	0	7	0	7	0	0	0	7					
ガラス陶磁器くず	11	0	11	5	5	0	0	0	5	6	0	3	3	0	0	11					
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
がれき類	156	0	156	11	11	10	0	0	0	145	0	144	1	0	0	146					
コンクリート片	78	0	78	4	4	4	0	0	0	74	0	74	0	0	0	75					
廃アスファルト	72	0	72	4	4	4	0	0	0	68	0	68	0	0	0	68					
その他	6	0	6	3	3	3	0	0	0	3	0	2	1	0	0	3					
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他の産業廃棄物	7	0	7	0	0	0	0	0	0	7	0	5	2	0	0	7					
感染性廃棄物	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2					
混合物等	5	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	3	2	0	0	5					

表4-4 発生量及び処理・処分量（県南地域 種類別：変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)						委託中間処理量						再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
		(O)		(自治体)		(処理先地域の内訳)		(L)	(業者)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳) 再生利用量	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)	
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体			県内	県外										
		(O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	(業者)	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳) 再生利用量	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)		
合計	223	14	14	0	14	0	209	209	0	199	10	195	190	6	203	20	20	0	215		
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0		
汚泥	17	4	4	0	4	0	13	12	0	9	3	7	5	2	6	6	6	0	6		
有機性汚泥	4	1	1	0	1	0	3	2	0	1	2	1	0	1	1	1	1	0	1		
無機性汚泥	13	3	3	0	3	0	10	10	0	8	2	6	4	2	4	5	4	0	4		
廃油	2	2	2	0	2	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
一般廃油	2	2	2	0	2	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃酸	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	4	4	4	0	4	0	4	4	0	1	4	3	3	3	3	0	0	0	3		
廃プラスチック類	8	3	3	0	3	0	5	5	0	4	1	3	2	0	4	4	0	0	5		
廃プラスチック	7	3	3	0	3	0	4	4	0	3	0	2	1	0	4	4	0	0	4		
廃タイヤ	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
木くず	16	0	0	0	0	0	16	16	0	16	0	15	15	0	15	0	0	0	19		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3	3	0	3	0	0	0	3		
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	7	0	0	0	0	0	7	7	0	7	0	7	7	0	7	0	0	0	15		
ガラス陶磁器くず	11	3	3	0	3	0	8	8	0	8	0	8	7	1	7	4	4	0	7		
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
がれき類	146	1	1	0	1	0	145	145	0	144	0	145	144	1	154	2	2	0	154		
コンクリート片	75	0	0	0	0	0	74	74	0	74	0	74	73	1	77	1	1	0	77		
廃アスファルト	68	0	0	0	0	0	68	68	0	68	0	68	68	0	72	0	0	0	72		
その他	3	1	1	0	1	0	2	2	0	2	0	2	2	0	5	1	1	0	5		
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	7	2	2	0	2	0	5	5	0	5	0	2	1	1	3	3	0	0	2		
感染性廃棄物	2						2	2	0	2	0										
混合物等	5	2	2	0	2	0	3	3	0	3	0	2	1	1	3	3	0	0	2		

表5-1 発生量及び処理・処分量（全地域 業種別）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量		排出量		自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量				
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+E)	(D)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量				
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(自己最終処分量)			
						(E1)	(E2)	(E3)		(E4)	(E5)	(G1)		(G2)	(G3)	(G4)	(G5)
(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(1) (E2+G2)	県内	県外		
合計	2,812	262	2,550	1,081	104	49	2	46	7	1,469	123	1,115	215	0	1,508	125	125
建設業	723	8	715	42	42	40	2	32	5	673	643	30	36	0	675	0	0
製造業	974	128	846	555	42	4	2	2	1	292	119	121	13	0	315	121	121
食料品	33	0	32	22	5	1	2	2	1	10	9	1	1	0	13	1	1
飲料・飼料	4	0	4	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
繊維	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
木材	127	102	25	1	2	1	1	1	0	25	7	3	3	0	10	0	0
家具	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハルブ・紙	480	480	477	11	11	11	11	11	4	4	4	0	0	0	15	0	0
印刷	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0
化学	11	0	10	5	2	2	2	0	0	5	4	1	1	0	7	2	2
石油・石炭	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0
プラスチック	8	1	7	2	2	2	2	0	0	4	3	1	1	0	4	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石	68	2	66	35	20	20	17	3	3	32	30	2	2	0	52	0	0
鉄鋼	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	0	14	0	0
非鉄金属	150	1	150	0	0	0	0	0	0	149	119	19	19	0	149	119	119
金属	11	5	7	2	0	0	0	0	0	5	4	0	0	0	5	0	0
はん用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生産用機器	12	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0	0	0	5	0	0
業務用機器	12	2	11	1	0	0	0	0	0	10	9	0	0	0	10	0	0
電子部品	28	3	25	3	0	0	0	0	0	22	22	1	1	0	23	0	0
電気機器	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器	8	4	4	4	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3	0	0
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気・水道業	1,091	124	966	485	20	5	13	2	2	482	4	329	148	0	496	4	4
電気業	599	124	475	7	0	0	0	0	0	468	320	148	148	0	468	0	0
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水道業	58	58	58	52	5	4	4	1	1	5	4	1	0	0	6	4	4
下水道業	434	434	426	426	15	0	13	1	1	8	8	0	0	0	23	0	0
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業	3	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0
卸・小売業	12	1	12	0	0	0	0	0	0	12	0	11	0	0	12	0	0
物品賃貸業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・学習支援業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
医療・福祉	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0	5	5	5
サービス業	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0

表5-1 発生量及び処理・処分量（全地域 業種別）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

業種	委託処理量										委託中間処理量				委託先地域の内訳				再生利用量		最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)		(M)		(委託処理後の処理内訳)		(R)		(0)		(01)		(02)		(J)	(S)				
	(K)	(O-L)	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量	(E1+G1+H1)	(1+O+M2)	(0)	(01)	(02)									
											(M1)	(M2)	(R)	(1+O+M2)	(0)	(01)	(02)	(E5+G5)	(B+R)							
合計	1,384	222	81	141	219	3	1,161	1,146	15	858	303	1,052	1,005	47	395	125	270	0	1,331	0	1,331					
建設業	675	30	30	644	644	1	644	644	15	638	6	624	607	17	647	47	47	647	47	655						
製造業	194	41	41	153	153	0	153	153	0	103	50	112	98	13	118	121	54	175	3	245						
食品	13	2	2	11	11	0	11	11	0	7	3	8	8	0	9	3	3	3	3	9						
飲料・飼料	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1						
繊維	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
木材	10	3	3	7	7	0	7	7	0	7	0	7	7	0	16	9	9	9	9	118						
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
パルプ・紙	15	0	0	15	15	1	14	14	1	14	14	14	14	0	14	0	0	0	0	14						
印刷	1	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1						
化学	5	1	1	4	4	0	4	4	0	4	0	4	4	0	1	3	2	1	3	1						
石油・石炭	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
プラスチック	4	1	1	4	4	1	4	4	1	3	3	3	3	0	5	1	1	1	1	6						
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
窯業・土石	52	5	5	47	47	5	47	47	42	42	5	45	44	1	44	6	6	6	6	47						
鉄鋼	14	7	7	7	7	1	7	7	1	6	1	7	7	0	7	7	7	7	7	7						
非鉄金属	31	19	19	11	11	10	11	11	3	10	3	11	11	3	11	141	22	119	22	1						
金属	5	1	1	4	4	3	4	4	3	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	6						
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
生産用機器	5	0	0	5	4	3	4	4	0	3	1	2	2	0	2	1	1	1	1	9						
業務用機器	10	0	0	10	10	4	10	10	6	4	3	1	3	1	3	1	1	1	1	5						
電子部品	23	1	1	22	22	14	22	22	11	14	8	12	11	1	11	1	1	1	1	14						
電気機器	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1						
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
輸送機器	3	0	0	3	3	2	3	3	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5						
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
電気・水道業	492	150	9	141	148	2	342	327	15	98	244	304	290	14	295	168	4	164	4	419						
電気業	468	148	7	141	146	2	320	320	77	243	283	294	283	11	284	159	159	159	159	408						
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
上水道業	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	6	5	4	1	1	6						
下水道業	23	1	1	21	6	15	21	6	20	1	9	6	3	3	6	4	4	4	4	6						
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
運輸業	2	0	0	2	2	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2						
卸・小売業	12	0	0	11	11	0	11	11	10	1	8	6	2	2	6	2	2	2	2	7						
物品買付業	1	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1						
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
教育・学習支援業	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0						
医療・福祉	5	0	0	5	5	4	5	5	4	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0						
サービス業	2	0	0	2	2	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1						

表5-2 発生量及び処理・処分量（秋田市 業種別）＜令和4年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量						自己未処理量						自己最終処分量				
				(A)	(B)	(C)	(D)	自己中間処理後量			自己未処理量			自己最終処分量						
								再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	（自己中間処理後の処理内訳）		(G)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	自己最終処分量	
											(E)	(E4)							(E5)	(I)
合計	1,205	11	1,194	886	40	17	2	18	3	309	4	272	26	325	6	6				
建設業	238	3	235	14	14	13	0	0	0	221	0	212	10	222	0	0				
製造業	582	7	575	508	18	2	2	14	2	67	6	49	11	78	2	2				
食料品	14	0	14	11	2	1	1	1	1	3	0	3	0	5	0	0				
飲料・飼料	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
繊維	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
木材	14	14	0	0	0	0	0	0	14	6	6	1	8	0	0	0				
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
ハルブ・紙	480	0	480	477	11	1	11	0	4	4	4	0	15	0	0	0				
印刷	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0				
化学	8	0	8	5	2	0	2	0	3	3	3	0	5	2	2	0				
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
窯業・土石	25	2	23	8	2	1	1	1	14	14	12	2	16	0	0	0				
鉄鋼	11	0	11	11	0	0	0	0	11	11	7	4	11	0	0	0				
非鉄金属	11	0	11	11	0	0	0	0	11	11	8	3	11	0	0	0				
金属	5	2	3	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	0	0	0				
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
生産用機器	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
電子部品	7	1	7	3	0	0	0	0	4	4	4	0	5	0	0	0				
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
電気・水道業	374	0	374	363	8	4	4	3	1	11	4	2	5	15	4	4				
電気業	13	0	13	7	0	0	0	0	6	6	2	5	6	0	0	0				
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
上水道業	47	0	47	43	3	3	3	0	4	4	4	0	4	4	4	4				
下水道業	314	0	314	314	4	0	0	3	1	1	1	0	5	0	0	0				
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
運輸業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0				
卸・小売業	5	0	5	0	0	0	0	0	5	5	5	0	5	0	0	0				
物品賃貸業	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0				
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
教育・学習支援業	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0				
医療・福祉	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0				
サービス業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

表5-2 発生量及び処理・処分量（秋田市 業種別）＜令和4年度＞

業種	委託処理量													最終処分量	その他量	資源化量											
	(K) (0-L)	委託直接最終処分量					委託中間処理量					(M)	(N1)				(N2)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)					
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)												(委託処理後の処理内訳)	(再生利用量)	(最終処分量)	(自己処分)	(委託処分)
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外																	
(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)				
合計	319	29	29	0	27	2	290	289	1	261	29	262	244	18	268	52	6	47	219								
建設業	222	10	10		10	0	212	212		210	2	205	200	6	213	16		16	215								
製造業	76	13	13		13		63	63		38	25	47	37	10	43	25	2	23	51								
食料品	5	1	1		1		4	4		1	3	2	2	0	2	1		1	2								
飲料・飼料	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0								
繊維	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0								
木材	8	1	1		1		6	6		6	0	6		6	7			7	6								
家具																											
パルプ・紙	15	0	0		0		15	15		1	14	14		14	0			0	14								
印刷	1	1	1		1		1	1		1	0	1		1	0			0	1								
化学	3	1	1		1		3	3		3	0	1		1	2			1	1								
石油・石炭																											
プラスチック																											
ゴム																											
皮革																											
窯業・土石	16	3	3		3		13	13		13	1	12	11	1	11	4		4	13								
鉄鋼	11	4	4		4		7	7		6	6	7	7	0	7	4		4	7								
非鉄金属	11	3	3		3		8	8		6	1	2	0	2	0			5	0								
金属	2	0	0		0		2	2		2	0	1	0	0	0			1	2								
はん用機器																											
生産用機器	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0								
業務用機器	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0								
電子部品	5						5	5		4	0	2	1	0	1			0	2								
電気機器																											
情報通信機器																											
輸送機器																											
その他	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0								
電気・水道業	11	6	6		3	2	5	5		5	1	4	4	1	7	10	4	6	7								
電気業	6	5	5		3	2	2	2		1	1	1	1	0	1	5	5	5	1								
ガス業	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0								
上水道業	0						0	0		0	0	0	0	0	3	4	4	3	0								
下水道業	5	1	1		1		4	3		4	3	3	3	0	4	1		1	4								
情報通信業	0						0	0		0	0	0	0	0	0			0	0								
運輸業	1	0	0		0		1	1		1	0	1	0	0	0			0	0								
卸・小売業	5	0	0		0		5	5		4	0	3	3	1	3	1		1	3								
物品賃貸業	1						1	1		1	0	1	0	0	0			0	0								
学術研究・専門サービス業	0						0	0		0	0	0	0	0	0			0	0								
生活関連サービス業	0						0	0		0	0	0	0	0	0			0	0								
教育・学習支援業	1	0	0		0		1	1		1	0	0	0	0	0			0	0								
医療・福祉	1						1	1		1	0	0	0	0	0			0	0								
サービス業	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0								

(単位：千t/年)

(その2)

表5-3 発生量及び処理・処分量（県北地域 業種別）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量		排出量	自己中間処理量				自己未処理後量				自己未処理量				自己最終処分量						
	(A) (B+C)	(B)		(C) (D+E)	(D)	自己中間処理後量			自己未処理後量			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(自己最終処分の内訳)					
			再生利用量			自己最終処分量	(E1)	(E2)	自己中間処理後の処理内訳		再生利用量		自己最終処分量	(G2)	(G3)		委託中間処理量	委託直接最終処分量	その他量	(1) (E2+G2)	県内	県外
									(E3)	(E4)												
合計	1,024	167	857	75	22	11	10	1	781	9	119	483	170	0	783	119	119					
建設業	155	2	154	9	9	9	0	0	145			138	6		145							
製造業	236	40	195	21	9	2	7	0	174	9	119	26	21		173	119	119					
食料品	10	0	10	8	1	1	0	0	2			2	0		2							
飲料・飼料	0	0	0						0			0	0		0							
繊維	44	34	9					0	9			0	0		0							
木材	1	1	1	1	0			0	0			0	0		0							
家具	1	1	1																			
ハルブ・紙																						
印刷																						
化学	3	0	2	0	0			0	2			2	0		2							
石油・石炭																						
プラスチック	4	1	3						3			3	0		3							
ゴム	0	0	0						0			0	0		0							
皮革																						
窯業・土石	19	0	19	12	7	0	7	0	7			7	0		14							
鉄鋼	3	3	3						3			0	3		3							
非金属	140	1	139	0	0	0			139		119	4	16		139	119	119					
金属	2	1	1	0	0	0	0	0	0			0	0		0							
はん用機器	0	0	0						0			0	0		0							
生産用機器	2	1	1						1			1	0		1							
業務用機器	7	1	6						6			6	0		6							
電子部品	1	0	0						0			0	0		0							
電気機器	0	0	0						0			0	0		0							
情報通信機器																						
輸送機器																						
その他	0	0	0						0						0							
電気・水道業	627	124	503	46	4	1	2	0	458			315	143		460							
電気業	581	124	457						457			315	143		457							
ガス業																						
上水道業	8		8	8	1	1		0							0							
下水道業	38		38	37	2		2		0			0	0		3							
情報通信業	0	0	0						0			0	0		0							
運輸業	1	0	0						0			0	0		0							
卸・小売業	3	0	3	0	0				3			3	0		3							
物品賃貸業	0	0	0						0			0	0		0							
学術研究・専門サービス業	0	0	0						0			0	0		0							
生活関連サービス業	0	0	0						0			0	0		0							
教育・学習支援業	1	1	1						1						1							
医療・福祉	1	0	1	0	0	0	0	0	1			0	0		1							
サービス業	1	0	1	0	0	0	0	0	1			0	0		1							

表5-3 発生量及び処理・処分量（県北地域 業種別）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

業種	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(R) (E1+G1+H1)	(0) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)	(S) (B+R)								
	(K) (O-L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(M1)	(M2)			(01) (02)	(0)										
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量			自己処分	委託処分												
合計	664	171	30	141	171	0	493	492	2	241	252	452	435	17	455	307	119	188	0	622									
建設業	145	7	7		6	0	138	138	2	137	1	134	130	4	139	10	23	10	0	141									
製造業	54	21	21		21		33	33	0	25	8	24	22	2	32	142	119	23	0	73									
食料品	2	0	0		0		2	2	0	2	0	2	2	0	3	0	0	0	0	3									
飲料・飼料	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
繊維	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
木材	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	43									
家具	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
パルプ・紙																													
印刷																													
化学	2	0	0		0		2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1									
石油・石炭																													
プラスチック	3	0	0		0		3	3	0	0	3	2	2	0	2	0	0	0	0	4									
ゴム	0	0	0		0																								
皮革																													
窯業・土石	14	0	0		0		14	14	14	14	14	14	14	0	14	0	0	0	0	14									
鉄鋼	3	3	3		3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0									
非鉄金属	20	16	16		16		4	4	4	4	1	0	0	1	0	136	119	17	0	1									
金属	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1									
はん用機器	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
生産用機器	1	0	0		0		1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2									
業務用機器	6	0	0		0		6	6	1	5	2	2	2	1	2	1	1	1	1	3									
電子部品	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
電気機器	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
情報通信機器																													
輸送機器																													
その他	0	0	0		0																								
電気・水道業	460	143	2	141	143		317	316	1	75	242	292	281	11	282	154	154	0	0	406									
電気業	457	143	2	141	143		315	315	73	242	290	280	280	11	280	153	153	0	0	404									
ガス業	0	0	0		0																								
上水道業	0	0	0		0										1	0	0	0	0	1									
下水道業	3	0	0		0		3	1	1	3	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1									
情報通信業	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
運輸業	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
卸・小売業	3	0	0		0		3	3	0	2	0	2	1	0	1	1	1	1	0	1									
物品買受業	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
学術研究・専門サービス業	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
生活関連サービス業	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
教育・学習支援業	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
医療・福祉	1						1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
サービス業	1	0	0		0		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									

表5-4 発生量及び処理・処分量（県央地域 業種別）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量			
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+E)	(D)	(E)	自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳		自己未処理後量		自己未処理の処理内訳		自己未処理の処理内訳		(H) (I+K+J)	(1) (E2+G2)	
						(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)			県内
合計	287	72	215	48	18	7	10	1	1	167	159	7	177					
建設業	133	1	131	8	8	7	0	0	0	124	118	6	124					
製造業	115	71	44	11	5	4	1	1	33	32	2	38						
食料品	4	0	4	2		1			1	1	0	2						
飲料・飼料	0	0	0						0	0	0	0						
繊維	66	64	2	1	1				1	0	1	2						
木材	0	0	0						0	0	0	0						
家具	0	0	0						0	0	0	0						
ハルブ・紙																		
印刷																		
化学	1		1						1	1		1						
石油・石炭	1		1						1	1		1						
プラスチック									1	1		1						
ゴム																		
皮革																		
業業・土石	14		14	6	3	3	1		8	8		11						
鉄鋼																		
非鉄金属																		
金属	4	1	3	2	0		0		1	1		1						
はん用機器	6	3	3						3	3	0	3						
生産用機器	0		0						0	0	0	0						
業務用機器	17	2	16						16	15	0	16						
電子部品	0	0	0						0	0	0	0						
電気機器	0	0	0						0	0	0	0						
情報通信機器	0	0	0						0	0	0	0						
輸送機器	3	1	2						2	2	0	2						
その他																		
電気・水道業	37		37	29	6		6	0	7	7	0	13						
電気業	0		0						0	0	0	0						
ガス業	1		1	0	0		0	0	0	0	0	0						
上下水道業	36		36	29	6		6	0	7	7	0	13						
情報通信業	0	0	0						0	0	0	0						
運輸業	1	0	1	0	0		0	0	1	1	0	1						
卸・小売業	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0						
物品買戻業	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0						
学術研究・専門サービス業	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0						
生活関連サービス業	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0						
教育・学習支援業	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0						
医療・福祉	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0						
サービス業	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0						

表5-4 発生量及び処理・処分量（県央地域 業種別）＜令和4年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量										委託中間処理量					委託先地域の内訳					委託中間処理後量			再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					委託先地域の内訳					委託先地域の内訳					委託先地域の内訳					(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R)	(0)	(01)	(02)	(J)	(S)			
	(K)	(O-L)	(処理主体の内訳)		(O)	(処理主体の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(M)	(処理主体の内訳)		(M)	(M1)	(M2)	(E1+G1+H1)	(1+0+H2)	(0)	(01)		(02)	(E5+G5)							(B+R)		
			業者	自治体		県内	県外		業者	自治体		県内	県外								業者			自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量				
合計	177	8	8	169	156	13	158	12	143	136	7	144	15	15	15	144	9	9	3	15	15	216										
建設業	124	6	6	118	118																											
製造業	38	3	3	36	35	0	26	10	24	24	1	24	3	3	3	24	3	3	3	3	3	94										
食料品	2	0	0	2	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1										
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
繊維	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	64										
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
パルプ・紙																																
印刷																																
化学																																
石油・石炭	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
プラスチック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1										
ゴム																																
皮革																																
窯業・土石	11	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10	10	1	1	1	10	1	1	1	1	1	10										
鉄鋼																																
非鉄金属																																
金属	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2										
はん用機器																																
生産用機器	3	0	0	3	3	3	2	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4										
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
電子部品	16	0	0	15	15	15	8	7	9	9	0	9	1	1	1	9	1	1	1	1	1	11										
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
輸送機器	2	0	0	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1										
その他																																
電気・水道業	13	0	0	13	13	13	13	13	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3										
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
上下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
下水道業	13			13	13	13	13	13	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3										
情報通信業																																
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
卸・小売業	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1										
物品買受業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										

表5-5 発生量及び処理・処分量（県南地域 業種別）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量		排出量		自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量			
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+E)	(D)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(1) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)			
							自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)			その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)			委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内
合計	297	12	285	73	24	13	9	2	2	212	0	200	12	0	223					
建設業	197	2	195	11	11	11	0	0	0	184		175	8		184					
製造業	42	10	32	15	11	2	7	2	17	17		15	2		26					
食料品	5		5	2	0		0	0	3	3		3	1		4					
飲料・飼料	1		1	0	0		0	0	1	1		1	0		1					
繊維	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
木材	4	4	0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
家具	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
ハルブ・紙	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
印刷	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
化学	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
石油・石炭	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
プラスチック	3	0	3	2	2	2	0	0	1	1		0	1		1					
ゴム	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
皮革	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
窯業・土石	11		11	8	8		6	1	3	3		3	0		11					
鉄鋼	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
非鉄金属	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
金属	1		1	0	0		0	0	1	1		1	0		1					
はん用機器	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
生産用機器	2	1	1	1	1		1	1	1	1		1	0		1					
業務用機器	5	1	4	1	0		0	0	3	3		3	0		4					
電子部品	2	0	2	0	0		0	0	2	2		2	0		2					
電気機器	1		1	0	0		0	0	1	1		1	0		1					
情報通信機器	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
情報通信機器	5	3	2	1	0		0	0	1	1		1	0		1					
輸送機器	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
その他	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
電気・水道業	52	0	52	47	2	0	2	0	6	6		5	1		8					
電気業	4	0	4	0	0		0	0	4	4		3	1		4					
ガス業	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
上下水道業	2		2	1	0	0	0	0	1	1		1	0		1					
下水道業	46		46	46	2	0	2	0							2					
情報通信業	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0					
卸・小売業	3	0	3	0	0		0	0	3	3		2	0		3					
物品賃貸業	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
生活関連サービス業	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
教育・学習支援業	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					
医療・福祉	2		2	0	0		0	0	2	2		2	0		2					
サービス業	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0		0					

表5-5 発生量及び処理・処分量（県南地域 業種別）＜令和4年度＞

(その2)

業種	委託処理量											資源化量						
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量		その他量 (J) (E5+G5) (B+R)		
	(K) (0-L)		(O)		(L)		(M)		(N1)		(N2)			(0) (1+0+M2)	(01) (02)			
	(K) (0-L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量 (M1)						(委託処理後の処理内訳) 再生利用量 最終処分量 (M2)	
(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託先地域の内訳)		処理主体の内訳						
合計	223	14	14	0	14	0	209	209	0	199	10	195	190	6	203	20	20	215
建設業	184	8	4	0	8	0	176	176	0	174	2	170	165	5	176	13	13	179
製造業	26	4	4	0	4	0	22	21	0	15	7	17	16	1	18	5	5	28
食品	4	1	1	0	1	0	3	3	0	3	0	3	3	0	3	1	1	3
飲料・飼料	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石油・石炭	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石	11	1	1	0	1	0	9	9	5	4	4	9	9	0	9	2	2	9
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生産用機器	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
業務用機器	4	0	0	0	0	0	3	3	2	1	2	1	1	0	1	0	0	2
電子部品	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1
電気機器	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気・水道業	8	1	1	0	1	0	6	6	0	5	1	6	6	0	6	1	1	6
電気業	4	1	1	0	1	0	3	3	3	3	0	3	3	0	3	1	1	3
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水道業	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1
下水道業	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸・小売業	3	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	2	2	0	2	0	0	2
物品買入れ業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表6-1 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：変換）＜令和4年度＞

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量	
				(D)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)			(I)	(E2-G2)	(処理先地域の内訳)					
							(E2)	(E3)	(E4)			(E5)	(G2)	(G3)			(G4)	(G5)	県内		県外	
																						再生利用量
合計	49	0	48	48	25	25	25	25	25	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0			
燃え殻																						
汚泥	48		48	48	25	25	25	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
有機性汚泥	0		0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無機性汚泥	48		48	48	25	25	25	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃油	0		0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般廃油	0		0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃溶剤																						
その他																						
廃酸																						
廃アルカリ																						
廃プラスチック類	0		0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック	0		0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ																						
紙くず																						
木くず																						
繊維くず																						
動植物性残さ																						
動物系固形不要物																						
ゴムくず																						
金属くず	0	0	0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱さい																						
がれき類	0		0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コンクリート片	0		0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃スチール																						
その他																						
ばいじん																						
その他の産業廃棄物	0		0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物																						
混合物等	0		0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(単位：千t/年)

表6-1 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
		(O)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(R) (E+G+H+I)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)					
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		再生利用量						最終処分量				
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M1)	(M2)	(E+G+H+I)	(Q)	(J)	(S)			
合計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26		
燃え殻																						
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
有機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃溶剤																						
その他																						
廃酸																						
廃アルカリ																						
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃タイヤ																						
紙くず																						
木くず																						
繊維くず																						
動植物性残さ																						
動物系固形不要物																						
ゴムくず																						
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鉱さい																						
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
コンクリート片	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アスファルト																						
その他																						
ばいじん																						
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
感染性廃棄物																						
混合物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

表6-2 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：無変換）＜令和4年度＞

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量					
				自己中間処理後量				自己未処理の処理内訳				自己最終処分の処理内訳					
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
																県内	県外
合計	49	0	48	48	25	25	25	25	0	0	0	1	1				
燃え殻																	
汚泥	48		48	48	25	25	25	25	0	0	0	0	0				
有機性汚泥	0		0	0					0	0	0	0	0				
無機性汚泥	48		48	48	25	25	25	25	0	0	0	0	0				
廃油	0		0	0					0	0	0	0	0				
一般廃油	0		0	0					0	0	0	0	0				
廃溶剤																	
その他																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類	0		0	0					0	0	0	0	0				
廃プラスチック	0		0	0					0	0	0	0	0				
廃タイヤ																	
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	0	0	0	0					0	0	0	0	0				
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0					0	0	0	0	0				
鉱さい																	
がれき類	0		0	0					0	0	0	0	0				
コンクリート片	0		0	0					0	0	0	0	0				
廃スチール																	
その他																	
ばいじん																	
その他の産業廃棄物	0		0	0					0	0	0	0	0				
感染性廃棄物																	
混合物等	0		0	0					0	0	0	0	0				

(その1)

(単位：千t/年)

表6-2 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：無変換）＜令和4年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量	
		(O)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(R) (E+G+H+I)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)	(T) (E5+G5)	(U) (B+R)				
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(委託処理後の処理内訳)											
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量	自己処分	委託処分	その他					
合計	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	26		
燃え殻																							
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	25		
有機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
無機性汚泥																	25	0	0	0	25		
廃油	0																						
一般廃油	0																						
廃溶剤																							
その他																							
廃酸																							
廃アルカリ																							
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃タイヤ																							
紙くず																							
木くず																							
繊維くず																							
動植物性残さ																							
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず	0																0						
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
鉱さい																							
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
コンクリート片	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃プラスチック																							
その他																							
ばいじん																							
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
感染性廃棄物																							
混合物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							

参 考 资 料

< 调 查 票 等 一 式 >

調査票等目次

1. 調査依頼状（全業種共通）	117
2. 産業廃棄物等に関する調査票	
・形式1（製造業、電気・水道業）	118
・形式2（建設業）	120
3. 調査票の記入要領・記入例、産業廃棄物分類表	
・形式1-1（製造業等）	122
・形式1-2（水道業）	124
・形式2（建設業）	126
4. 産業廃棄物等の処理等に関する意識調査票（全業種共通）	128

令和5年9月8日

調査対象事業者様

秋田県生活環境部長
(公 印 省 略)

令和5年度秋田県産業廃棄物実態調査フォローアップ等調査へのご協力について（お願い）

産業廃棄物行政の推進については、日頃から格別のご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、県では第4次秋田県循環型社会形成推進基本計画を策定し、その達成状況等を把握するため、産業廃棄物の発生及び処理の状況等に係る調査を毎年度実施しています。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本年度の調査について、下記によりご協力頂けますようお願い申し上げます。（ご回答いただいた情報は統計的に処理され、事業者名等が公表されることはありません）

なお、調査票の発送・回収、集計・解析等の調査実施を一般財団法人日本環境衛生センターに委託していますので、お問い合わせ及びご提出は、同センターへ直接お願いします。

1 提出物

産業廃棄物等に関する調査票（令和4年度実績）【その1】【その2】【その3】

（ご記入にあたっては、同封の記入要領をご参考にしてください）

※調査票等は、以下のホームページからダウンロードすることができます。

<https://www.jesc.or.jp/work/tabid/222/Default.aspx>

2 提出期限 令和5年10月6日（金）

3 提出方法（電子メールなど、電子データでの提出にご協力ください）

①郵送の場合

同封の返信用封筒にて、以下の宛先までご返送ください。

〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町 11-15
一般財団法人日本環境衛生センター 循環社会推進課

②電子メールの場合

以下のメールアドレスへご送信ください。

hik-r@jesc.or.jp

【お問い合わせ先：調査業務受託者】
一般財団法人日本環境衛生センター 循環社会推進課
電話：044-287-3280

【調査主体：調査業務委託者】

秋田県生活環境部環境整備課（廃棄物対策チーム）

電話：018-860-1624

産業廃棄物等に関する調査票(令和4年度実績)【その2】 ●別紙「調査票の記入要領、記入例」、「廃棄物等分類表」を参考に記入して下さい。 ●自社で発生した副産物(産業廃棄物、有価・無償引渡物)全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい。

①事業所で発生した廃棄物の名称 農事業所で日常使用している名称で記入して下さい。(別紙「廃棄物等分類表」に示した具体例を参照)

②廃棄物の分類番号 別紙「廃棄物等分類表」をみて該当する4桁の番号を記入して下さい。

③左記の発生量(中間処理する前の量) 各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

④自社での中間処理方法 自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑤中間処理後の量 中間処理後の残量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

⑥処理・処分又は再生利用先の方法 発生(自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物)した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。

⑦処理・処分又は再生利用先の名称 処理・処分(⑥に該当する)等を行った先の名称を記入して下さい。

⑧処理・処分又は再生利用先の所在地 処理・処分(⑦に該当する)等を行った処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。

⑨委託中間処理の方法 ⑥の「処理・処分の方法」で「U」と回答された場合(中間処理を委託)は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑩資源化の用途 ⑥の「処理・処分の方法」で「V1」～「V10」又は「R6」又は「R7」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。

Main data table with columns for waste name, quantity, processing method, destination, and resource use. Includes sub-tables for self-processing and委托 processing.

④中間処理方法コード表. Legend for self-processing methods: A: 焼却, B: 脱水, C: 天日乾燥, etc.

⑤委託中間処理方法コード表. Legend for委托 processing methods: R: オイル, S: 薬物消毒, T: 金属回収, etc.

⑥処理・処分又は再生利用先の方法. Legend for disposal methods: J: 溶解, K: 切断, L: 焼成, etc.

⑦処理・処分又は再生利用先の名称. Legend for facility names: R: オイル, S: 薬物消毒, T: 金属回収, etc.

⑧処理・処分又は再生利用先の所在地. Legend for locations: R: オイル, S: 薬物消毒, T: 金属回収, etc.

⑨委託中間処理の方法. Legend for委托 processing methods: R: オイル, S: 薬物消毒, T: 金属回収, etc.

⑩資源化の用途. Legend for resource use: 10: 鉄鋼原料, 20: 非鉄金属等原料, 30: 燃料, etc.

産業廃棄物等に関する調査票(令和4年度実績)【その1】

秋田県
建設業

調査票番号

右記の<記入注意事項>をご確認の上、調査票に記入して下さい

事業所名					
所在地					
代表者(事業所)氏名	記入者 (部署、氏名)				
記入年月日	令和	年	月	日	電話番号
					-

県内元請工事の有無
貴社が元請施工者として請負い(令和4年度に完成した県内の工事はありませんか(出来高工事を含む))。該当する番号に○を付けて下さい。

1. 元請工事あり 次へ

2. 元請工事なし 次へ

上記の「事業所の概要」を記入し、ご返送下さい。

元請完成工事高 (令和4年度、消費税を含む)					
貴社が元請施工者として請負い(令和4年度に完成した県内工事の年間元請完成工事高(出来高工事を含む))を記入して下さい。					
千	百	十	千	百	十
億	億	万	万	万	万
					万円/年

※共同企業体(JV)による工事については、分担施行方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施行方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入して下さい。

令和4年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか、該当する番号に○を付けて下さい。
※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象として下さい。

1. 発生した。 次へ

2. 発生しなかった。 次へ

上記の「事業所の概要」を記入し、ご返送下さい。

裏面の調査票(その2)に貴社から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。

<記入注意事項>

1. 全般的事項
 - 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物・特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物が対象となります。
 - 本調査の対象期間は令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)です。
 - 調査票(その2)には、貴社が秋田県で施工した全ての元請工事(出来高工事含む)から発生する産業廃棄物、副産物について記入して下さい。共同企業体(JV)による工事については、分担施行方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物を記入し、共同施行方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物を一括記入して下さい。
 - 調査票の電子データは、日本環境衛生センターのホームページからダウンロードできます。
https://www.jesc.or.jp/work/tabid/222/Default.aspx
2. 調査票(その1)
 - 元請完成工事高は、令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入して下さい。
3. 調査票(その2・裏面)
 - 自ら再生利用したもの、他者に売却したもの、無償で引き渡しているものも対象となります。
 - 一般廃棄物は記入不要です(例：使用済みのOA用紙、新聞紙、雑誌、飲料の空缶・空きびん・ペットボトル、厨芥など)。
 - 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい。
 - 同じ産業廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。
 - 発生量には、防水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい。
4. 電子データ(回答調査票)の返送先
 - 電子データで回答された調査票は、下記のメールアドレスで提出することができます。
E-mail: hik-r@jesc.or.jp

産業廃棄物等に関する調査票(令和4年度実績)【その2】

●別紙「調査票の記入要領・記入例」「廃棄物等分類表」を参考に記入して下さい。
 ●自社で発生した副産物(産業廃棄物、有償・無償引渡物)全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい。

①事業所で発生した廃棄物の名称
 貴社で日常使用している名称で記入して下さい。(別紙「廃棄物等分類表」に示した具体例を参照)

②廃棄物の分類番号
 別紙「廃棄物等分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入して下さい。

③年間の発生量(中間処理する前の量)
 各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

④自社での中間処理方法
 自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑤中間処理後の量
 中間処理後の残量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

⑥処理・処分方法
 発生(自社で中間処理)した場合は、中間処理後の廃棄物(副産物)した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。

⑦処理・処分又は再生利用先の名称
 処理・処分(⑥)に該当する)等を行った先の名称を記入して下さい。

⑧処理・処分又は再生利用先の所在地
 処理・処分(⑦)に該当する)等を行った処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。

⑨委託中間処理の方法
 ⑥の「処理・処分方法」で「U」に囲まれた場合(中間処理委託)は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑩委託中間処理後の再生利用・処分方法
 委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んで下さい。
 1. 再生利用・リサイクルしている。
 2. 埋立処分している。

⑪資源化の用途
 ⑥の「処理・処分方法」で「IV」(V2、W1、XR6)又は期間⑩で「1」に囲まれた場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。

区分	①廃棄物の名称				②分類番号				③年間の発生量				④中間処理方法				⑤中間処理後の量				単位		
	区	分	行	番	百	十	千	万	百	十	千	万	1次	2次	3次	処理	百	十	千	万			
F2	1																						
	2																						
	3																						
	4																						
	5																						
	6																						
	7																						
	8																						
	9																						
	10																						
	11																						
	12																						
	13																						
	14																						
	15																						

自社での中間処理												委託中間処理				自社・委託での資源化															
⑥処理・処分又は再生利用先の名称				⑦処理・処分又は再生利用先の所在地				⑧処理・処分又は再生利用の方法				⑨方法番号				⑩処理後の処分方法				⑪資源化用途											

自社処分・自社再生利用、委託処理												委託中間処理				自社・委託での資源化																			
⑥処理・処分方法				⑦処理・処分又は再生利用先の名称				⑧処理・処分又は再生利用の方法				⑨方法番号				⑩処理後の処分方法				⑪資源化用途															

④中間処理方法コード表

＜自己処理＞
 V1：自社で再利用した。
 V2：売却できないものを自社で再利用した。
 W1：売却(利益があった)した。
 Z1：自社で保管している。
 Q1：自社の処分場で埋立処分した。

＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞
 U1：処理業者に中間処理(資源化・リサイクルを含む)を委託した。
 X1：廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等で単生処理をした。
 S1：民間の処理業者の処分場で直接埋立処理した。
 S2：秋田県環境保健センターで直接埋立処理した。
 T1：処理業者で直接海洋投入した。

＜その他＞
 Z9：その他
 具体例に

⑤委託中間処理方法コード表

A：焼却 J：溶融 R：オーブン
 B：脱水 K：切断 S：薬物消費
 C：天日乾燥 L：焼成 T：金属(鉄)回収
 D：機械乾燥 M：堆肥化(糞) U：非鉄金属回収
 E：油水分離 N：飼回収 W：油化 V：濃縮
 F：中和 O：リサイクル型 X：仮設調整・混合
 G：廃液 P：乾熱減湿 Y：分別・選別
 H：分級 Q：煮沸 Z：その他
 I：圧縮

⑥処理・処分方法コード表

J：溶融 R：オーブン
 K：切断 S：薬物消費
 L：焼成 T：金属(鉄)回収
 M：堆肥化(糞) U：非鉄金属回収
 N：飼回収 W：油化 V：濃縮
 O：リサイクル型 X：仮設調整・混合
 P：乾熱減湿 Y：分別・選別
 Q：煮沸 Z：その他

⑦資源化用途コード表

10：鉄鋼原料
 20：非鉄金属原料
 30：燃料
 40：木材
 50：セメント原料
 60：再生油・再生潤滑油
 70：ガラス原料
 80：プラスチック原料
 90：再生タイヤ
 91：セメント原料
 92：中和剤
 93：高炉還元剤
 98：その他

10~98に該当するものがない場合、
 ⑦の中に具体的な用途を直接記入して下さい。

<調査票の記入要領・記入例>

調査対象期間

- この調査の調査期間は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

調査対象と廃棄物

- この調査では、**調査対象と廃棄物**が送付された事業所内で発生した廃棄物等だけが記入の対象となります。
- 廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「**廃棄物等分類表**」を掲げてありますので参考にして下さい。

発生量について

- 発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「**焼却**」、「**脱水**」等の処理を行う前の「**名称**」と「**数量**」をお答え下さい。
- 自社で焼却している場合**、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。(記入例Dを参考にして下さい)
- 木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合は**1年間の発生量です。従って①(焼却物の名称)、「②(分類番号)」は、焼却前の名称とこの分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤(中間処理後)」となります。
- 自社で脱水している場合**の発生した廃棄物とは**脱水前のもの**です。(記入例E・Fを参考にして下さい)
- 汚泥の発生量は**、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③(年間発生量)」となります。
- 式：**(脱水前の汚泥発生量) = (脱水後の汚泥量) × (100% - 脱水後の含水率%) ÷ (100% - 脱水前の含水率%)
- ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。
- 廃紙**、廃アルカリを公共水圏(河川、公共下水道等)へ放流するために中和処理した場合、→ 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。
- 含油廃水を油水分離した場合**、→ 油水分離後の「廃油」と「油でい」等を個別に(それぞれ1行ずつ)発生量とします。

調査票(その2)の記入例

本紙の裏面の「**廃棄物等分類表**」を参照して下さい。

本紙の裏面の「**廃棄物等分類表**」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

水字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考に①～④を記入して下さい。

微塵又は液状廃棄物を焼却、焼却灰が1kg未満の場合は、「0(ゼロ)」を記入し、単位は地に〇を付けて下さい。

この調査票は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

この調査票は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

この調査票は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

この調査票は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

この調査票は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

この調査票は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

この調査票は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

この調査票は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

この調査票は、令和4年4月1日～令和5年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

記入について

- 記入対象は**、事業活動によって発生する産業廃棄物、有価あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は**、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は**、マニフェスト伝票等を参考に①～④に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

④中間処理方法コード表

- A: 焼却
B: 脱水
C: 天日乾燥
D: 焼却灰
E: 中分け
F: 液状
G: 液状
H: 液状
I: 液状
J: 液状
K: 液状
L: 液状
M: 液状
N: 液状
O: 液状
P: 液状
Q: 液状
R: 液状
S: 液状
T: 液状
U: 液状
V: 液状
W: 液状
X: 液状
Y: 液状
Z: その他

⑥処理・処分方法コード表

- <自己処理>
V1: 自社で再利用した。
V2: 売却(利益がない)の自社で再利用した。
W1: 売却(利益があった)した。
Z1: 自社で保管している。
G1: 自社の処分場(埋立処分)で埋立処分した。
<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>
U1: 処理業者が中間処理(資源化・リサイクル)を委託した。
X1: 廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等で処理した。
M1: 廃品回収業者の処分場で埋立処分した。
S1: 処理業者が中間処理(資源化・リサイクル)を委託した。
T1: 処理業者が中間処理(資源化・リサイクル)を委託した。
<再販・一車線移転等へ委託処理(ごみ収集を含む)>
R1: 再販・一車線移転等へ委託処理(ごみ収集を含む)した。
R5: 再販・一車線移転等が設置する焼却炉へ投入した。
R6: 再販・一車線移転等が設置するリサイクル施設へ投入した。
<その他>
Z9: その他

⑨委託中間処理方法コード表

- A: 焼却
B: 脱水
C: 天日乾燥
D: 焼却灰
E: 中分け
F: 液状
G: 液状
H: 液状
I: 液状
J: 液状
K: 液状
L: 液状
M: 液状
N: 液状
O: 液状
P: 液状
Q: 液状
R: 液状
S: 液状
T: 液状
U: 液状
V: 液状
W: 液状
X: 液状
Y: 液状
Z: その他

⑩資源化用途コード表

- 10: 焼却灰
20: 焼却灰等原料
30: 燃料
31: 木炭
41: 燃料
42: 肥料
43: 土壌改良材
50: 土木・建設資材
61: 再生木材
62: 合板
70: カラマツ材
80: フラタマツ材
81: 再生タイヤ
90: セメント原料
91: 再生油
92: 中間油
93: 高炉還元剤
98: その他

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入して下さい。

⑩処理後の処分方法
1 再生利用・リサイクルしている
2 埋立処分している

区分	F 行 番	①廃棄物の名称	②分類番号				③年間発生量				④中間処理				⑤処理・処分方法	⑥処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑦方法番号	⑧処理後の処分方法	⑩資源化用途
			百	十	千	百	十	千	百	十	千	百	十	千					
記入例:A	1	鉄板くず	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
記入例:B	2	機油	0	3	1	1	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
記入例:C	3	プラスチック製品くず	0	6	1	0	7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記入例:D	4	木くず	0	8	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記入例:E	5	排水処理汚泥	0	2	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記入例:F	6	特定有害汚泥	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
欄		排水処理汚泥	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

記入例:A

記入例:B

記入例:C

記入例:D

記入例:E

記入例:F

- 鉄板の加工の際に鉄板くずが年間6t発生した。
● これは、秋田市にある機油口に売却した。
● 相手先では鉄脚材料として利用している。
- 特定有害汚泥が110t発生した。
● 特定有害汚泥は年間10t発生し、自社での中間処理は行わず、能代市に処理施設を保有する△△産業に収集・運搬及び中間処理を委託した。
● 業者では、中和及び無害化処理した後、埋立処分している。
● また、排水処理汚泥は、濃縮後の100tを自社の施設で脱水し、処理後の残さ25tは羽後町の〇〇で埋立処分した。

- 排水処理汚泥が発生した。
● 自社の施設で脱水・乾燥を行い、脱水後の残さが10t(含水率85%)であった。
● 脱水前の量は、計算していないので正確ではないが、脱水前の含水率が97%であるため計算すると、50t程度となる。
● 処理後の汚泥は、△△機に運搬を委託し、岩手県八幡平市に処分場を保有する〇〇機で直接埋立処分した。
● 計算式 10t × (100 - 85) ÷ (100 - 97) = 50t

ここでは、中間処理・再生利用や最終処分した先の名称を記入して下さい。委託した産業廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入して下さい。

廃棄物等分類表(その1)

※発毒性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は、本表右下の特別管理産業廃棄物の分類表をご参照ください。

1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

Table with 5 columns: Category, Classification Number, Specific Name, Example, and Remarks. Rows include items like 有機性汚泥, 下水汚泥, 有機性汚泥, 無機性汚泥, 建設汚泥, 上水汚泥, 一般廃棄物, 動物性油脂, 廃溶剤, 廃樹脂, 有機性の酸性廃液, アルカリ, 無機性の酸性廃液, 写真定着廃液, 有機性の酸性廃液, アルカリ, 廃プラスチック類, バイオマス, 紙, 木, 繊維, 動物性残さ, 動物系, 金属, 混合金属.

廃棄物等分類表(その2)

Table with 5 columns: Category, Classification Number, Specific Name, Example, and Remarks. Rows include items like ガラスくず, 陶磁器くず, 石膏ボードくず, コンクリート製品くず, 廃さかい, 廃さかい類, 破れき類, 廃プラスチック類, レンガ破片など, 動物の死体, ばいじん, 燃え殻, 廃活性炭, 廃カーボン, 混合物, 管理型混合廃棄物, 廃自動車, 廃電気機械器具, 廃電池類, 複合材, シェルターダスター, 石綿含有産業廃棄物(非放射性), 水銀使用製品, 水銀含有物, 水銀含有物.

2. 特別管理産業廃棄物

Table with 5 columns: Category, Classification Number, Specific Name, Example, and Remarks. Rows include items like 引火性廃油, 腐食性廃アルカリ, 汚食性廃アルカリ, 感染性廃棄物, 特定有害燃え殻, 特定有害有機性汚泥, 特定有害無機性汚泥, 特定有害廃油, 特定有害廃液, 特定有害アルカリ, 特定有害酸, 特定有害塩, 特定有害ばいじん, 廃PCB, 廃水銀.

<調査票の記入要領・記入例>

形式 1 (水道業)

調査対象期間

- この調査の対象期間は、令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の1年間です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

調査対象とする事業所と廃棄物

- この調査では、調査票が送付された事業所内で発生した廃棄物だけが記入の対象となります。
- 廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「廃棄物等分類表」を掲げてありますので参考にしてください。

発生量について

- 発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」、「乾燥」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答え下さい。
 - 自社で焼却している場合**、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。不火くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合は「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、**焼却前の名称**と分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。
 - 自社で脱水・乾燥している場合**の発生した廃棄物とは**脱水前・乾燥前のもの**です。(記入例A・B・D・Eを参考にしてください)
- 汚泥の発生量は、脱水・乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。
- <式>：(脱水前の汚泥発生量) ÷ (100% - 脱水後の含水率%) × (100% - 脱水後の含水率%)

調査票(その2)の記入例

赤字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入事例を参考にしながら調査票(その2)を記入して下さい。

本紙の裏面の「廃棄物等分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

微量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0.ゼロ」を記入し、単位はkgに〇をつけて下さい。

区分	F 番	①廃棄物の名称	②分類番号			③年間発生量			④方法番号			⑤中間処理後量											
			1次	2次	3次	1次	10	100	1000	1次	2次	3次	kg	t	m ³								
記入例：A	4	下水汚泥	0	2	1	2	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記入例：B	2	下水汚泥	0	2	1	2	6	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記入例：C	2	廃油	0	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記入例：D	5	上水汚泥	0	2	3	3	2	8	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記入例：E	6	上水汚泥	0	2	3	3	1	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7																							
8																							

⑧ 処分の方法	⑨ 処理・処分先又は再利用率の所在地	⑩ 処理・処分の方法	⑪ 中間処理後量		
			1次	2次	3次
U1	O×セメント舗	大館市	0	2	1
S1	舗	秋田市	3	7	4
U1	南O×産業	福島県			
U1	O×セメント舗	男鹿市	1	2	0
Q1	自社	秋田市	4	0	5

⑫ 処理・処分の方法	⑬ 処理・処分先又は再利用率の所在地	⑭ 処理・処分の方法	⑮ 中間処理後量		
			1次	2次	3次
U1	大館市	L			
S1	秋田市	E			
U1	福島県				
U1	男鹿市	L			
Q1	秋田市				

※下水汚泥は、汚泥濃縮設備の濃縮汚泥量を発生量として記入して下さい。

記入例：A

- ・下水汚泥が年間10.210t発生した。
- ・自社の施設で脱水を行い、脱水後の量が833tであった。
- ・処理後の汚泥は大館市のセメント工場でセメント原料としてリサイクルした。

記入例：B

- ・下水汚泥が年間6.721t発生した。
- ・自社の施設で脱水→機械乾燥を行い、処理後の量が374tであった。
- ・処理後の汚泥は、秋田市にある南Oの埋立地で埋立処分した。

記入例：C

- ・廃油が100kg発生した。
- ・これは福島県の南O×産業に処理を委託した。
- ・委託先では、油水分離後に燃料として再利用している。

記入例：D

- ・上水汚泥が年間2.818t発生した。
- ・自社の施設で天日乾燥を行い、処理後の量が1,293tであった。
- ・処理後の汚泥は男鹿市のセメント工場でセメント原料としてリサイクルした。

記入例：E

- ・上水汚泥が年間3.181t発生した。
- ・自社の施設で脱水を行い、処理後の量が405tであった。
- ・処理後の汚泥は自社の処分場で埋立処分した。

※上水汚泥は、脱水・乾燥施設に投入した濃縮汚泥量を発生量として記入して下さい。

記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有価あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法は、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

④中間処理方法コード表

- A：焼却
B：脱水
C：天日乾燥
D：機械乾燥
E：油水分離
F：中和
G：洗浄
H：1次液
I：2次液
J：3次液
K：切断
L：堆肥
M：堆肥(精製)
N：炭回収
O：リサイクル型
P：濃縮
Q：非鉄金属回収
R：その他

⑤委託中間処理方法コード表

- A：焼却
B：脱水
C：天日乾燥
D：機械乾燥
E：油水分離
F：中和
G：洗浄
H：1次液
I：2次液
J：3次液
K：切断
L：堆肥
M：堆肥(精製)
N：炭回収
O：リサイクル型
P：濃縮
Q：非鉄金属回収
R：その他

①資源化用途コード表

- 10：資源原料
20：燃料
30：雑質
41：肥料
42：肥料・堆肥
43：工業用原料
51：再生木材・合板
60：プラスチック原料
70：プラスチック原料
80：プラスチック原料
81：再生タイヤ
90：セメント原料
91：再生油・再生香料
92：中割
93：高炉還元
98：その他

廃棄物等分類表

産業廃棄物

種 類	分類番号	具 体 例
汚泥 (泥状のもの)	0211	排水処理汚泥、ヒルピット汚泥(し尿を含むものは除く)
	0222	建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥、通気制濁汚泥・建設残土は除く<>
油	0311	重機等の潤滑油、エンジンオイル、機油、グリス、切削油、綿綿油
	0320	アルコール類、ケトソ、洗浄油
	0330	アスファルト、タルヒツチ類
	0340	タンクドラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム
油	0350	油の滲みだりエス、油垢くず、炭酸油材、簡シール材、クレオソート廃油、アンダーコートかす、酸液料(液状)、インクかす、腐ワニス
	0401	廃液で毒性を呈するもの
酸 アルカリ	0501	廃液でアルカリ性を呈するもの
	0610	【熱可塑性】ポリエチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂 【熱硬化性】フェノール樹脂(バークライト)、ユリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニン樹脂、ウレタン樹脂 【合成繊維】ナイロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、混紡繊維、化繊ロープ、化学繊維 【その他】プラスチック製品くず、プラスチック容器、発泡スチロール、ビニールシート、フィルム、プラスチックタイル、セルロイド、繊維強化プラスチック(FRP)、塗料かす(固形)、接着剤かす、合成ゴムくず、塩ビ管
紙	0620	使用済みタイヤ
	0630	工作物の断端、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量の0.1%を超えて含有するもの。
木	0701	建材の包装紙、建設現場から排出される紙くず
	0801	木くず、おがくず、かんなくず、パーク類、竹、ハニヤ、ハニヤボード類、伐採木、伐採材、伐根材
織 絹	0802	ハレット、ハレットへの貨物の積付けのために使用したごみ包用の木材
	0900	羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセチレート繊維(天然繊維が主体のもの)
ゴ ム く ず (天 然 ゴ ム)	1100	天然ゴムくず
	1220	鉄くず、スクリップ(主体が鉄製の場合)、プリキくず、トタンくず、空き缶(鉄製のもの)
金 属 く ず	1230	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶
	1310	鉄くず、ステンレス(主体が鉄製の場合)、プリキくず、トタンくず、空き缶(鉄製のもの)
ガ ラ ス く ず	1320	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウール
	1330	かわら、土管、陶管、タイル
石 綿 含 有 産 業 廃 棄 物 (非 飛 散 性)	1340	石膏ボードくず
	1350	工作物の断端、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量の0.1%を超えて含有するもの。
コ ン ク リ ー ト 破 片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
	1520	アスファルトコンクリートの破片
が れ き 類 (工 作 物 の 新 築 、 改 築 又 は 除 去 に 伴 う も の)	1530	鉄道用踏道の砂利、骨材、石材、れんが、スレート、タイル、断熱材
	1540	工作物の断端、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量の0.1%を超えて含有するもの。
混 合 物	2100	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類のみを含む混合物でない廃棄物
	2200	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類以外の廃棄物を含む混合物で分別ができない廃棄物
廃 自 動 車	3000	廃自動車、廃二輪車
	3100	プリント配線板、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、パソコン、電話機、自動車売捌など
廃 電 池 類	3500	鉛蓄電池(ハッチリー)、乾電池(水銀を含むものを除く)
	3600	2つ以上の異なる素材が一体的に組み合わされている製品の廃棄物
水 銀 使 用 製 品 産 業 廃 棄 物	2500	水銀電池、空気圧鉛電池、照明機器(蛍光灯ランプ、HIDランプ、放電ランプ)など、水銀等の使用に関する表示がある製品
	2600	水銀含有ばいじん等(水銀を1kgにつき15mgを超えて含有するもの(ばいじん、乾泥、汚泥、汚泥、鉱さい)、水銀を1kgにつき15mgを超えて含有するもの(酸液、廃アルカリ))

特別管理産業廃棄物

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

種 類	分類番号	具 体 例
引 火 性 廃 油	0318	揮発油類(燃えやすい廃油、カソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)
	0408	水素イオン濃度指数(pH)が2.0以下の廃液
腐 食 性 廃 ア ル カ リ	0508	水素イオン濃度指数(pH)が12.5以上の廃液
	0229	特定有害物質を含む汚泥
特 定 有 害 産 業 廃 棄 物	0319	特定有害物質を含む廃油
	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
特 定 有 害 産 業 廃 ア ル カ リ	0809	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
	1538	吹き付け石綿(アスベスト)、石綿含有保温材
廃 P C B	7419	廃PCB等、PCB汚染物、PCB処理物
	7440	特定の前記において生じた廃水銀又は廃水銀化合物(水銀使用製品が産業廃棄物となったものに封入された廃水銀等を除く)、水銀若しくはその化合物が含まれている産業廃棄物、又は水銀使用製品が産業廃棄物となったものから回収した廃水銀

調 査 票 番 号

産業廃棄物等に関する調査票【その3】

「産業廃棄物等に関する調査票」と同様に記入し、併せてご返送ください。
 なお、「産業廃棄物等に関する調査票」の【その1】にて、「廃棄物等の発生がない」とご回答いただいた場合は、本調査票の回答は不要です。

設問1 電子マニフェストの利用状況について

貴事業所では、「電子マニフェストシステム」を利用していますか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。また、「2」を選択した場合は導入時期を、「4」を選択した場合は利用しない理由をご回答ください。

- () 1. システムを利用している。
- () 2. システムの利用を予定、又は検討している。 → 導入予定時期：令和_____年頃
- () 3. 補助等の支援があれば、システムを利用したい。
- () 4. システムは利用しない。
- () 5. システムを利用するか、利用しないかは、わからない。
- () 6. 電子マニフェストシステムを知らない。

上記で「4. システムは利用しない」と回答した方にお伺いします。システムを利用しない理由について、該当する全ての項目に○を付けてください。(複数回答可)

- () A. 排出量が少ない。又は取引先が少ない。
- () B. 取引先で導入されていない。
- () C. 独自システムで管理している。
- () D. コストの問題がある。
- () E. システムが難しくて分からない。
- () F. 現状として問題がない。
- () G. その他(具体的に：_____)

設問2 自由記載(県への要望等)

産業廃棄物等の減量化・リサイクル、適正処理等を推進するにあたり、県への要望等があればご記入ください。

(例) 適正処理・リサイクルに関する研修会等を実施してほしい
 環境負荷の少ない製品や、リサイクル認定製品の普及等に対する支援をしてほしい 等

以上で、アンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。